

長野県松本市

KAWANISHI-KAIDEN

川西開田遺跡III・IV

—松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書—

縄紋編

2003.3

松本市教育委員会

長野県松本市

KAWANISHI-KAIDEN

川西開田遺跡III・IV

—松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書—

縄紋編

2003.3

松本市教育委員会

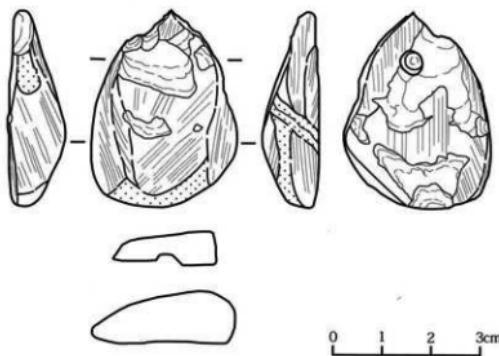


3B 区全景（南から）



4A 区全景（南から）

調査地航空写真



ヒスイ垂飾

例言

1 本書は平成10年4月20日～平成11年1月6日及び平成11年4月5日～10月5日にかけて実施された、松本市神林字竹田道6172-1外に所在する川西開田遺跡の緊急発掘調査報告書(全3冊)のうち、縄文時代を扱った第2分冊である。

2 本調査は松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査であり、平成12・13年度に行った整理・報告書作成作業とともに松本市教育委員会が実施した。

3 本遺跡は過去に2回の発掘調査が実施されているため、本調査は平成10年度のものを3次調査(III)、11年度を4次(IV)とした。3次にはA～Cの3地点、4次はA・Bの2地点があり、各地点名は調査次名と組み合わせて呼称している(例:3A、4B等)。なお、本書で対象とする縄文時代は3B、4A地点及び3A地点の一部が該当する。

4 本書では第1分冊と重複する内容のため、調査の経緯(経験、調査体制)、調査地と遺跡の環境(調査地の位置、遺跡の地形地質、遺跡の歴史的環境と周辺遺跡)を省略し、調査概要のうち調査次・調査地点と調査方法の項は概略を触れるに止めている。第1分冊を参照されたい。

5 頁数の関係から、上坑・窓井・石器一覧表等は、第3分冊(資料編)に掲載した。

6 頁数の関係から、上坑・ピット類はすべてを図示し得ず、特徴的なもの、遺物出土に関連したものに限定して図示した。

7 本書の執筆・文責は次のとおり。I・II:直井雅尚、III-1:小山貴広、2:太田圭郁、IV-2:パリノサーヴェイ、V:直井雅尚。なおIV-1は小林謙一氏からご寄稿をいただいた。記して感謝を申し上げます。

8 本書作成にあたっての作業分担は以下のとおりである。

遺物洗浄:百瀬二三子、布山洋

遺物保存処理・復元注記:五十嵐剛子、内沢紀代子、河野清司、林和子、福島勝

遺物実測:竹内直美、竹原久子、竹平悦子、松尾明恵、八板千佳(土器・土製品)、

太田圭郁、望月映(石器・石製品)

遺構図整理:石合英子、村山牧枝

トレース:久保田瑞恵、竹内直美、竹平悦子、八板千佳、

写真撮影:調査担当各職員(遺構)、宮崎洋一(遺物)、ジャスティック(航空写真)

総括・編集:直井雅尚

9 図中で用いた方位記号は真北方向を指している。

10 本書の作成にあたっては次の方々からご教示、御協力をいただいた。記して感謝を申し上げる。

小林康男、桐原健、佐々木明、笛本正治、島田哲男、野村一寿、原明芳、樋口界一、和田和哉

11 本調査で出土した遺物及び調査の記録類は松本市教育委員会が保管し、松本市立考古博物館(〒399-0823長野県松本市中山3738-1 TEL0263-86-4710)に収蔵されている。

12 遺構図中の土層名は下記のとおりに記号化している。

表記法 上色(混入物・量) 流入物量 a 少量 b 中量 c 多量

混入物

1 黒色	6 黄褐色	11 増灰色	16 黄色	21 砂	A 小砾	F 炭化物塊	X 茶褐色土粒	P 砂砾	U 灰色土粒
2 増灰色	7 茶褐色	12 黒灰色	17 增黄色	22 砂砾	B 硅	G 炭化物	L 黄色土塊	Q 黑色土粒	V 灰色土块
3 黒褐色	8 灰褐色	13 赤褐色	18 増茶褐色	23 緑灰色	C 淬土粒	H 黄色土粒	M 黄褐色土块	R 黑色土块	W 赤褐色土块
4 明褐色	9 棕褐色	14 黄灰色	19 黑色		D 淬土块	I 黄褐色土粒	N 棕褐色土块	S 增褐色土粒	X 赤褐色土块
5 赤褐色	10 灰色	15 青灰色	20 燃土		E 炭化物块	J 棕褐色土粒	O 茶褐色土块	T 增褐色土块	Y 粘分

目次

例 言	1	6 谷状地形	11
目次、図目次、表目次、写真図版目次	2	7 流路	11
I 調査の概要	3	III 出土遺物	
II 発見された遺構		1 土器・石製品	28
1 壊穴住居址	11	2 川西開田3B・4A 遺跡石器群	74
2 屋外埋葬	11	IV 科学的分析	
3 土坑	11	長野県松本市川西開田遺跡のAMS ¹⁴ C年代測定	104
4 焼土址	11	川西開田遺跡の放射性炭素年代測定	110
5 溝址	11	V 調査のまとめ	113

図目次

第1図 調査位置と周辺遺跡	4	第55図 遺構間接合資料実測図(1)～(4)	94～95
第2図 調査範囲	5	第56図 遺構間接合資料実測図1	96
第3図 調査全体図	6	第57図 遺構間接合資料実測図2	97
第4図 遺構配置図(1)	7	第58図 遺構間接合資料実測図3	98
第5図 遺構配置図(2)	8	第59図 遺構間接合資料実測図4	99
第6図 遺構配置図(3)	9	第60図 遺構間接合資料実測図5	100
第7図 遺構配置図(4)	10	第61図 遺構間接合資料実測図6	101
第8図 壊穴住居址(1)	13	第62図 壊穴住居址(2)	102
第9図 壊穴住居址(2)	14	第63図 岩場共用ネットワーク図	103
第10図 壊穴住居址(3)	15	第64図 川西開田遺跡の断面図分布	106
第11図 壊穴住居址(4)	16	第65図 住居址時期別分布	114
第12図 壊穴住居址(5)	17	表目次	
第13図 壊穴住居址(6)	18	第1表 川西開田遺跡の断面図分布	3
第14図 壊穴住居址(7)	19	第2表 住居址一覧	12
第15図 壊穴住居址(8)	20	第3表 実測土器一覧	33～42
第16図 壊穴住居址(9)	21	第4表 拓影土器一覧	42～43
第17図 壊穴住居址(10)	22	第5表 遺構略号一覧	79
第18図 壊穴住居址(11)	23	第6表 石材略号一覧	79
第19図 埋葬・土坑(1)	24	第7表 器種略号一覧	79
第20図 上坑(2)	25	第8表 石製遺物主要諸元一覧	79
第21図 上坑(3)	26	第9表 石材単位器種組成一覧	79
第22図 上坑(4)・焼土	27	第10表 遺構単位石材組成一覧	
第23～50図 繩紋七器(1～28)		…80～83	
	…44～71	第11表 遺構単位器種組成一覧	
第51図 繩紋上器(29)・土製品	72	…84～87	
第52図 繩紋上器(30)	73	第12表 母岩別資料一覧	88～91
第53図 葉状剥片痕跡技術模式図	76	第13表 遺構間接合資料分方遺構一覧	92
第54図 遺構段階別分布図(Ba)	92～93	第14表 遺構間接合資料分布遺構一覧	94

写真図版目次

カラーボード1 調査地航空写真	
カラーボード2 ヒスイ華飾	
写真図版1 調査地周辺の航空写真	
写真図版2 住居址(1)	
写真図版3 住居址(2)	
写真図版4 住居址(3)	
写真図版5 住居址(4)	
写真図版6 住居址(5)	
写真図版7 住居址(6)	
写真図版8 住居址(7)	
写真図版9 土坑(1)	
写真図版10 土坑(2)	
写真図版11 土坑(3)	
写真図版12 土坑(4)・埋葬・焼土	
写真図版13 出土土器(1)	
写真図版14 出土土器(2)	
写真図版15 出土土器(3)	
写真図版16 出土土器(4)	

1 調査の概要

1 調査次・調査地点

平成 10 年度の調査を第 3 次調査（調査時の表記はⅢ）、11 年度を第 4 次調査（同Ⅳ）とした。いずれも、上層は弥生～中世の遺構検出面となるが、60～80cm 下部に縄紋時代の遺構検出面が存在する部分があり、同一位置でも上下 2 層の調査を行った場合は、それぞれ別の調査地点名を付した。

第 3 次調査には A～C の 3 地点があり、それぞれ 3A、3B、3C と呼称した。3A は今次最も北寄りの地点で、同一面上で縄紋と平安の遺構を確認、3C は 2A（平成 8 年度実施、『松本市文化財報告 No.130』）の周囲隣接地で 2A 同様の弥生～中世面、3B は 2A の下層で縄紋面である。第 4 次調査には A・B の 2 地点があり 4A・4B とした。4A は 3C 下部の縄紋面、4B は 3C に西隣する弥生～中世面で下部に縄紋面はなかった。

2 調査方法

調査手順は、まず大型建設機械で遺構検出面までの耕土・基盤土を除去、人力で遺構検出を行い遺構の位置や範囲を確定した。次に、遺構を掘り下げ土層図を作成するとともに、遺物等の出土状況と完壊後を平面図と写真で記録した。出土遺物は全点を回収したが、特に石器は地山が裸を含まない上層でのため、すべての石材が人為の所産と考え、加工・使用痕跡のないものも遺構一括で取り上げた。また、調査地点毎に作業が終了した時点での航空写真の撮影を行った。測量作業は、任意に設置した基準点から真北に振り出した基線により設定した 3m 方眼のグリッドですべての調査地点を共通の座標で覆って、オフセット測量を実施した。遺構番号は基本的に 2 次調査に連続させたが、地点や時代がかわった場合、区切りの良い数字から始めているものもある。

3 概要

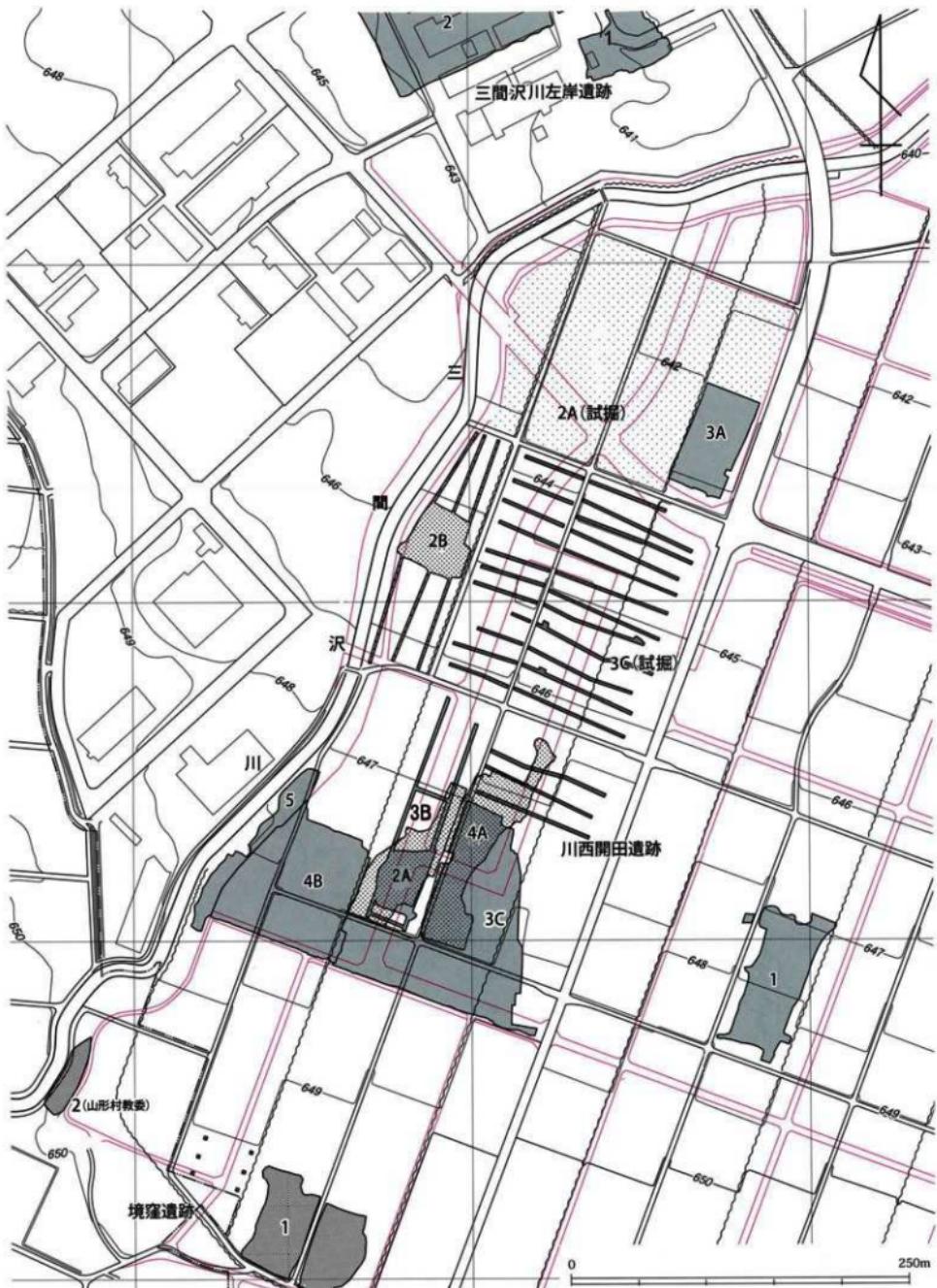
川西開田遺跡 3・4 次調査の成果概要は下表のとおりである。なお、本書は「縄紋編」として下層で検出された縄紋時代の遺構と遺物を対象としたため、当該時期が主体であった 3B・4A 地点と 3A 地点の一部について扱っている。3A・3C・4B 地点の詳細は別冊の「古代中世編『松本市文化財報告 No.162』」を参照されたい。

第 1 表 川西開田遺跡の調査成果概要

地点	調査期間	面積 (a)	発見した遺構	出土した遺物
3A	10. 4. 20～ 10. 6. 5 (試掘含)	15, 300	縄紋：上坑 432、ビット 905、マームウンド 1 (土坑等は自然の産みの可能性大) 平安：溝 7	縄紋：土器片、石器 平安：土器 ※古代中世は「古代中世編」参照
3B	10. 6. 10～ 10. 8. 31	3, 900	縄紋：堅穴住居址 14 (第 17～30 分)、土坑 614、屋外施肥 9、溝 3、谷底地形 1	縄紋：縄紋土器 (中期初頭～中期前葉)、石器 (鍬、鋸、石匙、石皿、圓石、石核、模状石核、楔状剥片ほか)
3C	10. 9. 5～ 11. 1. 6	13, 300	弥生：土坑 平安：堅穴住居址、土坑、掘立柱建物址、柱穴 列、ビット、溝 中世：土坑 1 ※詳細は「古代中世編」参照	弥生：土器、石器 平安：土器陶磁器、鐵器、銅製品、石製品、鉛、銀、骨、炭化材 中世：土器、鐵貨 ※詳細は「古代中世編」参照
4A	11. 4. 5～ 11. 6. 19	5, 250	縄紋：堅穴住居址 16 (第 103～120 号) ほか、だ し 104・107 号は欠番)、土坑 684、溝 1、 流跡 1	縄紋：縄紋土器 (中期初頭～中期前葉)、土偶、石器 (鍬、鋸、石匙、石皿、圓石、石核、模状石核、楔 状剥片、石鏟、垂飾ほか)、炭化物
4B	11. 6. 20～ (5 分) 11. 10. 4	9, 600	平安：堅穴住居址 10、土坑 中世：土坑 ※詳細は「古代中世編」参照	平安：土器陶磁器、銅製品 中世：土器陶磁器、鐵器、銅製品、石器、木製品、骨、 炭化材、炭化種子 ※詳細は「古代中世編」参照
計		47, 410	縄紋：堅穴住居址 30、土坑 1730、溝 4	縄紋：土器、石器、炭化物

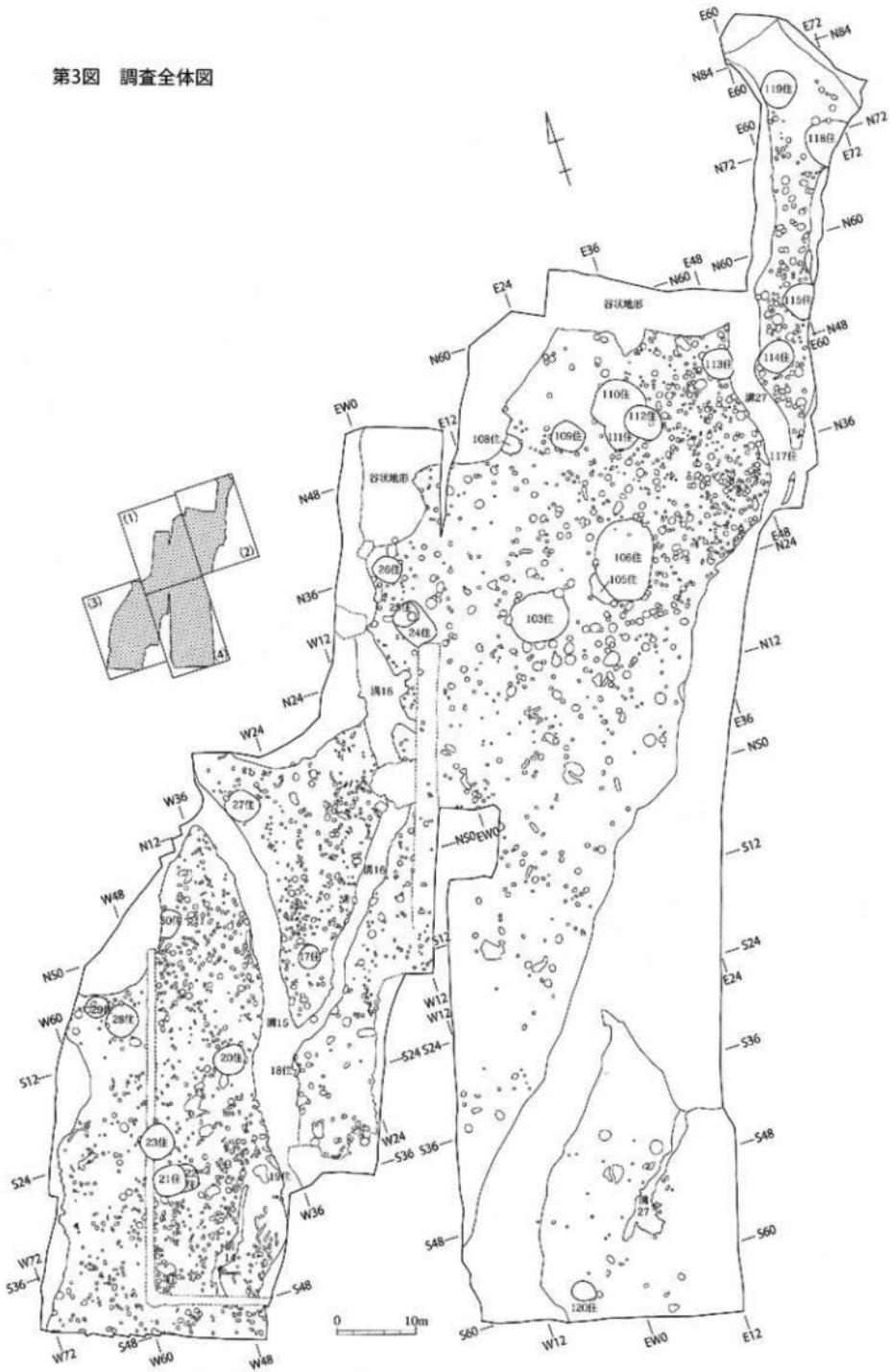


第1図 調査位置と周辺遺跡

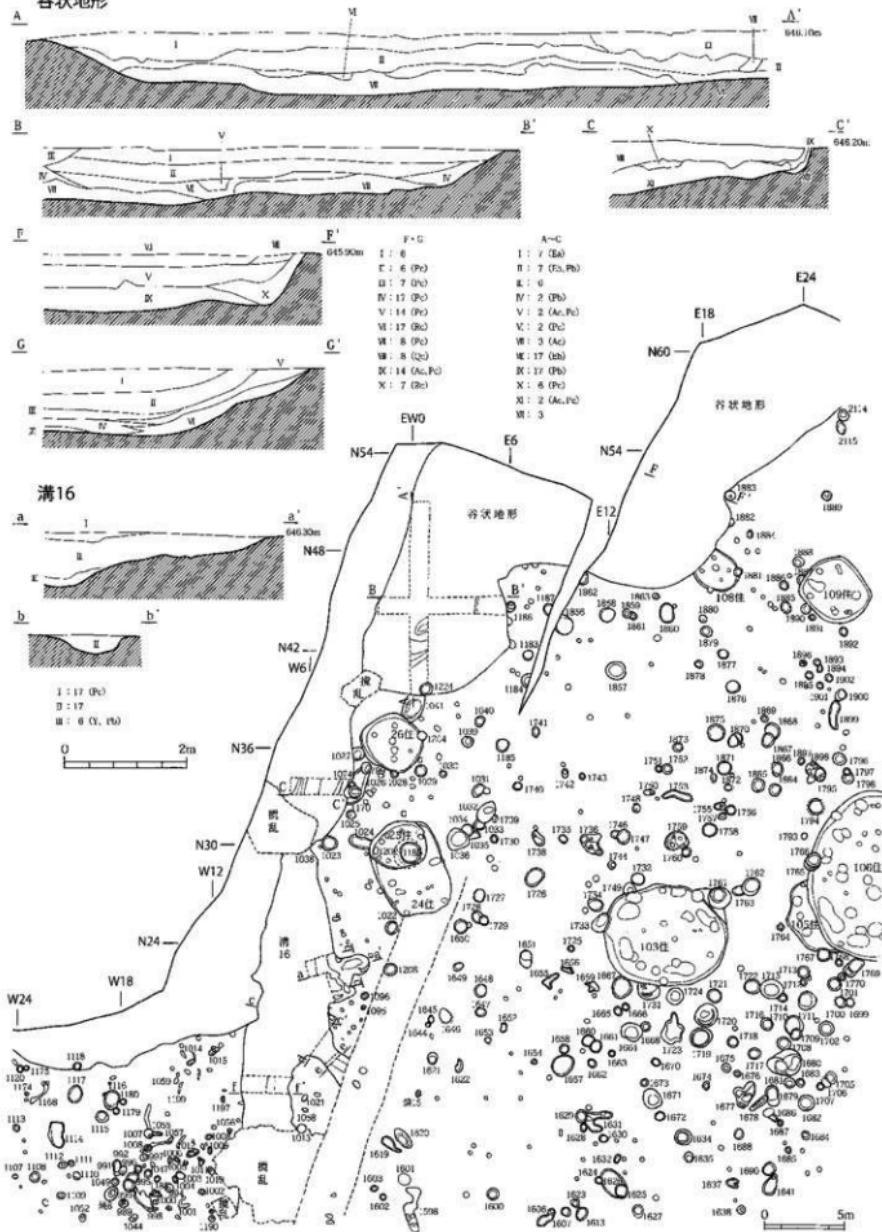


第2図 調査範囲

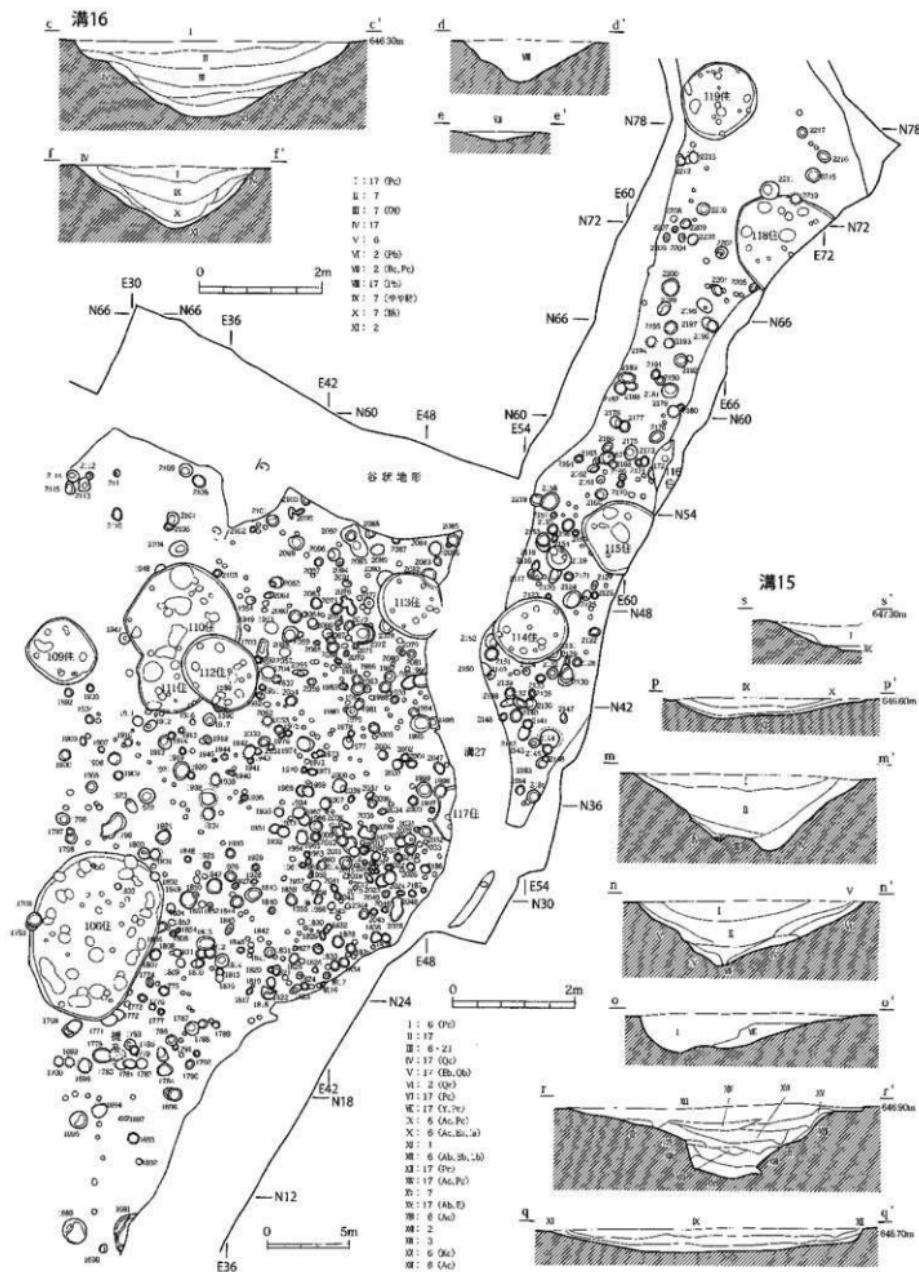
第3図 調査全体図



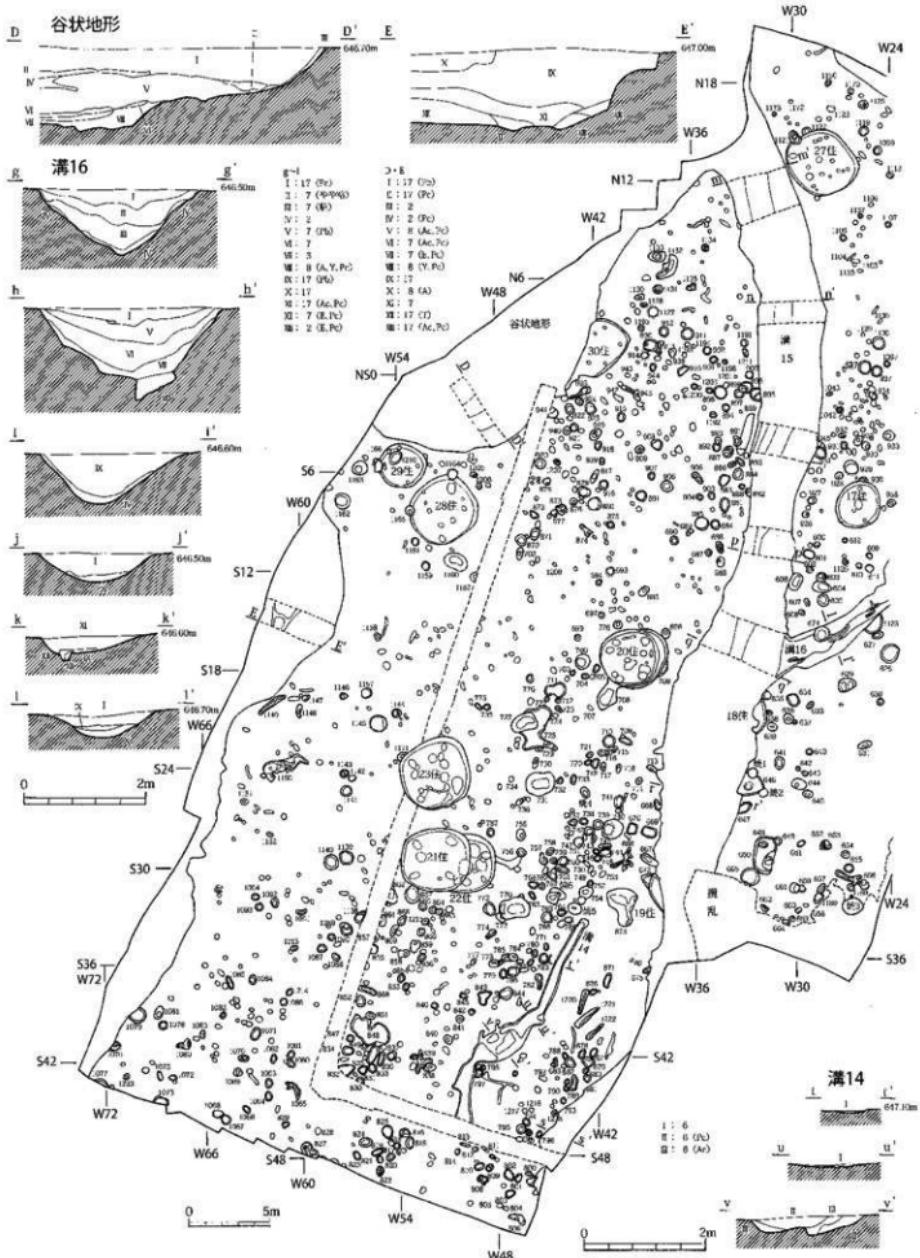
谷状地形



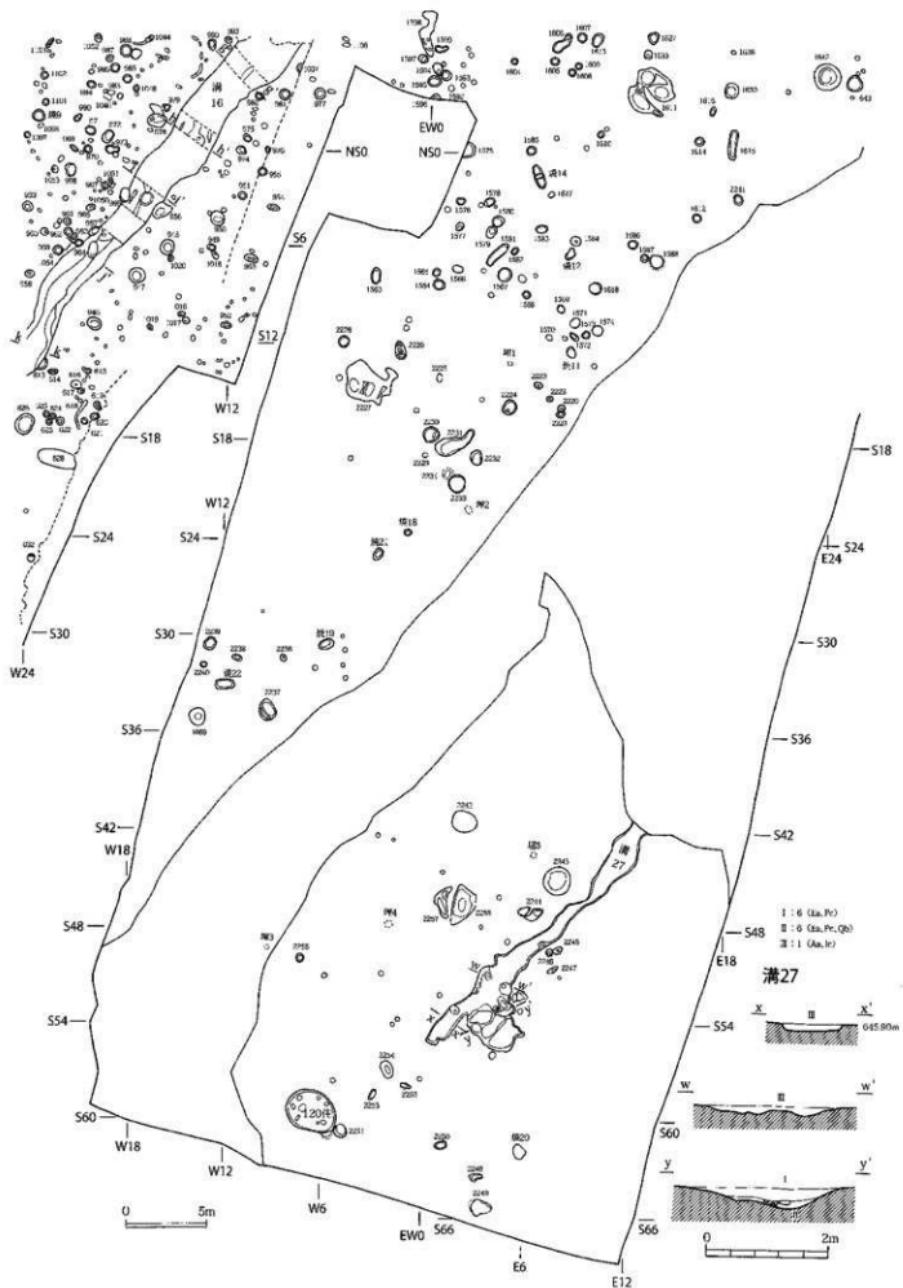
第4図 遺構配置図(1)



第5図 遺構配置図(2)



第6図 遺構配置図(3)



第7図 遺構配置図(4)

II 発見された遺構

1 壺穴住居址（第8～18図、第2表）

3B区で14軒、4A区で16軒の計30軒が発見されている。遺構番号は3B区では2次調査に連続させて17住から30住まで、4A区では3C区に連続させて103住から120住（ただし104・107住は欠番となったので4B区の平安住居に割り当てた。）までとした。いずれも平面形は円形、楕円形を基調としており、規模は最小で29住の278×272cm、最大で106住の1032×752cm、深さは10～56cmである。炉形態は地床炉、石壇炉、埋甕炉の3種がみられ、併用されている住居址もあった。また、大型の住居址では複数の炉を持つものもある。時期は土器の分析から、縄紋中期初頭から中葉に属する。

2 屋外埋甕（第19図）

他の遺構に属さず、単独で上器を埋設した遺構である。4A区で5基が発見され、うち2基（屋外埋甕1・3）の遺構図を提示した。いずれも上器埋設用のピットを伴っている。屋外埋甕3を除く4基は壺穴住居址と同様の時代の所産と考えている。

3 土坑（第19～22図）

3A区で432基、3B区で614基、4A区で684基の計1,730基が発見されている。ただし、3A区の土坑は縄紋時代の所産と扱ったが、わずかに認められた遺物も単なる包含層出土品と考えられ、掘り方も中途半端な窪み状のものばかりで人為は皆無に近いとみて、総数を挙げるに止めた。3B・4A区の土坑は明確に縄紋時代検出面から発見されたもので、縄紋時代の人为的所産と判断して問題ない。これらについても、圓化提示は遺物出土や遺物接合関連のものに絞っている。土2252は調査中途で住居址と判明し120住に振り替えたため、一部で遺物の扱いがそのままになっている。遺物を出土しなかったものが多く詳細な時期は不明だが、ほとんどの土坑が縄紋中期初頭から中葉に属する壺穴住居址群に伴ったものと推定している。

4 焼土址（第22図）

3B区で1号から9号までの9基、4A区で11号から22号までの12基の計21基が発見されている。縄紋時代の遺構面からの発見なので、同時代のものと捉えている。壺穴住居址が削平された痕跡とも考えたが、周辺の状況からみて、屋外の単独の焼土址である可能性が高い。焼土址自体がピットや土坑に相当する掘り込みを伴っている例が多い。規模は平面形が楕円形や隅丸長方形で径30～150cm、深さが7～38cmを測る。遺物を伴ったものは少ない。

5 溝址（第4～7図）

3B区で溝14～16の3本、4A区で溝27の1本の計4本が確認されている。溝16は溝15から分岐しているが、溝15・16・27は谷状地形と密接に関連しているものとみられ、いずれも谷状地形に合し、縄紋中期の遺構を切っている。溝14は単独である。3A区でも土坑群と同一確認面で2本の溝址が検出されているが、こちらは出土遺物から平安時代に下るものと判断された。

6 谷状地形（第4～6図）

3B区西部と北部及び4A区北部で検出された。黒褐色土の遺構検出面上に黄褐色土が広がるように検出され、上層をサブトレーナーで確認すると対岸の立ち上がりが把握できなかったので、大規模な地形状のものと判断した。縄紋中期の遺構を切っているので溝址と前後する時期に形成されたと推定する。

7 流路（第5・7図）

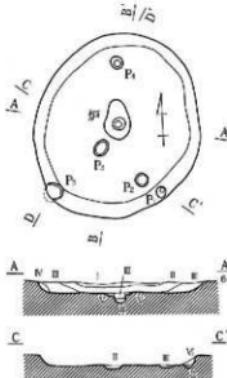
4B区を東側から南西方向に横切るように検出された。中小礫が詰まった流路性堆積で、縄紋遺構及び検出面を破壊していることから、縄紋中期以降に流れた三間沢川の旧河道のひとつと推定した。礫中に縄紋晚期の土器(271)の埋設があったことから、それ以前に河道は埋没していたと考える。

第2表 川西開田遺跡3B・4A地区 繩文時代竪穴住居址一覧表

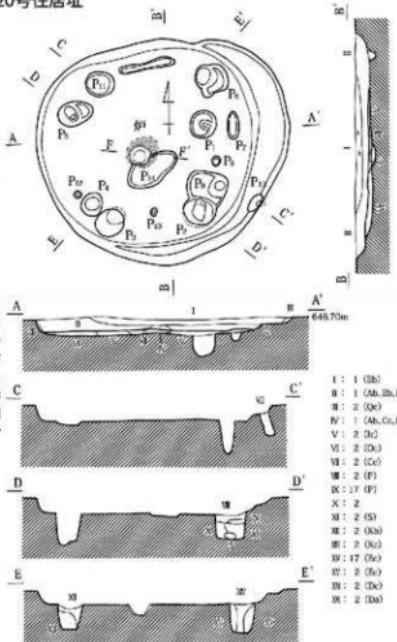
(推定値)(<残存値>)

地区	No.	位置	平面形	規模(cm) 長×短×深	床面積 (m ²)	主軸方向	炉形態 (土器No.)	時期	備考
3B	17	S8W26	楕円形	306×270×16	4.8	N3° E	地床炉?	上930を切る	
3B	18	S21W32	不明	<220>×<70>×13	<1.0>	不明	不明	上638を切る。溝15に切られる	
3B	19	S32W38	不明	242×<72>×17	<1.3>	不明	不明	上672を切る。溝15に切られる	
3B	20	S17W40	円形	416×364×26	10.6	N1° E	埋甕炉(2)	中	土706-708を切る
3B	21	S30W52	円形	424×380×32	11.4	N6° E	石圓炉	中	22件・土867を切る
3B	22	S30W50	円形?	364×<152>×36	<4.1>	N2° E	不明		ビットを切る。21住に切られる
3B	23	S24W52	隅丸方形	424×402×30	12.4	N15° W	石圓炉	中	上1171を切る
3B	24	N28E0	隅丸長方形	568×410×16	19.3	N21° W	不明	中	土1024を切る。25住に切られる
3B	25	N30W1	楕円形	332×284×20	6.8	N7° W	石圓炉	中	24住・土1024-1202を切る。土1182に切られる
3B	26	N36W1	隅丸方形	364×344×28	8.1	N4° W	石圓炉 埋甕炉(45)	中	土1028-1041を切る。土1204に切られる
3B	27	N13W28	楕円形	412×384×28	11.3	N3° E	地床炉		上1122を切る。土1121に切られる
3B	28新	S8W51	円形	418×386×32	11.0	N1° E	石圓炉	中	土1164-1165に切られる
3B	28H		円形	320×304×10	8.5	N0° E	石圓炉		
3B	29	S6W54	円形	278×272×20	4.4	N6° E	石圓炉		上1166-1210-P11に切られる
3B	30	N2W11	不明	412×<256>×16	<6.7>	N27° E	石圓炉		谷状地形に切られる
4A	103	N25E16	楕円形	728×604×32	31.5	N10° E	地床炉2基		土1731-1749を切る。土1733-1761に切られる
4A	105	N25F24	不明	472×<160>×12	<5.5>	N1° E	不明		106住・土1767に切られる
4A	106	N28E28	楕円形	1032×752×36	57.3	N15° E	地床炉10基	初	105住・土1771-1772-1805-P105を切る。土1765-1766-1802-1803-P125に切られる
4A	108	N47E19	楕円形	(288)×228×10	(4.5)	N40° E	地床炉		土1881-谷状地形に切られる
4A	109	N46E26	隅丸方形	412×344×28	10.6	N40° E	石圓炉		土1887-1890を切る
4A	110	N48E33	円形	664×(600)×20	(31.3)	N5° E	地床炉5基	初	111住と重複(前後不明)、土1947-1948を切る。112住に切られる
4A	111	N44E32	円形	448×(448)×20	(14.7)	N5° E	地床炉2基	初	110住と重複(前後不明)、112住に切られる
4A	112	N44E36	楕円形	508×408×30	14.5	N14° E	石圓炉	中	110-111住・土1589-1590を切る
4A	113	N48E47	円形	428×428×44	11.3	N9° E	石圓炉	中	土2078-2082-2090を切る。溝27に切られる。東側一部不明
4A	114	N47E55	円形	456×400×30	11.5	N2° E	埋甕炉(240)	中	土2131-2152を切る。
4A	115	N53E60	円形	440×<360>×40	<13.0>	N5° E	石圓炉	中	P330-331を切る。区域外にかかる
4A	116	N57E62	不明	<316>×<92>×22	<1.7>	N15° E	不明		土2172を切る。流路に切られる
4A	117	N36E49	不明	324×<72>×11	<2.6>	不明	不明		上1998-溝27に切られる
4A	118	N71E69	円形	600×<440>×22	<20.2>	N45° E	不明	初	土2211-2219に切られる。区域外にかかる
4A	119	N80E65	楕円形	480×432×20	15.0	N16° E	埋甕炉(270)		溝27に切られる
4A	120	S59W6	楕円形	324×256×56	5.3	N36° E	埋甕炉?		土2252から変更

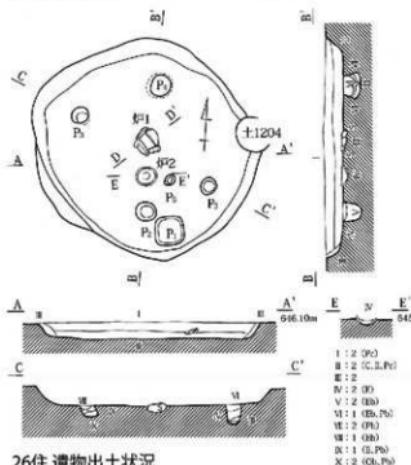
第17号住居址



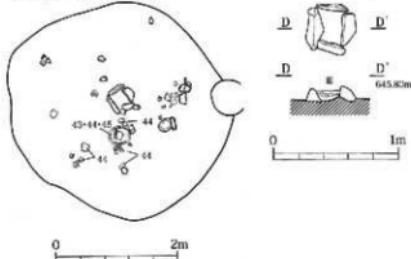
第20号住居址



第26号住居址



26住 遺物出土状況



第20号住居址

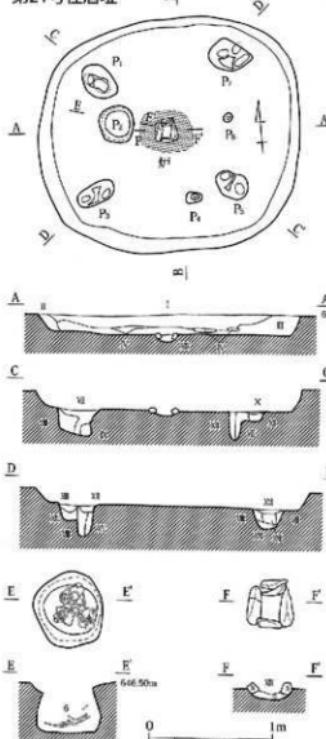
約3.7mの円形だが、東から南側に約40cmの段を持ち、そのためやや楕円形を呈す。炉は埋立炉で第23図の2の深鉢を正位に埋設。用溝は北側に50cmほど検出された。ピットは14個あり、それぞれ深さはP₁:55cm, P₂:42cm, P₃:28cm, P₄:39cm, P₅:51cm, P₆:50cm, P₇:10cm, P₈:3cm, P₉:55cm, P₁₀:24cm, P₁₁:6cm, P₁₂:8cm, P₁₃:35cm, P₁₄:6cmを測る。主柱穴はP₃, P₄, P₅の方形配列を基準とし、後にP₆, P₇を飛ばして南方に拡張した可能性を想定する。遺物の出土量は多く、3点の土器を黒塗表示した。

第26号住居址

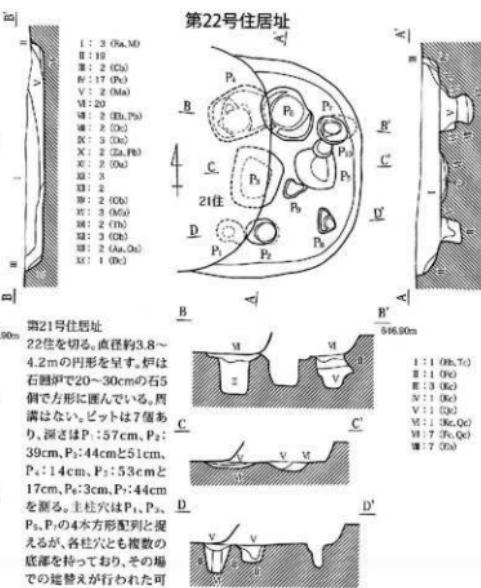
約3.5mの円形を呈す。炉は石庭炉(炉1)と埋立炉(炉2)の2基があり、炉1は30cm程の長い楕円形で方形に囲い、炉2は第26図45の浅鉢を正位に埋設している。用溝はない。ピットは6個あり、深さはP₁:11cm, P₂:26cm, P₃:28cm, P₄:28cm, P₅:37cm, P₆:12cmを測る。主柱穴はP₃, P₄, P₅の長方形配列になると想定する。遺物の出土量は多く、3点の土器を黒塗表示した。

第8図 積穴住居址(1)

第21号住居址



第22号住居址



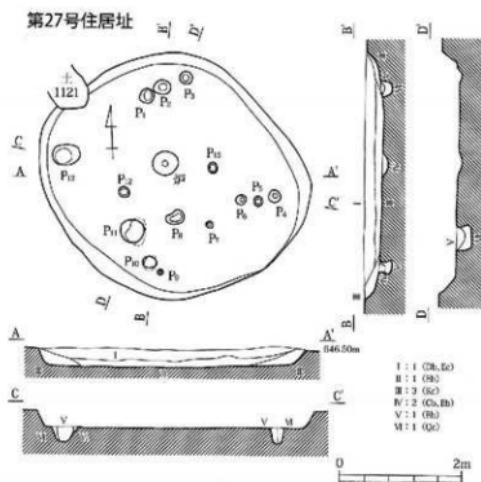
第21号住居址

22住は直徑約3.8~4.2mの円形を呈す。坪は石礫層で20~30cmの石5個で方形に囲んでいる。周溝はない。ピットは7個あり、深さはP₁: 57cm, P₂: 39cm, P₃: 53cmと17cm, P₄: 3cm, P₅: 44cmを測る。主柱穴はP₁, P₃, P₅, P₇の木方形配列と捉えるが、各柱穴とも複数の底部を持っており、その場での延替が行なわれた可能性が高い。遺物出土量はさほど多くなく4点の土器を示したが、P₅から死体の深跡(第23回)が壊れた状態で出土している。

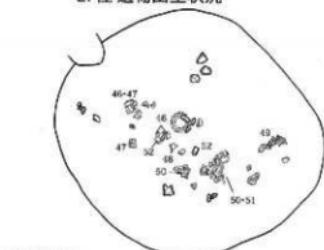
第22号住居址

21住は西半分を切られる。直徑3.6m前後の円形を呈したものと推定する。坪は確認できなかった。周溝はない。ピットは21住の床下から検出されたものも含めて10個あり、深さはP₁: 49cm, P₂: 32cm, P₃: 11cm, P₄: 65cm, P₅: 14cm, P₆: 51cm, P₇: 47cm, P₈: 39cm, P₉: 11cm, P₁₀: 43cmを測る。主柱穴はP₁, P₃, P₅及びP₇最深部の方形配列を想定する。P₅には焼上等は見られなかったが、位置的に加熱の痕跡の可能性がある。遺物出土量は少ない。

第27号住居址



27住 遺物出土状況

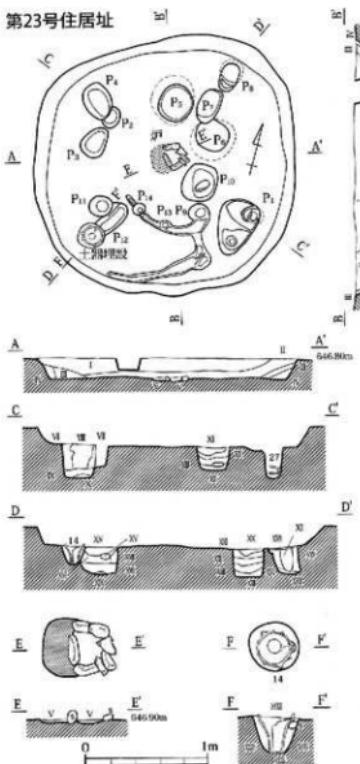


第27号住居址

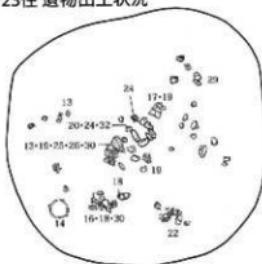
4.1×3.8mの楕円形を呈す。坪は中央部にわずかな窪みと焼土を伴った地床である。周溝はない。ピットは小規模なものばかり15個検出され、深さはP₁: 11cm, P₂: 16cm, P₃: 8cm, P₄: 24cm, P₅: 5cm, P₆: 8cm, P₇: 8cm, P₈: 16cm, P₉: 8cm, P₁₀: 21cm, P₁₁: 24cm, P₁₂: 12cm, P₁₃: 23cm, P₁₄: (不明), P₁₅: 8cmを測る。主柱穴は西のP₁, 南のP₃ないしP₅の北はP₁~P₃, 東はP₅~P₈を相当させ、基本的に方形配列だとえた。特に北と西は複数の柱穴による住居構造の痕跡と推定する。遺物の出土量は多く、7点の土器を同化表示できた。

第9図 積穴住居址(2)

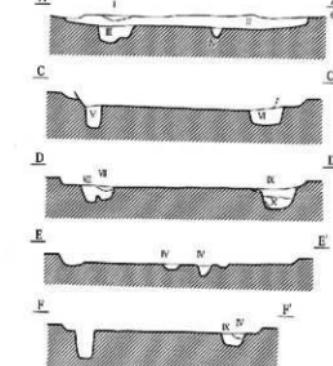
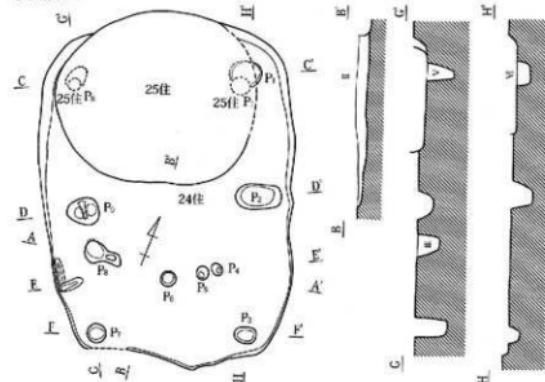
第23号住居址



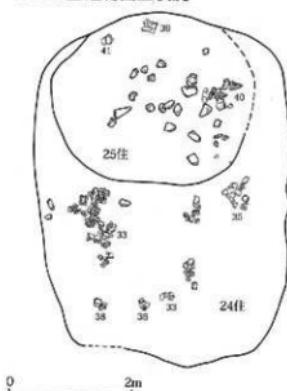
23住 遺物出土状況



第24号住居址



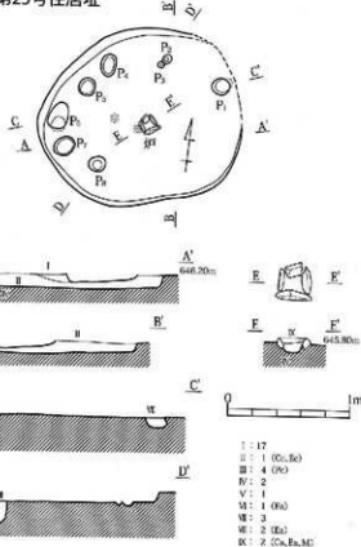
24・25住 遺物出土状況



第24号住居址

隔長方形を呈し、北半分をすっぽり25住に切られる。gは確認できなかった。周溝はわずかに西側面にみられるのみである。ピットは9個あり、深さはP₁:24cm、P₂:34cm、P₃:22cm、P₄:3cm、P₅:17cm、P₆:8cm、P₇:36cm、P₈:27cm、P₉:30cmと22cmを測る。主柱穴はP₁、P₂、P₃、P₄、P₅の5箇所で、確認できなかつた北西隅のものを含む6箇の長方形配列になると推定する。遺物の出土量は多く、6点の土器を同化提示できた。

第25号住居址

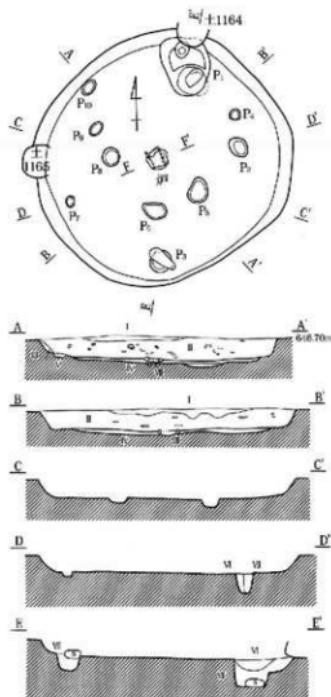


第25号住居址

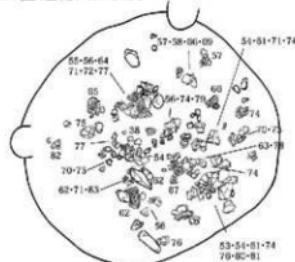
3.3×2.8mの小型の楕円形を呈す。24住を切り、同址の中にすっぽり入り込んでいる。gは中央に石圓ががあり、20～25cmの4箇の石で方形に囲っている。周溝はない。ピットは8箇あり、深さはP₁:15cm、P₂:5cm、P₃:（不明）、P₄:3cm、P₅:6cm、P₆:36cm、P₇:8cm、P₈:36cmを測る。ピットの分布が北側に偏っており、主柱穴の配列を規定するのはむずかしい。遺物の出土量は多く、4点の土器を同化提示できた。

第11図 穂穴住居址(4)

第28号新住居址



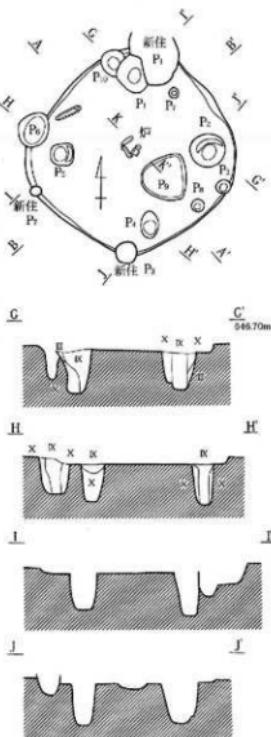
28住遺物出土狀況



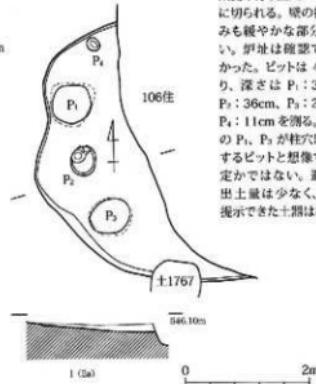
第28号住居址(新)

4.2×3.9mの円形を呈す。坪址は中央に石垣炉があり、20~30cmの長さの石台形石に囲まれている。隣殿は焼け出しがなかった。ピットは10個あり、深さP₁:46cm; P₂:30cm; P₃:28cm; P₄:7cm; P₅:11cm; P₆:10cm; P₇:7cm; P₈:5cm; P₉:6cm; P₁₀:5cmを測る。主柱P₁は深さから推定して、P₁, P₂, P₃の方形配列を想定する。本造は臼住屋の真上に須彌を拡大して掘り広げたもので、旧臼住を踏って床を構築している。遺物の出土量はきわめて多く、31点の土器を調査表示できた。

第28号旧住居址



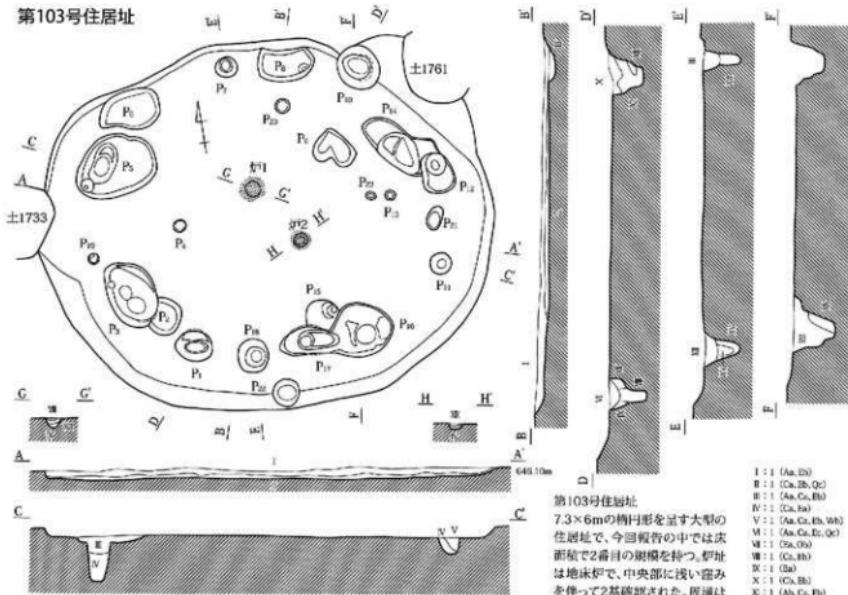
第105号住居址



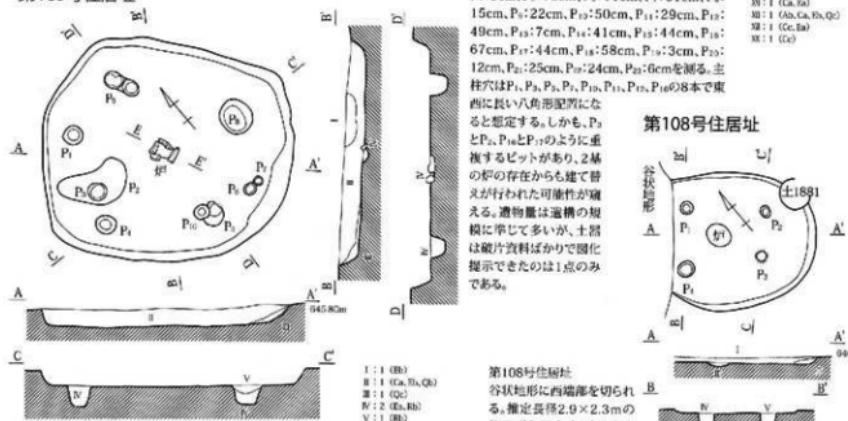
第105号住居址
東側半分以上を106住
に切られる壁の割り込みも緩やかな部分が多い。
野跡は確認できなかっ
た。ピットは4個認め
る。深さはP₁:32cm,
P₂:36cm、P₃:29cm,
P₄:11cmを測る。大型
のP₁、P₃が柱穴に開通
するピットと想像するが
定かではない。遺物の
出土量は少なくて、回収
表示された土器はない。

第12図 竪穴住居址(5)

第103号住居址



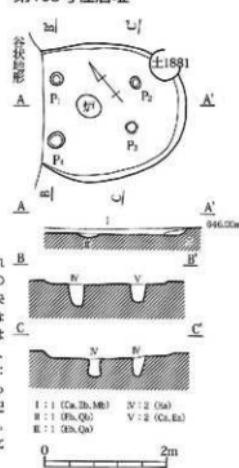
第109号住居址



第六章

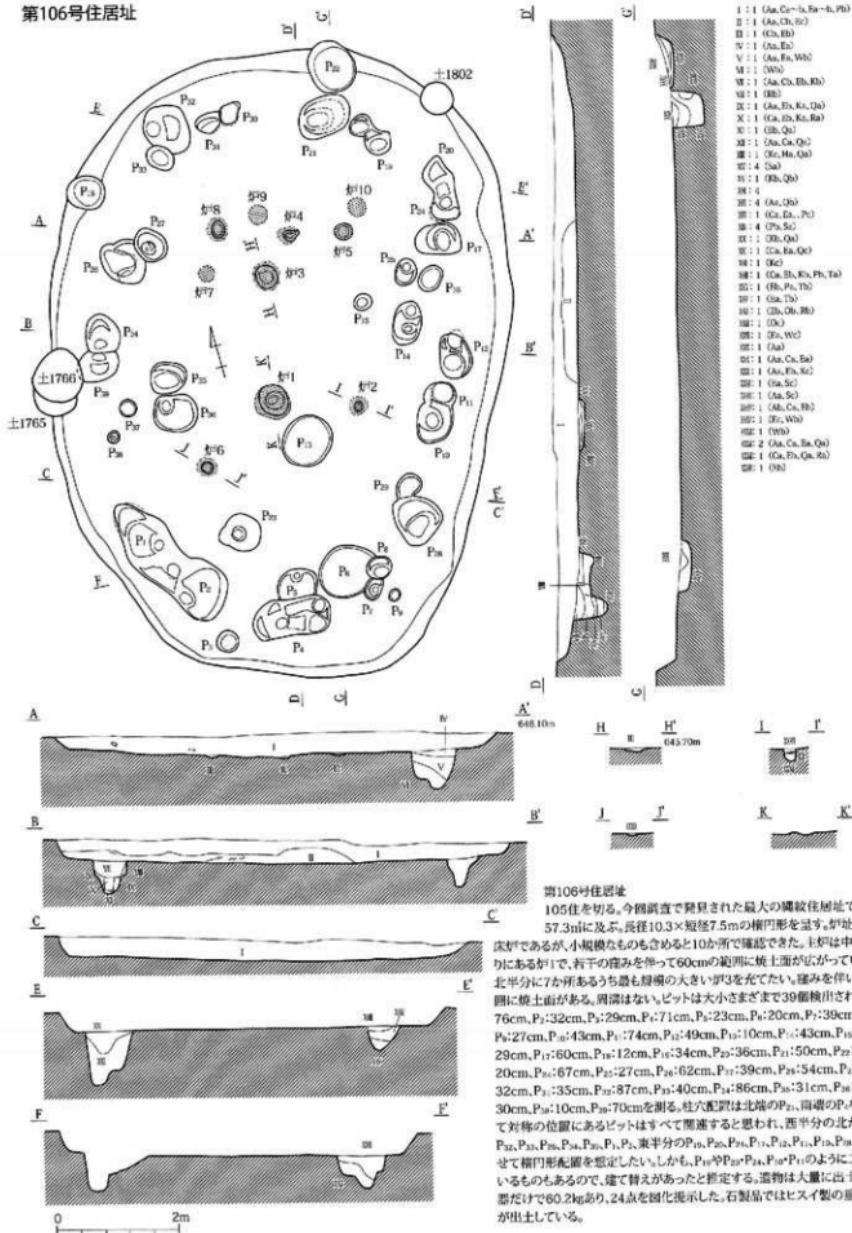
第109号田辺山
4.1×3.5mの石丸方形を呈す。頂は中央に石圓郭があり、15~30cmの長さの石4側で方形に囲っている。履溝はない。ピットは10個あり、深さはP₁:11cm; P₂:13cm; P₃:11cm; P₄:10cm; P₅:21cm; P₆:11cm; P₇:5cm; P₈:30cm; P₉:25cm; P₁₀:38cmを測る。柱穴はP₁, P₂, P₃, P₄の方形配置になると想定する。出土遺物は少くないが、土器は破片資料がほとんどで1点を除き表示は省略したに過ぎない。

第108号住居址



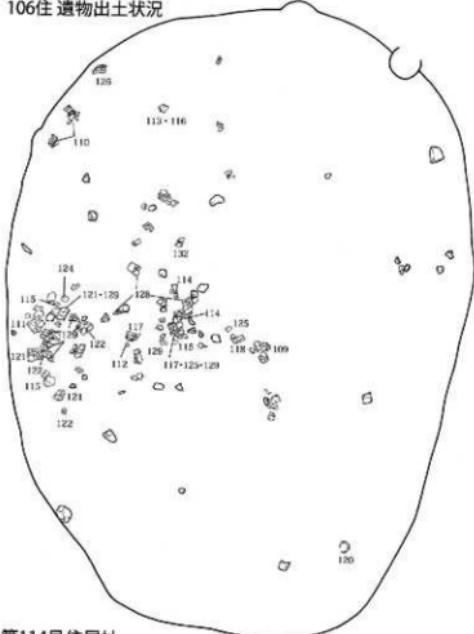
第13図 竪穴住居址(6)

第106号住居址

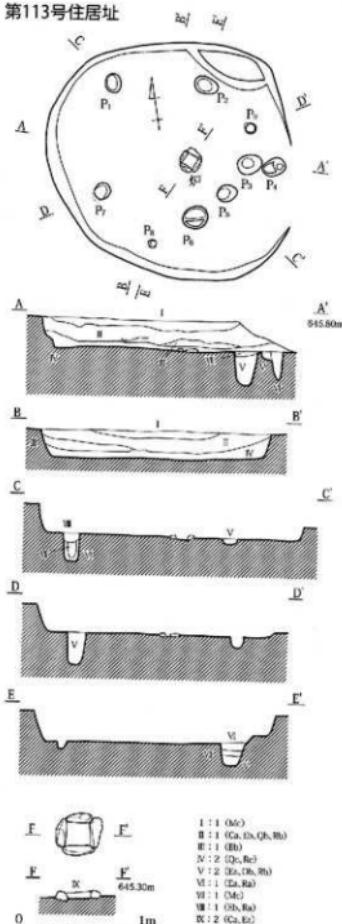


第14図 竪穴住居址(7)

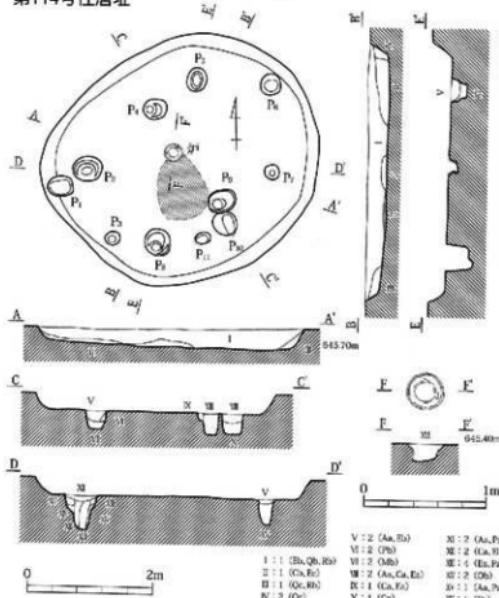
106住 遺物出土状況



第113号住居址



第114号住居址



第113号住居址

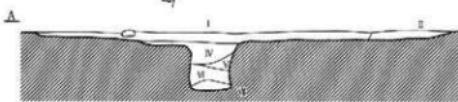
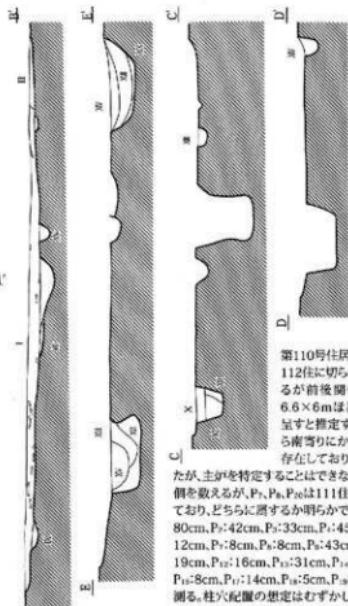
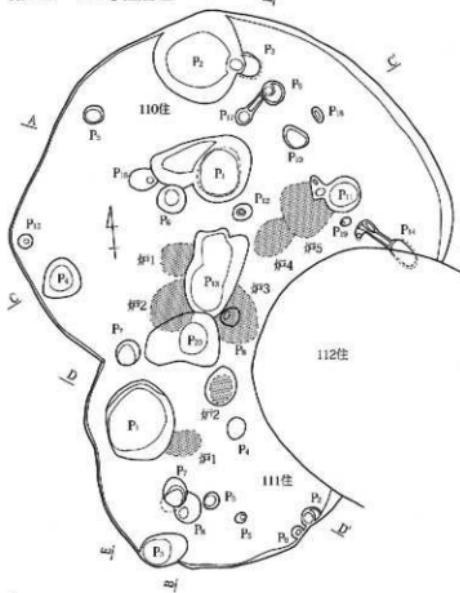
東端部をわずかに溝27に切られる。径4.3mの円形を呈す。炉は中央部に石壠があり、長さ25cm前後の石4箇で方形に囲まれている。周溝は検出できなかったが、北東側にわずかな段状部分がある。ビットは9個あり、深さはP:49cm, P₁:40cm, P₂:51cm, P₃:43cm, P₄:33cm, P₅:36cm, P₆:50cm, P₇:15cm, P₈:18cmを測る。主柱穴はP₁, P₂, P₃ないしP₄, P₅, P₆の5角形配列になると想定する。出土遺物は多く、土器9点を回復提示できた。

第114号住居址

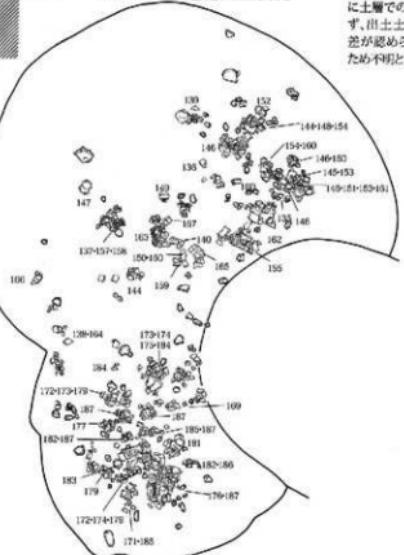
4.6×4mのやや不整な円形を呈す。炉は中央に埋煙管があり、深鉢(第43段240)の底部上半を埋設している。炉の前面1mの範囲には徒士が広がっていた。周溝はない。ビットは11個あり、深さはP:32cm, P₁:59cm, P₂:27cm, P₃:57cm, P₄:29cm, P₅:16cm, P₆:44cm, P₇:46cm, P₈:39cm, P₉:37cm, P₁₀:25cmを測る。主柱穴はP₁, P₂, P₃, P₄, P₅の6本且方形配列になると想定する。出土遺物は多く、土器5点を回復提示できた。

第15図 穴住居址(8)

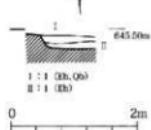
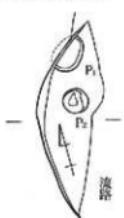
第110・111号住居址



110・111住 遺物出土状況



第116号住居址



第111号住居址
112住に切られ、110住と重複するが前後関係は不明である。径4.5mほどの不整な円形を呈すと推定する。剖は中央部西寄りに炉1、北寄りに炉2があり、いずれも地床跡であるが、主の特徴は出来出来なかった。ピットは9個あり、深さはP₁:49cm, P₂:12cm, P₃:13cm, P₄:23cm, P₅:11cm, P₆:44cm, P₇:40cm, P₈:10cm, P₉:12cmを測る。切り合いで重複関係のため柱穴配置の推定はむずかしい。遺物の出土量は多く、土器19点を回復表示できた。110住との前後関係が不明な理由は両端である。

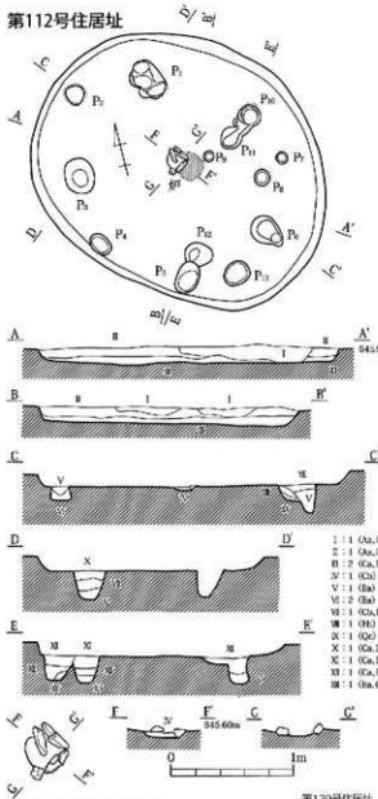
第116号住居址
ほとんどが後段に切られて西南部がわずかに残るのみである。剖は、周溝は把握できていない。ピットが2個検出されている。深さはP₁:26cm, P₂:48cmを測る。柱穴配置の推定はできない。遺物の出土量は少なく、土器1点を回復表示できた。

第16図 積穴住居址(9)

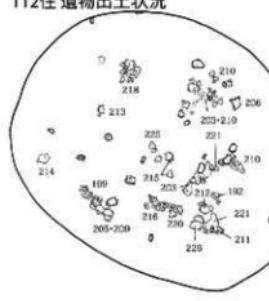
第110号住居址

112住に切られ、111住と重複するが前後関係は不明である。6.6×6.6mほどの不整な円形を呈すと推定する。剖は中央部から南北にかけて焼土55か所存在しており地床剖として捉えたが、主が特定することはできなかった。ピットは20個を数えるが、P₁, P₂, P₃は111住の領域にも含まれており、どちらに属するか明確ではない。深さはP₁:80cm, P₂:42cm, P₃:33cm, P₄:45cm, P₅:33cm, P₆:12cm, P₇:8cm, P₈:8cm, P₉:43cm, P₁₀:12cm, P₁₁:19cm, P₁₂:16cm, P₁₃:31cm, P₁₄:25cm, P₁₅:4cm, P₁₆:8cm, P₁₇:14cm, P₁₈:5cm, P₁₉:7cm, P₂₀:15cmを測る。柱穴配置の推定はむずかしい。遺物は大量に出土しており、土器35点を回復表示できた。111住との前後関係については、焼土が残ったため土層での判別がつかず、出土土器でも時期差が認められなかったため不明とした。

第112号住居址



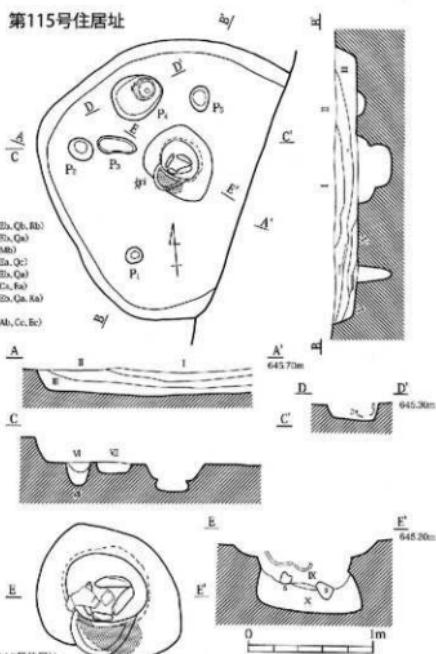
112住 遺物出土状況



第112号住居址

110F、111体を切る、 $5.0 \times 4.0\text{m}$ の楕円形を呈す。炉址は中央に石陶器が残り、一括 30cm^3 以上の大きさをもつて構成されるが形状が異なって、 $\varnothing 30\text{cm}$ の壺形(40cmまで土柱がある)がついて、側面は突出でなかった。ピットは13個あり、深さは $P_1: 44\text{cm}$, $P_2: 26\text{cm}$, $P_3: 49\text{cm}$, $P_4: 20\text{cm}$, $P_5: 37\text{cm}$, $P_6: 21\text{cm}$, $P_7: 5\text{cm}$, $P_8: 11\text{cm}$, $P_9: 27\text{cm}$, $P_{10}: 40\text{cm}$, $P_{11}: 10\text{cm}$, $P_{12}: 47\text{cm}$, $P_{13}: 16\text{cm}$ である。柱穴配置は P_1 , P_2 , P_3 , P_4 , P_5 , P_6 の側面にある壺形の角部になると想定する。

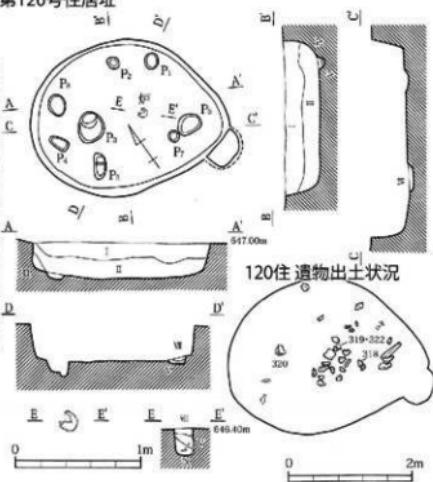
第115号住居址



115号住居址

東側に 4.4m ほどが窓区域外にかかる。後 4.4m ほどの円形を呈すと推定される。炉址は中央等に大きめの袋状ピットを有り、それを半分埋めた箇所に $10\sim 15\text{cm}$ の丸柱の右で不規則な形に割った石四脚を作っている。周辺は削出でながった。ピットは10個あり、深さは $P_1: 57\text{cm}$, $P_2: 35\text{cm}$, $P_3: 18\text{cm}$, $P_4: 27\text{cm}$, $P_5: 4\text{cm}$ を示す。手内には焼付(43回24回)が確認されていた。他のピットは規模が小さく、柱穴配置は不明である。遺物の出土量は多く、土器9点を発見できた。

第120号住居址



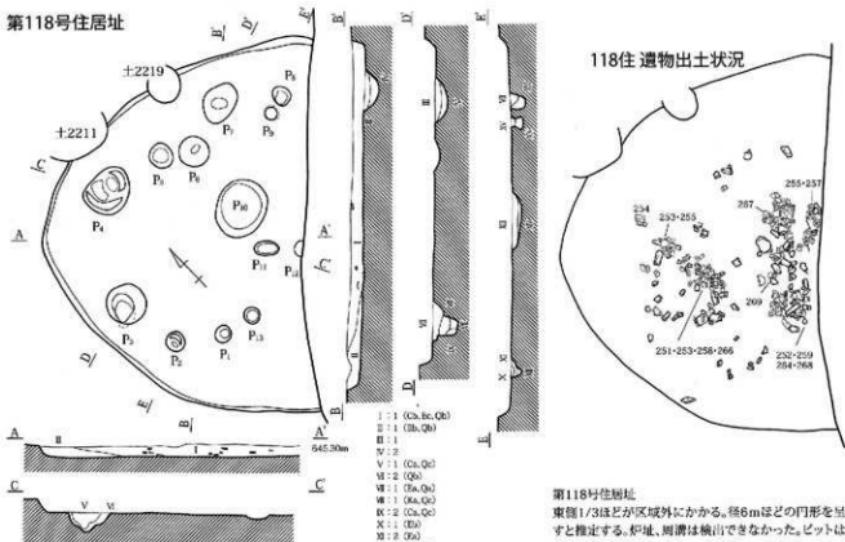
120住 遺物出土状況

第120号住居址

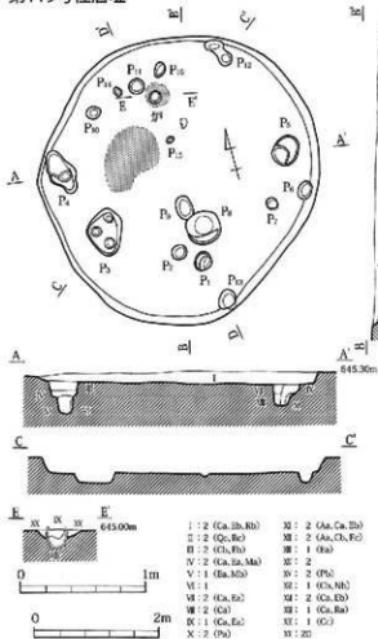
3.2×2.6mの円形を呈す小型の住居址である。炉址は中央に埋設坑があつたと思われるが、深いピットに埋められた土器(第4回図319・322)は全員を保つてないから、眞面目はない。ピットは8個あり、深さは $P_1: 6\text{cm}$, $P_2: 14\text{cm}$, $P_3: 21\text{cm}$, $P_4: 8\text{cm}$, $P_5: 30\text{cm}$, $P_6: 11\text{cm}$, $P_7: 10\text{cm}$, $P_8: 8\text{cm}$ を割る。柱穴穴数は、既述の如く想定できない。遺物の出土は遺物削除に対して多く、土器は固化化程度でまた、壺形は当初、土器 D を225としていたものを取り戻したため、一部で遺物の扱いが土器の変遷となっている。

第17図 積穴住居址(10)

第118号住居址



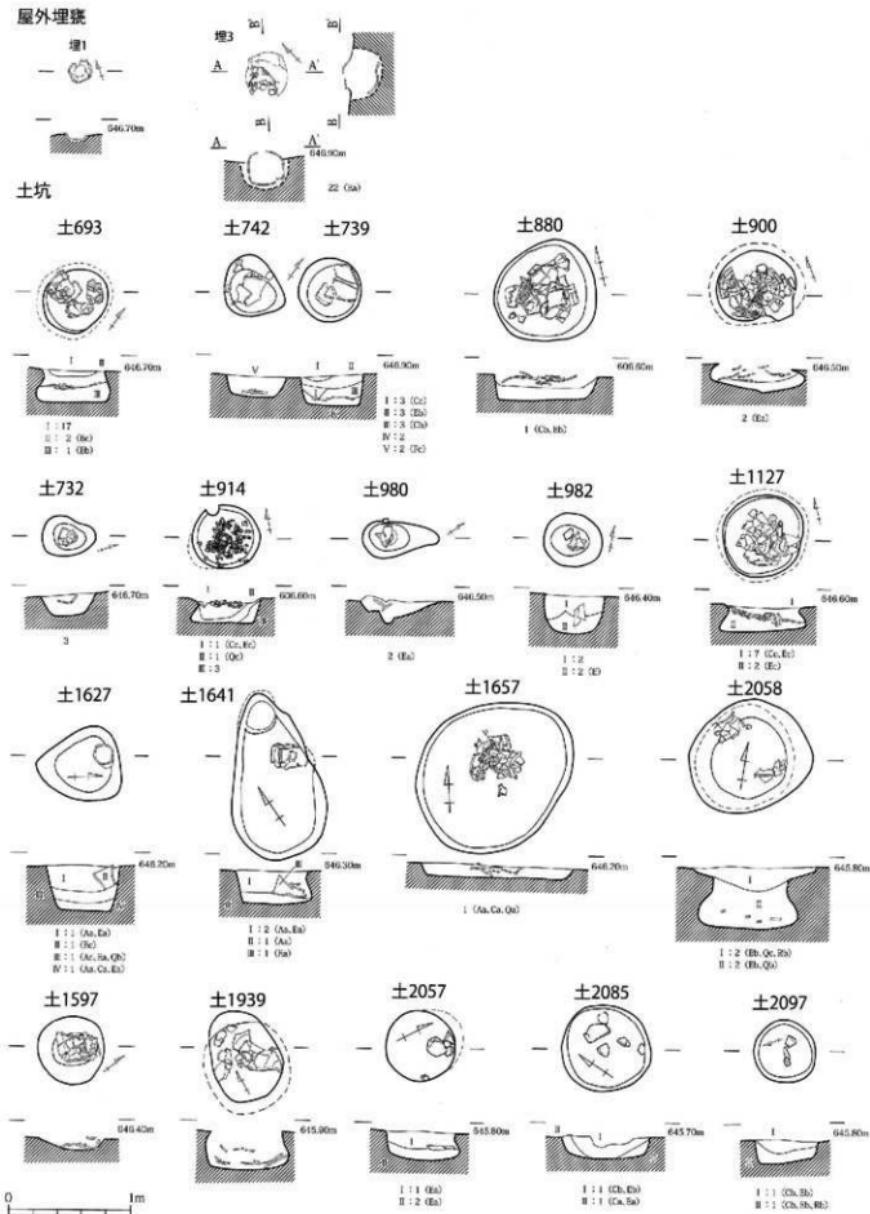
第119号住居址



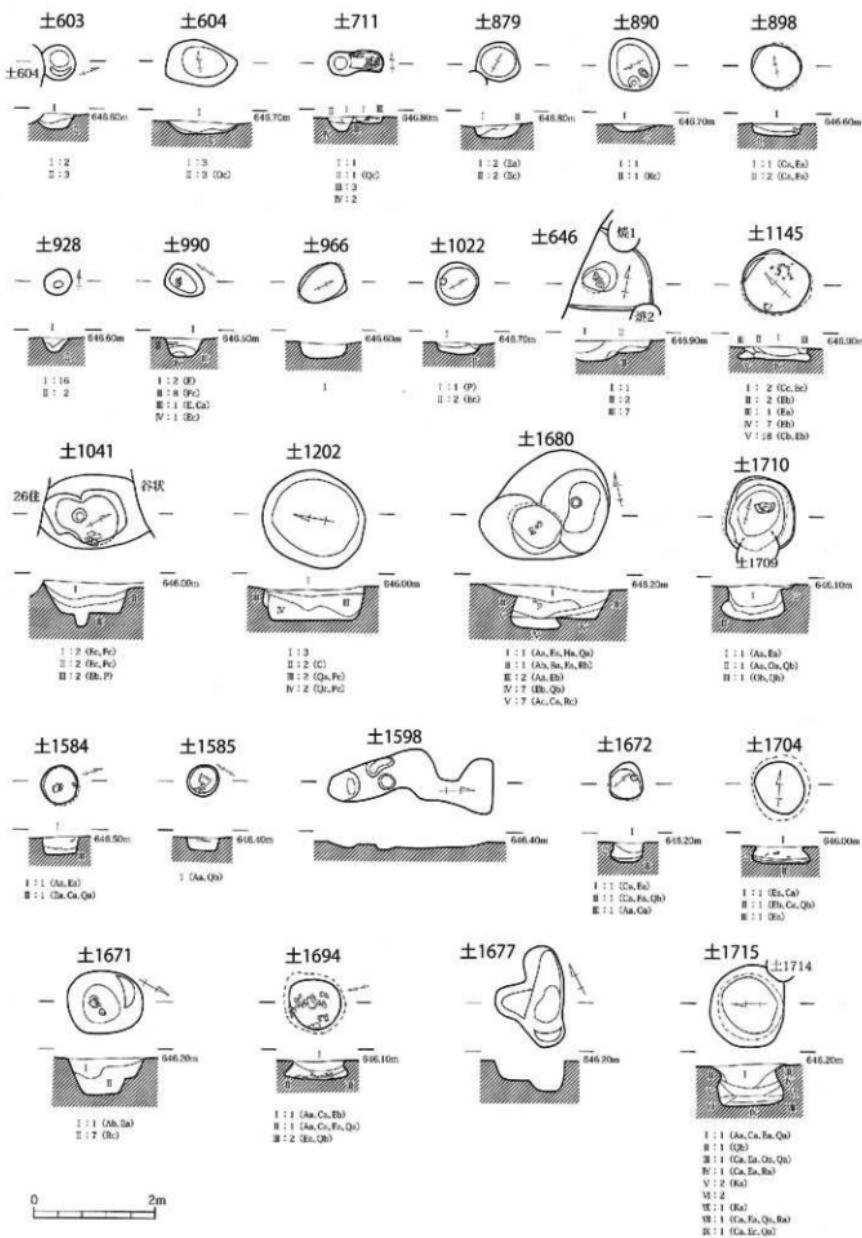
第119号住居地

西端部がわざと的に複27に接して切られている。伊はかなり北寄りに廻転があり、深澤部(第45回)の脚部下を運営している。この間に中央西端部に1mほど範囲で造土が広がっており、地穴的なもののがいた可能性がある。周囲は isn't. ピットは16個あり、深さはP: 17cm; Pu: 10cm; Pt: 27cm; Pz: 48cm; Ps: 33cm; Pi: 29cm; Pr: 17cm; Pe: 53cm; Pa: 22cm; Pi: 25cm; Pv: 18cm; Ps: 17cm; Pa: 23cm; Pi: 7cm; Ps: 8cm; Pi: 11cmとなる。ピットの傾斜が少く、主柱穴に相当させるものの判別はむずかしい。短柱頭の位置等から推定してP, Pu, Ps, PiあるいはP, Pt, Pzの形態が想定しておきたい。墳頂部はなし、土器は陶器の一部を白化表示させておいたのみである。

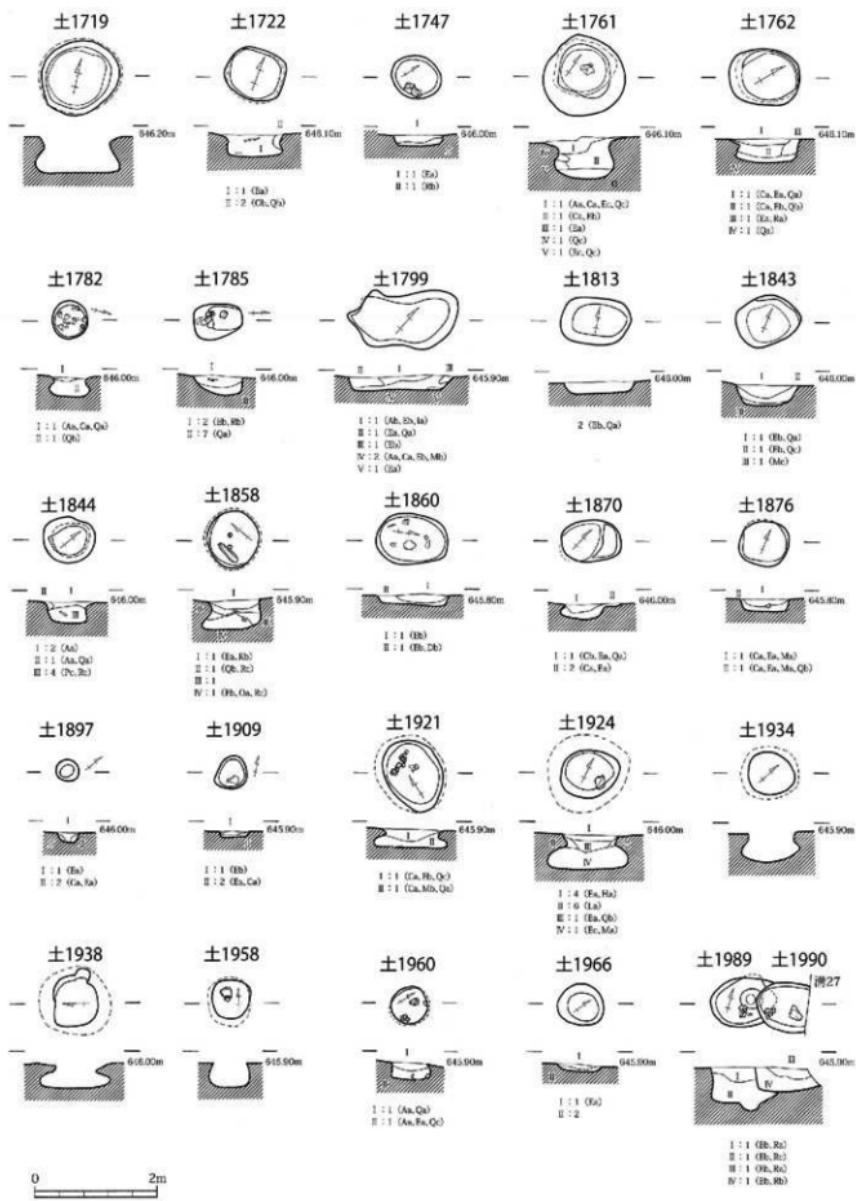
第18図 竪穴住居址(11)



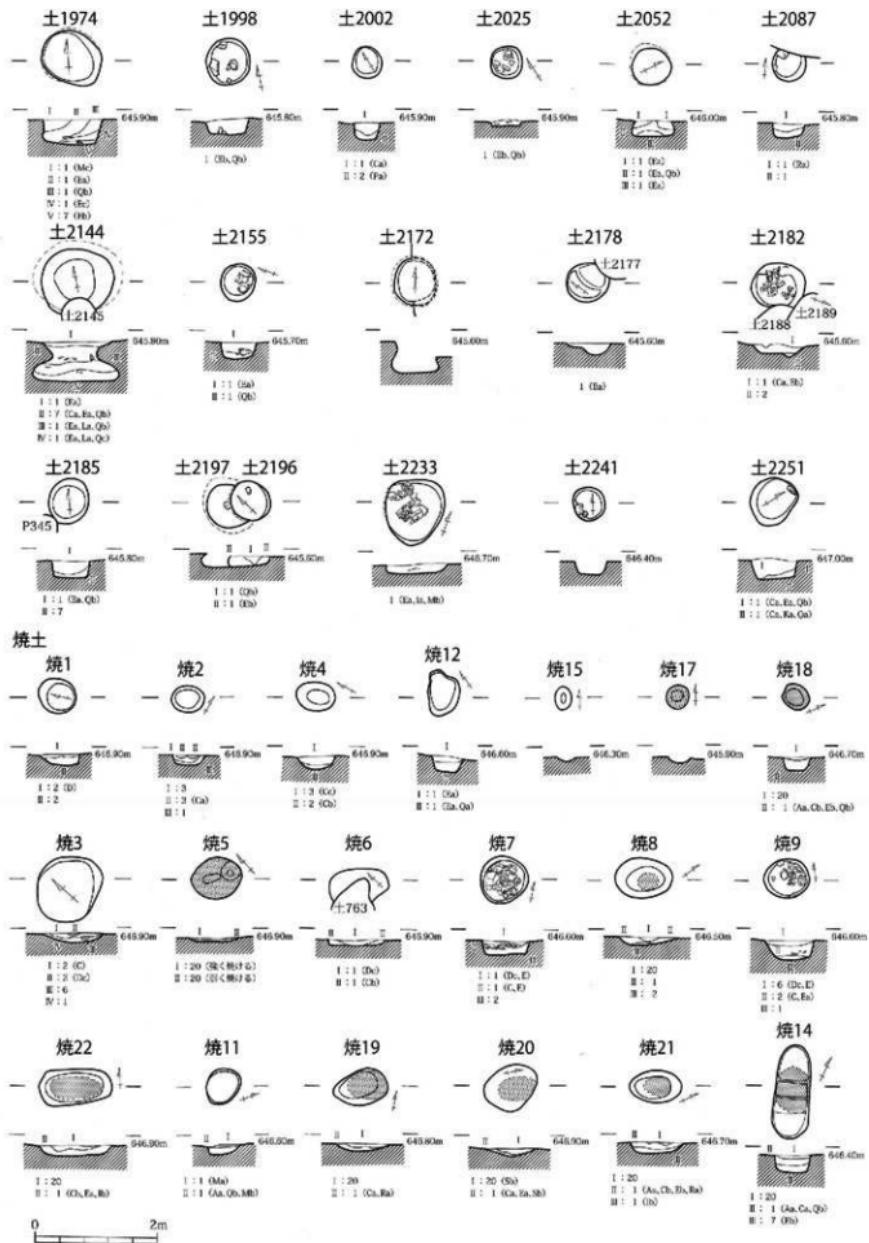
第19図 屋外埋甕、土坑(1)



第20図 土坑(2)



第21図 土坑(3)



第22図 土坑(4)、焼土

III 出土遺物

1 土器・土製品（第23～52図、第3・4表）

今回の調査では縄文時代中期初頭から中葉を中心とした資料が多数出土した。中でも残存状態の良いものを中心に436点について整理を行い、内369点を図化掲載した。また、小片ではあるが好資料であるものについて67点を拓本にて掲載することとした。なお、拓本についてはより多くの資料を提示するため器面の拓本のみを掲載させていただいた。

(1) 時期区分

時期区分については先述に従い井戸尻編年を踏襲し、中期初頭Ⅰ期（九兵衛尾根Ⅰ式期）～中期中葉Ⅱ期（新道式期）まで区分した。以下時期毎の様相、各遺構での傾向を考察したいと思う。

ア 中期初頭Ⅰ

九兵衛尾根Ⅰ式にあたる時期である。106・111・112・113・115・118住、上沉1710・1747・2025などが該当し、特に110住・111住・118住などでまとまって見られた。主に九兵衛尾根Ⅰ式を主体とするが、東海系と思われるものも散見する（77・145・200）。九兵衛尾根Ⅰ式は縄紋系が多く出土している。器形は底部付近でやや張り出すキャリバー形の深鉢が主であると思われるが、鉢形のものも見られた（302）。302は口縁部に4単位の橋状把手を持つ鉢形上器である。頸部にくびれを有し、口縁部の紋様帶には半截竹管を使用した波状の刺突が見られる。九兵衛尾根Ⅰ式に比定されると思われるが、東海系に似た胎上が使用されているため東海系統との関連が推定されるものである。

イ 中期初頭Ⅱ

106・110・111・112・118住、土坑1657・1627・1761・1769・1765・1939・2058などで見られた。九兵衛尾根Ⅱ式を主体とし、中期初頭Ⅰ期と比べて出土量も多くなる。縄紋系・沈線紋系共に見られ、縄紋系の中には単沈線で加飾するものと平行沈線で加飾するものがある。共に縄紋は胸部に結節縄紋、口縁部紋様帶には横位縄紋が見られ、中には口縁部に帶縄紋を有するものも見受けられる。器形は前段に引き続き口縁で膨らむキャリバー状の深鉢に加え円筒状の深鉢も見られるようになる。キャリバー状の深鉢は1段のくびれを持ち口縁部で膨らむものが多く、底部が広がるものは少ないようである。このくびれ部には横位に平行沈線・結節隆線紋・刻日隆線紋などが見られ、それを境に上2段の紋様帶が形成されている。また、4単位の橋状突起（180・181・267・332）や貼付突起（174・176・185・252・278・300）が見られることも多い。

胴部の紋様帶には結節縄紋が隙間なく入れられる。紋様はY字状紋（121・122・180・181）やそれに類する弧状紋（128・139・146・185・204など）、同心円紋に菱形紋を組み合わせたもの（115・176・253）やその類型（110・252・257・279）、幾何学状紋などが見られる。口縁部紋様帶は基本的に横位縄紋ないしは帶縄紋に単沈線・平行沈線で施紋するもの多く、単沈線には楔状の刻目が入れられるもの（109・110・136・171・172・180・181・253・267・269など）が多数見受けられる。

沈線紋系は平行沈線紋を主体としたものである。器形には口縁部で「く」の字に曲がるものと胴部は筒形を呈し頭部から大きな弧を描いて広がるものとが見られる。いずれも器形の変化点に合わせて2～3段の紋様帶を構成しており、口縁部で「く」の字に屈曲するものは屈曲部に独立した紋様帶を持つ。この紋様帶は結節隆線紋や平行沈線で区画され、区画内には平行沈線と細線紋を組み合わせた斜格子状紋（151・153）や瓦状押引紋（155）などが施紋される。その他の器形ではクランク状や滴状の結節隆線紋を持つもの（121・122・151・153・154・158・184・187など）、縦位・斜行・斜格子状の平行沈線を持つものなどが見られた。頸部の紋様帶は縦位集合平行沈線紋で充填されるものが多いが、中には縦位連続平行沈線にて方形区画を作り出しているものが見受けられる（126・187・293）。この区画内は無紋であったり地紋の縄紋が残されているものが多いが、126の

み羽状縞紋を転がして区画を埋めている。胴部紋様帶は基本的に無紋であり、地紋である結節縞紋が残されているものが多いため(155・156)。この胴部紋様帶と頸部紋様帶の間は幾重かの横位平行沈線紋ないしは平行沈線・細線紋を組み合わせた斜格子紋(155・156・181)によって区切られている。このような紋様帶のあり方、施紋方法、紋様要素は後の平出III Aに類似する点が多く、中期中葉において平出III Aへと変遷していくものであろうと推定される。

ウ 中期中葉 I

井戸尻編年における猪沢期にあたる。20・21・23・24・25・26・112・113・114・115 住などで主体的に見られた。器形は深鉢が中心となるが、この段階から浅鉢も見られるようになる。深鉢は隆線紋による横位の梢円区画紋を主体とするもの、半裁竹管による平行沈線を主体とするもの、斜行沈線紋を主体とするものに大別される。

横位梢円区画紋を主体とするものは井戸尻編年における猪沢式にあたる。器形はバケツ形や円筒形を中心とする。区画紋は胴上半部を中心に見られ、角押紋を伴う隆線紋によって梢円状ないしは台形状に区画される。区画内は縦位や波状に角押紋が施されるものが多いが、区画の降線紋に並行するように角押紋を幾重にも巡らせているもの(17)もみられる。胴下半部には同じく角押紋を伴う隆線によるクランク紋が見られる(7・39・57・67・90)。

平行沈線紋を主体とする上器はいわゆる平出III Aである。やや薄手でキャリバー形を呈するが、1点のみ梢型を呈するものが見受けられる(242)。口縁部には4単位の降線ないしは刻目隆線を持ち、それを区切りとした紋様帶を有する。この紋様帶には1~2重に横位や波状の平行沈線紋が施され、波状平行沈線紋に縦位平行沈線を組み合わせたものも見られる(74)。胴部における紋様帶は頸部のくびれを境としており、境界部分には横位の平行沈線紋・X字状平行沈線紋が見られる。このX字状平行沈線は胴下半の紋様帶に関連したものであり、真下にはほぼ必ず縦位・蛇行・逆U字状の平行沈線紋が垂下している。頸部の紋様帶には絶じて縦位集合平行沈線紋ないしは逆U字状の集合平行沈線紋が見られる。また、特殊な事例として242・322が挙げられる。322は口縁部のみの出土であるため全体像は判断し難いが、口縁部に横位の集合平行沈線紋、その下に縦位集合平行沈線紋が見られる土器であり、この横位集合平行沈線紋帶にはX字状の平行沈線紋が確認される。先に触れたようにこれは本来頸部に確認される紋様構成であるため、他系統との折衷もしくは紋様の省略が行われた可能性が高いと思われる。

斜行沈線紋系の上器は当該期において散見する梢円区画内に斜行集合沈線紋を多用する土器群である。やや厚手で大型のものが多く、地紋として指頭圧痕紋を施紋している。器形は胴部で膨らむ梢型を呈するもの(92・326など)やバケツ型を呈するものが見られる(40)。口縁部には1~2段の隆線梢円区画紋帶が構成され、胴部にも同様の区画紋帶が見られる。区画紋内は縦位・斜行・交差の集合沈線紋が充填される。胴下半もしくは頸部には蛇行や渦状の隆線紋が垂下する(40・92・326)。

また、この他に胴部に逆U字状の隆線紋を持つ土器も散見される(6・33・93・206など)。これらは絶じて外反する器形で、横位の梢円区画紋帶を分断するように並んでいる。Y字状隆線紋を始点として垂下し、隆線紋内及び周囲に波状沈線紋が施紋されるもの(6・33)と先に触れた斜行沈線紋系の土器に付されるもの(93・206)とがある。前者は周間に角押紋を伴うものが見られる(33など)ため猪沢式との、後者は斜行沈線紋系の土器との関わりが想定されるものであろう。

エ 中期中葉 II

井戸尻編年における新道期にあたる。出土数は少なく、住居では23住で少量確認できたのみであった。キャリバー形の器形を呈し、口縁部に1段、胴部に3段の紋様帶が見られる。隆線紋脇や胴部には三角押紋が見られる。

(2) 住居址出土土器群

今回の調査では住居址単位で良好な一括資料が幾つか見られた。以下これらについて触れてみたいと思う。

ア 3B 出土土器

20 住出土土器群(1~5)

猪沢期を中心に出土している。器形は深鉢が中心となるが1点のみ浅鉢が含まれる。2は外反する深鉢の胴部である。残存する部分で2段の紋様帯が確認でき、上段は台形状、下段は梢円状の区画紋が並んでいる。隆線紋で区画され、隆線脇には角押紋が見られる。浅鉢は口縁部に波状に盛りあがる隆線紋が貼り付けられたものである(5)。隆線状には角押紋が入れられている。

21 住出土土器群(6~9)

出土点数はさほど多くはない、小片の出土が多い。総じて中期中葉Ⅰ期の深鉢であると思われる。6は胴部に逆U字状の隆線紋を持つ深鉢である。器形はやや開く円筒型を呈している。口縁部及び胴部に梢円区画紋帯が見られ、区画の隆線紋に沿うように波状沈線紋が施紋されている。8は小片であるため詳細は判断し難いが、神象紋土器の一部であると思われる。上部には「八」の字状に太い隆線紋が貼り付けられ、その下部には逆三角形に隆線紋が貼り付けられる。

23 住出土土器群(11~32)

一部新道式が混在してはいるが、猪沢式が主体を成す。器種構成の中心はやはり深鉢であるが、小型深鉢や浅鉢も見られる。特に浅鉢はまとめて出土している。

猪沢式の深鉢は総じて区画紋を有する上器である。隆線による区画の脇には角押紋やキャタピラ紋が添えられている。区画内は角押紋ではなく、先端に丸みを帯びた押引紋が施紋されているものが多いが、14はこれらと異なり先端を鋭利に尖らせた工具で二角押紋が施紋されている。三角押紋は主に口縁部及び胴部区画紋帯の隆線脇や区画内に見られ、キャタピラ紋などは伴わない。区画紋は口縁部・胴部共に梢円区画紋を主としており、重三角区画紋などは見られない。これらの特徴から猪沢式から新道式へと移行する過渡期にあたるものである可能性も考えられるであろう。

28 住出土土器群(53~83)

中期中葉Ⅰ期の土器群が出土した。土体を占めるのは区画紋にクランク紋を付す猪沢式の土器群であるが、平行沈線紋を主体とした平出ⅢAもまとめて見られる(69~75)。猪沢式土器群にはやや外反しながら立ち上がるるものと口縁部付近で大きく開くものが見られる。基本的には隆線脇に角押紋・キャタピラ紋が施紋される、クランク紋を有するなどの点で猪沢式の特徴を保有しているが、二角押紋に近い先端の尖った工具による連続刺突を持つもの(62・65)や円弧の接点に突起を持つ重三角区画紋が施されたもの(66)など新道式につながる特徴を有しているものも存在する。

平出ⅢA系の上器群は69~75である。キャリバー形を呈するもの(71~75)からくびれがありなくバケツ状に開くもの(71)まで見られる。総じて頭部紋様帶は縦位の集合平行沈線紋によって構成されるが、1条づつ施紋したもの(69・71・73)や逆U字状の平行沈線紋を連続させたもの(70・74)が確認できる。前者は隙間なく平行沈線紋が充填されているのに対し、後者は隙間をあけて簡素に作られる印象を受ける。71の口縁部には2本の刻目隆線紋が1単位見られる。これを口縁部紋様帶の区画とし、区画中には波状と縦位を組み合わせた平行沈線紋が充填される。頭部紋様帶、胴部紋様帶共に簡素であり、大きく余白を持って連続逆U字状平行沈線紋が施紋されるが、口縁部の刻目隆線紋下のみはU字・逆J字を組み合わせたものが見られる。75は他のものとは異なる特徴を有するものである。頭部紋様帶は集合平行沈線紋ではなく放射状に広がる紋様が施紋され、胴部には縦位の梢円状平行沈線紋が見られる。

イ 4A 出土土器

106 住出土土器群(109~132)

中期初頭、九兵衛尾根式で構成される。九兵衛尾根Ⅰ・Ⅱ式共に混在して出土してはいるが、九兵衛尾根Ⅱ式が多数を占めているため、主体はこちらが占めるのであろう。器種は深鉢が多く、1点のみ小型壺が見られる。深鉢は繩紋系を主体に構成され、口縁で大きく開く器形が多い。繩紋は胴部に結節繩紋、口縁部に横位繩紋が充填され、一部の土器には空白帯を持つ横位繩紋が見られる(109・110)。純紋以外の紋様は単沈線によるものと半拔竹管を深めに入れた平行沈線紋によるものが確認できる。単沈線によるものは頸部のくびれ下に幾何学紋様を施紋するものが多い。口縁部は繩紋を基本とした紋様帶を構成しており、先に触れたように空白帯を持つものも見られる。また、沈線内に楔状の刻片を入れているのも特徴である。

また、少量ではあるが沈線紋系の土器も散見される。沈線紋系は浅めの平行沈線紋を主体としたものである。頸部から大きく外反していく変化点に横位結節隆線紋(121・122・131)が多用されており、周囲は継位・横位を組み合わせた集合平行沈線紋で埋め尽くされる。胴部紋様帶には連続Y字状紋・満巻き紋・斜位の連弧紋(121・122・124)、同心円紋に菱形紋を組み合わせたもの(115)などが特徴的に見られる。また、これらとは異なる土器として116がある。丸みを帯びた胴部の出土であり、フォーク状の懸垂隆線紋の脇に円形連続刺突紋を持つ沈線紋が入れられる。また、同様の沈線紋で胴部に区画紋が形成されている。

110 住出土土器群(134~168)

九兵衛尾根Ⅱ式を主としている。器種構成は深鉢を基本とし、小型の深鉢も1点見られる(168)。深鉢には繩紋系のものも散見するが、主体を占めるのは平行沈線を主とする土器群である。器形は口縁部で「く」の字に屈曲するものと弧状に開くものとが見られ、「く」の字に屈曲するものは口縁部に紋様帶を持つ。胴部には平行沈線紋ないしは斜格子状の平行沈線紋帶が横走しており、これを境に紋様帶が分けられている。胴部の紋様帶は結節繩紋が充填される簡素なものであるが、頸部の紋様帶は継位集合平行沈線紋で隙間なく埋め尽くされている。器形、紋様構成等平出ⅢAに類似する点が多く、先述したように平出ⅢAへとつながる前段階の土器群となる可能性が高い。また、他地域からの搬入品も散見している。160は口縁部でやや開く形の土器である。口縁部下には2段の継位細線紋帶が見られ、玉抱き三叉紋を有している。細線紋下には空白帯を有し、さらにその下には環状の突起が見られる。新保・新崎式系統ではないかと推定される。

111 住出土土器群(169~187)

九兵衛尾根式が主体となるが、一部に北陸系の上器が混入する。九兵衛尾根式はやや強めに引いた平行沈線紋で加飾された上器群で構成されている。器形にはやや外反しながら上がり口縁部で開くものと胴部でふくらみ口縁部で若干開くものなどが見られる。前者は180・181などが該当し、182・183の底部もこれにあたると思われる。このような深鉢は口縁部に紋様帶を有しており、橋状突起が付されている。口縁部紋様帶にはW字状(180)・交差状(181)の平行沈線紋が見られ、頸部には同じく平行沈線にて連続Y字紋が見られる。

179は円筒形の器形に半隆起線紋で幾何学状の紋様を充填している。その器形・紋様要素の特徴から新保・新崎式に類するものであると思われる。その他178なども器形や口縁部の無紋帶など新保・新崎式に類する点も見受けられ北陸地方との関連を連想させるものである。

112 住出土土器群(188~226)

中期中葉Ⅰ期に主体を持つ住居であると思われるが、繩紋は単沈線施紋のもの(196~198)、頸部にY字状平行沈線紋を持つもの(204・213)など前段階である猪沢式と思われる上器が混在している。隆線による楕円区画紋系や斜行沈線紋系が多く見られるが、これらが主体を占めるという感じではなく、多系統の土器が混在しているという印象を受ける。楕円区画紋系の土器は全て口縁部が残存している。大型の突起を有するも

のが幾つか見られ、中でも舌状突起を持つものが特徴的に見られる。区画の隆線脇には角押紋、キャタピラ紋が押されているが 188 のように先端が尖った押引紋も確認される。斜行沈線紋系は 206・214 などに代表される。206 は口縁部に 2 段の梢円区画紋帶を持つ。区画内は斜行集合沈線紋で埋められており、同様の梢円区画紋帶が胴部にも確認される。この胴部の区画紋帶を分断するように逆U字状の隆線が見られる。

113 住出土土器群(227~235)

出土数はそれほど多くはない。猪沢式、平出ⅢA がほぼ同量出土しており、これらが主体を成すと考えられるが、数点九兵衛尾根式、新道式のものも混入している。229 は口縁部紋様帶に重三角区画紋を持つ上器である。区画内には玉抱き二叉紋が見られる。この重三角区画紋や胴部・底部紋様帶に見られる区画紋は細めの隆線で構築され、隆線脇にはキャタピラ紋に加え三角押紋が巡らされる。これらの特徴から新道式に属するものであろうと推定される。231 はやや小型で円筒状を呈する土器である。口縁部には横位平行沈線紋でキザミをつけた隆線が 4 単位付され、全体的にやや浅い平行沈線紋で加飾される。口縁部紋様帶には波状平行沈線紋が、胴部の紋様帶には縦位集合平行沈線紋が見られる。

115 住出土土器群(241~249)

中期中葉Ⅰ期の上器が主体を占める。梢円区画紋や角押紋を持つ猪沢式の土器が主であるが、242 や 245 など少々異質な上器を有するものも特徴である。242 は口縁部には刻日隆線による区画と波状平行沈線紋、胴部には逆U字状の集合平行沈線紋と平出ⅢA の特徴を有する土器である。しかしながら通常平出ⅢA はキャリバー形や円筒形を呈するのに対し、この上器は口縁でやや立ち上がる構型を呈している。紋様構成についても通常有している頸部紋様帶が見られず、あたかも平出ⅢA の頸部のみを省略し、縮めたような様相を呈しているのである。器形としてはこのようなものは斜行沈線紋系や大木式系統にも見られるため、これらの影響を受けている可能性は高いと思われる。245 は頭部で極端にくびれる土器である。このくびれを境に上下に紋様帶が構成されている。口縁部の紋様帶には縦位集合平行沈線紋が充填され、深めの平行沈線でW字状紋などが描かれている。口縁は波状を呈しており、波頂部下には玉抱き二叉紋のような紋様が見られる。胴部紋様帶には結節繩紋が充填され、くびれ下には連続Y字状紋が見られる。これらの特徴から九兵衛尾根Ⅰ式であると思われるものではあるが、通常より器高が低く胴下部を省略したような形状を呈している。このような胴下部の低い形状は大木式に確認できるため、何らかの関連性も想定できるであろうと思われる。

118 住出土土器群(251~269)

九兵衛尾根Ⅱ式を中心としているが、九兵衛尾根Ⅰ式も少数混在する。繩紋系の土器が多数を占めており、沈線紋系のものは数点しか見られない。繩紋系には単渦線によって加飾されるものと平行沈線によるものとが確認できる。260 は小片のみの出土であるため詳細は不明であるが、薄手で連続爪型紋を持つ上器である。淡灰褐色の胎土であり、爪型紋は口唇部にまで及んでいる。

(3) 土製品(350~369)

七個 8 点(350~357)、ミニチュア土器 9 点(358~366)、土製円盤 1 点(367)、その他の上製品 2 点(367・369)を図面提示した。土偶は破片ばかりだが、いずれも短い脚部に腹の膨れた胴部が乗り、手は両側へ水平に突き出す形態をとるものと推定する。ミニチュア土器は深鉢、鉢、皿型を呈し、個体によって精粗があるが、362、365 などはかなり精密に紋様を描いている。いずれの七製品も、中期初頭から中葉の土器群に伴うものと考えてよい。

第3表 川西開田遺跡3・4次調査出土繩紋土器・土製品一覧表

川西所田跡3-4ノ脚豆工事実験											性定期	
番号	品種	播種期	播種量	苗期	出芽期	苗期	定植期	生育期	花期	果実	主要性状	
											合算株高	茎葉
1	91	2-1	28	20往	深綠	(24.8)	11:1/4	口脚豆科豆草葉形(暗紅)、葉色合淡薄紅	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
2	125	2-2	28	20往	深綠	(16.0)	11:1/8 残:光	脚豆科豆草葉形、深綠色、葉面角平 脚豆・合瓣形葉、深綠色、葉面角平 脚豆・三瓣形葉	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
3	375	2-5	28	20往	深綠	(17.0)	11:1/2 残:欠	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
4	262	2-6	28	20往	深綠	(13.6)	13.4	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
5	261	2-4	28	21往	深綠	(19.3)	31.7	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
6	359	2-3	28	21往	深綠	(8.0)	脚:一部 茎:一部	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
7	213	2-2	28	21往	深綠	(8.0)	脚:一部 茎:一部	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
8	359	2-3	28	21往	深綠	(8.0)	脚:一部 茎:一部	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
9	395	2-4	28	21往	深綠	(8.2)	脚:一部 茎:一部	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
10	322	2-2	28	22往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
11	116	2-3	28	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
12	224	2-11	38	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
13	231	2-17	38	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
14	115	2-18	38	23往	深綠	32.0	14.0	脚:一部欠 茎:一部 花:一部	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
15	217	2-8	38	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
16	168	2-1	30	23往	深綠	(14.4)	脚:一部 茎:一部	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
17	100	2-2	30	23往	深綠	(31.3)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
18	225	2-14	33	23往	深綠	(10.0)	11:1/4	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
19	95	2-3	33	23往	深綠	(31.2)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
20	327	2-2	33	23往	深綠	(29.4)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
21	219	2-9	33	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
22	23	2-23	36	23往	深綠	(63.2)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
23	24	2-18	36	23往	深綠	(9.6)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
24	215	2-15	36	23往	深綠	(11.2)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
25	329	2-19	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
26	327	2-2	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
27	229	2-2	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
28	227	2-20	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
29	226	2-16	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
30	226	2-17	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
31	221	2-11	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
32	223	2-15	36	23往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
33	241	2-1	36	24往	深綠	(12.9)	6.7	14.6 口:1/1 残:光	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
34	356	2-5	36	24往	深綠	(20.0)	11.0	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
35	364	2-3	36	24往	深綠	(24.0)	11.0	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
36	384	2-2	36	24往	深綠	(24.0)	11.0	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
37	377	2-4	36	24往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
38	381	2-6	36	24往	深綠	(11.0)	11:1/6	脚豆科豆草葉形、Y字狀葉瓣形、深 綠色、葉面角平	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
39	184	2-1	36	24往	深綠	(13.6)	14.4 口:1/4 残:光	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	
40	183	2-5	36	24往	深綠	(13.6)	14.4 口:1/2 残:光	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	中脚豆類I	

番号	機器番号	機器名	寸法(cm)	形状	口径	絶対高	残存度	合計物 量(石炭) 石炭 割合 %	色調	口端 所患	栓柱	主要状況	指定時期	参考
41	159	25-4	36 25往	深井	6.7	6.0	11.7	□:1/2 底:1/3	○ ○ ○	明茶褐色	平栓	斜面集合止端栓、専門栓	中期中葉 I	摩擦激しく摩擦不引、底端欠損している(引込小穴)
42	365	25-3	30 25往	深井	(20.0)	—	—	○ ○ ○	○	把手	把手	中葉中葉 I	新端式小穴	
43	241	26-1	36 26往	深井	(16.7)	(16.0)	□:1/2.5 底:1/12	○ ○ ○	把手~喉地	把手	口端部黒焼、角キチヂミ	中期中葉 I	新端式大穴	
44	133	26-3	30 26往	深井	(34.2)	(30.0)	□:1/6	○ ○ ○	把手~喉地	把手	口端部黒焼、角キチヂミ	中期中葉 I	新端式大穴	
45	120	26-2	36 26往	深井	(29.6)	(16.6)	□:1/2.5 底:1/12	○ ○ ○	把手~喉地	把手	口端部黒焼、黒焼栓、黒焼栓平行止端栓、黒焼栓可逆栓	中期中葉 I	全体が手作り、上山田式(カモ体上端)	
46	245	27-5	36 27往	深井	(13.0)	—	□:1/8	○ ○ ○	把手~喉地	把手	口端部黒焼、黒焼栓、黒焼栓平行止端栓、黒焼栓可逆栓	中期中葉 I	新端式大穴	
47	247	27-4	36 27往	深井	(23.2)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手~喉地	把手	口端部黒焼、黒焼栓	中期中葉 I	新端式大穴	
48	371	27-6	36 27往	深井?	(13.0)	—	□:1/2	○ ○ ○	把手~喉地	把手	口端部黒栓平行止端栓、強大歯輪栓	中期中葉 I	新端式大穴	
49	249	27-2	36 27往	深井	(24.1)	(9.4)	□:1/2.3 底:1/3	○ ○ ○	把手~喉地	把手	口端部黒栓平行止端栓、強大歯輪栓	中期中葉 I	新端式大穴あり、側面削り直し	
50	93	27-1	36 27往	深井	(24.1)	(9.4)	□:1/2 底:1/3	○ ○ ○	把手~喉地	把手	側面削り直し集合平行止端栓、X字状平行止端栓	中期中葉 I	新端式大穴あり、側面削り直し	
51	361	27-7	36 27往	深井	(36.7)	—	—	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	把手
52	243	27-3	38 27往	深井	(36.7)	—	—	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
53	106	28-4	38 28往	深井	(32.5)	—	—	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
54	123	28-3	38 28往	深井	(32.5)	—	□:1/3.4	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
55	119	28-2	38 28往	深井	(27.0)	—	□:1/3.4	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
56	205	28-2	38 28往	深井	(28.0)	—	□:1/2	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
57	188	28-6	38 28往	深井	(30.0)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
58	154	28-6	38 28往	深井	(33.0)	—	□:1/1.8	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
59	372	28-7	38 28往	深井	(37.6)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
60	209	29-19	38 28往	深井	(37.6)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
61	281	29-17	38 28往	深井	(37.6)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
62	127	30-20	38 28往	深井	(24.5)	—	□:1/—	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
63	92	29-7	39 29往	深井	(24.1)	(11.1)	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
64	239	28-22	38 28往	深井	(24.0)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
65	231	33 28往	深井	—	(10.2)	—	—	○ ○ ○	把手~喉地	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
66	383	29-26	33 28往	深井	(14.5)	—	□:1/3.4	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
67	160	29-24	33 28往	深井	(7.5)	—	□:1/3	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
68	201	28-20	33 28往	深井	(24.5)	—	□:1/—	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
69	128	28-8	38 28往	深井	(35.0)	—	□:1/8	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
70	256	28-32	38 28往	深井	(33.4)	—	□:1/4	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
71	251	28-25	38 28往	深井	(46.0)	—	□:1/—	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
72	162	29-29	38 28往	深井	(24.0)	(10.5)	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
73	252	28-23	38 28往	深井	(38.4)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
74	169	28-9	38 28往	深井	(12.0)	—	□:1/1.5	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
75	208	29-15	38 28往	深井	(15.4)	—	□:2/3	○ ○ ○	把手~喉地	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
76	211	29-11	38 28往	深井	(10.8)	—	□:3/4	○ ○ ○	把手	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼
77	118	28-19	38 28往	深井	(22.8)	—	□:5/6	○ ○ ○	把手~喉地	把手	把手	把手	中期中葉 I	全体が焼

编 号	通用 名	台帐名 录	出 生 地	性别	口经	法乳量(gm)	残存度	含生物 长石质 蛋白粉		口种 形态	地纹	主要纹样	标记识别
								高 度	幅 度				
115	335	106-4	4.4 106件	深井	106件	深井	剩~部	○	○	圆环(4件)	区圆环(凹形带状区圆环)、轮廓状椭圆纹	中周切面 I	
117	351	106-21	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
120	341	106-22	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
121	385	106-9	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
122	11	106-27	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
123	342	106-18	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
124	328	106-19	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
125	338	106-7	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
126	346	106-17	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
127	374	106-26	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
128	331	106-15	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
129	329	106-14	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
130	365	106-25	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
131	292	106-1	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
132	335	106-6	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
133	373	106-1	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
134	320	106-17	4.4 106件	深井	106件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
135	98	110-15	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
136	165	110-14	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
137	317	110-8	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
138	306	110-15	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
139	29	110-29	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
140	367	110-31	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
141	564	110-14	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
142	306	110-15	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
143	314	110-21	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
144	15	110-15	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
145	268	110-32	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
146	16	110-28	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
147	195	110-24	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
148	44	110-29	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
149	193	110-23	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
150	196	110-26	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
151	82	110-35	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
152	152	110-3	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
153	83	110-26	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	
154	117	110-42	4.4 110件	深井	110件	深井	高~低	○	○	圆环(4件)	区圆环(平行带)	中周切面 II	

番号	台帳番号	置出上 区	船形	歩幅(m)	口径 底径	密角	舷高差 底高差	全高物 高さ	口縫 形態	色調	口縫 地紋	地紋	主要枚数	施主内規	備考
155 111	110-5	4.8 110往 深排水	0.2(0)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	縫筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
156 84	110-4	4.8 110往 深排水	(2.4)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	C21
157 94	110-6	4.8 110往 深排水	(17.8)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
158 14	110-13	4.8 110往 深排水	(26.4)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
159 157	110-26	4.8 110往 深排水	(17.6)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
160 96	110-1	4.8 110往 深排水	20.0		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
161 307	110-19	4.8 110往 深排水			口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
162 121	110-2	4.8 110往 深排水	(17.6)	(8.6)	口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
163 196	110-27	4.8 110往 深排水	(6.0)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
164 198	110-29	4.8 110往 深排水	(26.0)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
165 89	110-9	4.8 110往 深排水	(26.4)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
166 151	110-1	4.8 110往 深排水	(22.6)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
167 310	110-11	4.8 110往 深排水	(33.4)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
168 182	110-22	4.8 110往 小型 深排水	6.4		底:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
169 17	111-3	4.8 111往 深排水	(36.2)		口:1/8	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
170 23	111-9	4.8 111往 深排水	(16.9)		胸:1/8	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
171 149	111-5	4.8 111往 深排水	(16.9)		胸:1/8	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
172 18	111-8	4.8 111往 深排水	(17.7)		胸:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
173 347	111-1	4.8 111往 深排水	(26.8)		胸:1/5	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
174 69	111-6	4.8 111往 深排水	(26.8)		胸:1/6	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
175 21	111-7	4.8 111往 深排水	(26.8)		胸:1/6	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
176 126	111-1	4.8 111往 深排水	(45.0)		口:4/5	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
177 391	111-9	4.8 111往 深排水	1.3.6		口:2/3	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
178 19	111-12	4.8 111往 深排水	(23.6)		口:1/8	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
179 392	111-20	4.8 111往 深排水	2.0		口:1/2	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
180 129	111-2	4.8 111往 深排水	(31.6)	(16.2)	口:4/6	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
181 22	111-6	4.8 111往 深排水	(26.0)		口:2/3	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
182 24	111-10	4.8 111往 深排水	(11.2)	(11.4)	口:7/8	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	C15	
183 390	111-56	4.8 111往 深排水	(11.4)		底:1/8	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	C15	
184 20	111-4	4.8 111往 深排水	(26.6)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
185 350	111-13	4.8 111往 深排水	(31.2)		口:1/4	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	
186 298	111-14	4.8 111往 深排水	(26.0)		口:1/6	○ ○ ○	底地～船底	平縫	結筋織合(縫)	○	斜筋織合(縫)	斜筋織合(縫)	中規切頭 II	新代内規 II	

整理 整理 号	台帳番号	測量上 区 測量 用 器 名	法 儀 (cm)	口径	底径	高	残存度	含 有 物 質 名 称 及 其 量	口 絶 度 形 状 等 等	地 段	主要採集	採集時期	
												石炭 灰 岩	石炭 灰 岩
187	358	111-21	45.111往	深林	(35.4)	口:1/4	○	短棍	半球狀 結構面(深)	11種細枝樣式 及斜輪樣式 斜輪平行地層、 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期初頭 II	
188	156	112-1	45.112往	深林	(26.6)	口:1/6	○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
189	330	112-3	45.112往	深林	(27.0)	口:1/8	○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
190	144	112-31	45.112往	深林	(24.9)	口:1/6	○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
191	28	112-32	45.112往	深林	(28.2)	口:1/6	○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
192	26	112-25	45.112往	深林	(26.8)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
193	52	112-39	45.112往	深林	(32.0)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
194	50	112-2	45.112往	深林	(32.0)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
195	12	112-24	45.112往	深林	(26.8)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
197	294	112-6	45.112往	深林	(24.8)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期初頭 II	
198	370	112-36	45.112往	深林	(24.8)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	新地頭四 新地頭四	
199	308	112-11	45.112往	深林	(24.8)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	新地頭四 新地頭四	
200	55	112-27	45.112往	深林	(16.0)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
201	51	112-7	45.112往	深林	(26.8)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
207	366	112-37	45.112往	深林	(26.8)	口:1/6	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
203	135	112-26	45.112往	深林	(28.6)	口:1/3	○ ○ ○	黑泥	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
204	153	112-10	45.112往	深林	(21.0)	口:1/4	○ ○ ○ ○	泥炭	泥炭 泥炭	泥炭 泥炭 泥炭 泥炭 泥炭	中期初頭 II	112往 I-112往 II	泥炭間接合
205	48	112-36	45.112往	深林	(32.0)	口:1/2	○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
206	88	112-3	45.112往	深林	25.0	口:1/3	○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
207	150	112-5	45.112往	深林	(26.2)	口:1/6	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期初頭 II	
208	53	112-9	45.112往	深林	(26.8)	口:1/6	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	新地六九 新地六九	
209	45	112-22	45.112往	深林	(13.2)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
210	56	112-35	45.112往	深林	(10.0)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
211	297	112-2	45.112往	深林	(26.8)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
212	301	112-5	45.112往	深林	12.6	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
213	27	112-27	45.112往	深林	(26.8)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
214	296	112-28	45.112往	深林	(26.8)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
215	300	112-14	45.112往	深林	(31.0)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
216	33	112-29	45.112往	深林	(26.8)	口:1/6	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
217	285	112-23	45.112往	深林	(26.8)	口:1/6	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
218	49	112-20	45.112往	深林	(30.4)	口:1/6	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
219	188	112-4	45.112往	深林	(22.4)	口:1/6	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
220	47	112-21	45.112往	深林	(28.5)	口:1/5	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
221	269	112-13	45.112往	深林	(24.8)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
222	66	112-3	45.112往	深林	(24.0)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
223	369	112-18	45.112往	深林	(24.0)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
224	295	112-17	45.112往	深林	(28.0)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
225	318	112-19	45.112往	深林	(28.0)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
226	187	112-16	45.112往	深林	(30.4)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	
227	311	113-4	45.113往	深林	(46.3)	底	○ ○ ○ ○	泥炭	半球狀 平鍊	Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋 Y字狀紋	中期中葉 I	中期中葉 I	

番号	物別名	標出土地区	先形	法量(cm)	口径	底径	高さ	含む物 石質等	含む物 ガラス等	色調	口絵 汚れ	地紋	主要紋様	指定特徴		備考	
														断面	底	側面	
228 143	113-1	4a 113生 滞鉢	18.0	9.0	23.4	11:1:2	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	溝紋(縦)	唐草文定、圓化文、前斬花文、後斬花文、葉瓣紋、玉筋毛三文款、三脚紋	中頸中葉 I	新巻頭型		
229 110	113-2	4a 113生 滞鉢				断:一底	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	溝紋(縦)	三角区画圓紋、獨脚紋チャタラ紋、玉筋毛三文款、三脚紋	中頸中葉 II	袖參孔あり		
230 185	113-6	4a 113生 滞鉢				断:一底	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	溝紋(縦)・横・筋	簡化輪内区画紋(半傳線・輪筋輪内輪筋)	不明			
231 146	113-3	4a 113生 滞鉢	(15.4)	8.8	27.2	11:1:3	底:2/3	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縁部倒伏輪内合子文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
232 31	113-7	4a 113生 滞鉢				断:一底	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縫部倒伏輪内合子文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
233 80	113-9	4a 113生 滞鉢				断:一底	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	ATY文(アーティスティック)	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
234 32	4a 113生 滞鉢					断:一底	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪作集会平行花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
235 304	113-8	4a 113生 滞鉢	(18.8)	11.5	26.0	11:1:2	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	角持紋	外輪持輪み痕多有	中頸中葉 I	中頸中葉 I	
236 315	114-4	4a 114生 滞鉢	(51.2)	11.6	26.0	11:1:2	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	帶状模倣象足	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
237 316	114-2	4a 114生 滞鉢	(24.6)	11.4	26.0	11:1:2	底:1/2	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縫部模倣象足平行花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
238 321	114-3	4a 114生 滞鉢				断:一底	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縫部模倣象足平行花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
239 399	114-5	4a 114生 滞鉢	(16.5)	5.6	8.2	11:1:2	底:1/3	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縫部模倣象足(斜開縫)	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
240 116	114-1	4a 114生 滞鉢	(26.5)	11.4	26.5	11:1:8	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縫部模倣象足(斜開縫)	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
241 12	115-8	4a 115生 滞鉢	(29.0)	11.6	26.5	11:1:8	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縫部模倣象足(斜開縫)	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
242 85	115-1	4a 115生 滞鉢	(31.8)	14.7	37.2	11:2:3	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	口縫部模倣象足(斜開縫)	中頸中葉 I	中頸中葉 I	C16	
243 13	115-9	4a 115生 滞鉢	(16.4)	19.6	27.0	11:1:7	底:1/2	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	X字狀平行花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
244 173	115-4	4a 115生 滞鉢	(36.4)	16.0	28.7	11:2:3	底:3/4(底面X)	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
245 182	115-2	4a 115生 滞鉢	(27.2)	14.8	37.0	11:2:3	底:3/4(底面X)	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
246 43	115-3	4a 115生 滞鉢	(26.8)	11.5	37.0	11:2:3	底:3/4(底面X)	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
247 319	115-5	4a 115生 滞鉢	(26.8)	11.5	37.0	11:2:3	底:3/4(底面X)	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
248 166	115-6	4a 115生 滞鉢	(35.8)	11.8	26.5	11:2:3	底:3/4	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
249 34	116-1	4a 116生 滞鉢	(27.2)	14.8	37.0	11:2:3	底:3/4	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
250 43	118-2	4a 118生 滞鉢	(25.2)	11.4	37.0	11:1:6	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
253 65	118-12	4a 118生 滞鉢	(27.4)	11.6	37.0	11:1:2	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
254 40	118-16	4a 118生 滞鉢				断:一底	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
255 41	118-5	4a 118生 滞鉢	(36.6)	11.8	37.0	11:1:2	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
256 268	118-11	4a 118生 滞鉢	(36.6)	12.0	37.0	11:2:3	底:3/4	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
257 42	118-17	4a 118生 滞鉢	(32.5)	11.8	37.0	11:1:6	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
258 54	118-6	4a 118生 滞鉢	(32.5)	11.8	37.0	11:1:6	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
259 286	118-15	4a 118生 滞鉢	(17.7)	11.7	37.0	11:1:6	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
260 287	118-3	4a 118生 滞鉢	(21.7)	11.5	37.0	11:1:3	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
261 39	118-7	4a 118生 滞鉢	(15.6)	11.5	37.0	11:2:3	底:2/3	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
263 37	118-10	4a 118生 滞鉢	(12.2)	11.2	37.0	11:1:6	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
264 382	118-18	4a 118生 滞鉢	(12.0)	11.8	37.0	11:1:6	底:一底	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		
265 35	118-8	4a 118生 滞鉢				底:完	○	○	○	褐色~暗褐色	平縁	無	輪内区画輪内花文	中頸中葉 I	中頸中葉 I		

番号	台帳番号	測量 基点名	測量 基点 高	測量 器別	口径	高さ度	高さ度 基点	地図	主要な様	検査時期	備考
206	164	118-4	44.116往	深林	22.5	(26.6)	1:1/1.0	○	地~暗地	中間初期Ⅱ	
257	174	118-3	44.118往	深林	22.0	(21.6)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間初期Ⅳ	
268	138	118-19	44.118往	深林	23.8	(21.4)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間初期Ⅳ	
269	134	118-1	44.118往	深林	23.8	(21.4)	1:1/1.4	○	地~暗地	中間初期Ⅳ	
270	130	118-1	44.119往	深林	23.3	(21.3)	1:1/1.3	○	地~暗地	中間初期Ⅳ	
271	167	119-1	44.119往	深林	23.3	(21.2)	1:1/1.2	○	地~暗地	中間初期Ⅳ	
272	147	119-2	44.119往	深林	14.8	(19.0)	1:1/1.8	○	地~暗地	中間中期Ⅰ	
273	258	119-1	44.119往	深林	13.7	(19.9)	1:1/1.8	○	地~暗地	中間中期Ⅰ	
274	87	119-1	44.119往	深林	12.6	(20.9)	1:1/1.4	○	地~暗地	中間中期Ⅰ	
275	140	119-1	44.119往	深林	23.2	(21.2)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間中期Ⅰ	
276	78	119-1	44.119往	深林	11.0	(11.0)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅰ	
277	1	119-1	44.119往	深林	11.0	(11.0)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅰ	
278	79	119-1	44.119往	深林	31.6	(31.6)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
279	124	119-1	44.119往	深林	19.0	(19.0)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
280	122	119-1	44.119往	深林	20.2	(9.6)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
281	176	119-1	44.119往	深林	13.8	(33.8)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
282	394	119-1	44.119往	深林	16.0	(16.0)	1:1/1.0	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
283	295	119-3	44.119往	深林	20.2	(11.2)	1:1/1.0	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
284	76	119-3	44.119往	深林	16.0	(11.2)	1:1/1.0	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
285	57	119-4	44.119往	深林	8.2	(8.2)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
287	146	119-1	44.119往	深林	17.2	(17.2)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
288	103	119-1	44.119往	深林	17.3	(17.3)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
289	75	119-2	44.119往	深林	16.0	(16.0)	1:1/1.3	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
290	74	119-2	44.119往	深林	13.8	(13.8)	1:1/1.5	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
291	101	119-1	44.119往	深林	12.4	(12.4)	1:1/1.8	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
292	24	119-4	44.119往	深林	14.0	(14.0)	1:1/1.4	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
293	188	119-1	44.119往	深林	13.0	(13.0)	1:1/1.3	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
294	2	119-2	44.119往	深林	17.8	(17.8)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
295	296	119-1	44.119往	深林	118.0	(118.0)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
296	141	119-1	44.119往	深林	13.0	(13.0)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
297	225	119-2	44.119往	深林	10.4	(10.4)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
298	97	119-1	44.119往	深林	22.8	(22.8)	1:1/1.8	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
299	267	119-1	44.119往	深林	17.6	(17.6)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
300	112	119-1	44.119往	深林	36.0	(11.2)	1:1/2	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
301	401	119-1	44.119往	深林	7.0	(7.0)	1:1/1.2	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
302	139	119-1	44.119往	深林	16.4	(20.5)	1:1/1.6	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
303	72	119-1	44.119往	深林	10.2	(10.2)	1:1/1.2	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
304	272	119-1	44.119往	深林	113.8	(113.8)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
305	4	119-1	44.119往	深林	26.7	(26.7)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
306	6	119-2	44.119往	深林	26.8	(26.8)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
307	205	119-2	44.119往	深林	14.2	(14.2)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	
308	132	119-1	44.119往	深林	14.2	(14.2)	1:1/-	○	地~暗地	中間中期Ⅱ	

西開由遺跡3·4次調查出主綱數主器拓本一覽表

卷数 册号	古文献名	著者	出版社	出版时间	卷数	行数(字数)	行距	版行度	页数(字数)	口述	口述形	色调	口述 形迹	主要纹样		选定附图	参考	
														线	面			
389 54	35 桐山记	宋林	口述	○	○	○	○	精细	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
390 57	35 桐山记	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
391 573	33 桐山记	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
392 37	41 10件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
393 53	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
394 50	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	人体纹
395 80	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
396 87	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
397 97	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
398 91	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
399 98	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
400 94	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
401 96	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
402 107	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
403 101	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
404 100	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
405 150	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
406 158	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
407 212	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
408 24	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
409 213	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
410 210	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
411 188	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
412 176	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
413 183	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
414 187	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
415 187	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
416 195	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
417 298	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
418 299	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
419 296	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
420 199	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
421 227	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
422 220	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
423 225	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
424 223	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
425 235	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
426 229	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
427 236	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
428 250	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
429 250	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
430 253	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
431 265	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
432 259	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
433 300	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
434 297	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
435 337	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	
436 299	41 11件性	宋林	口述	○	○	○	○	疏粗	○	○	○	○	○	○	○	○	中阴中篆	

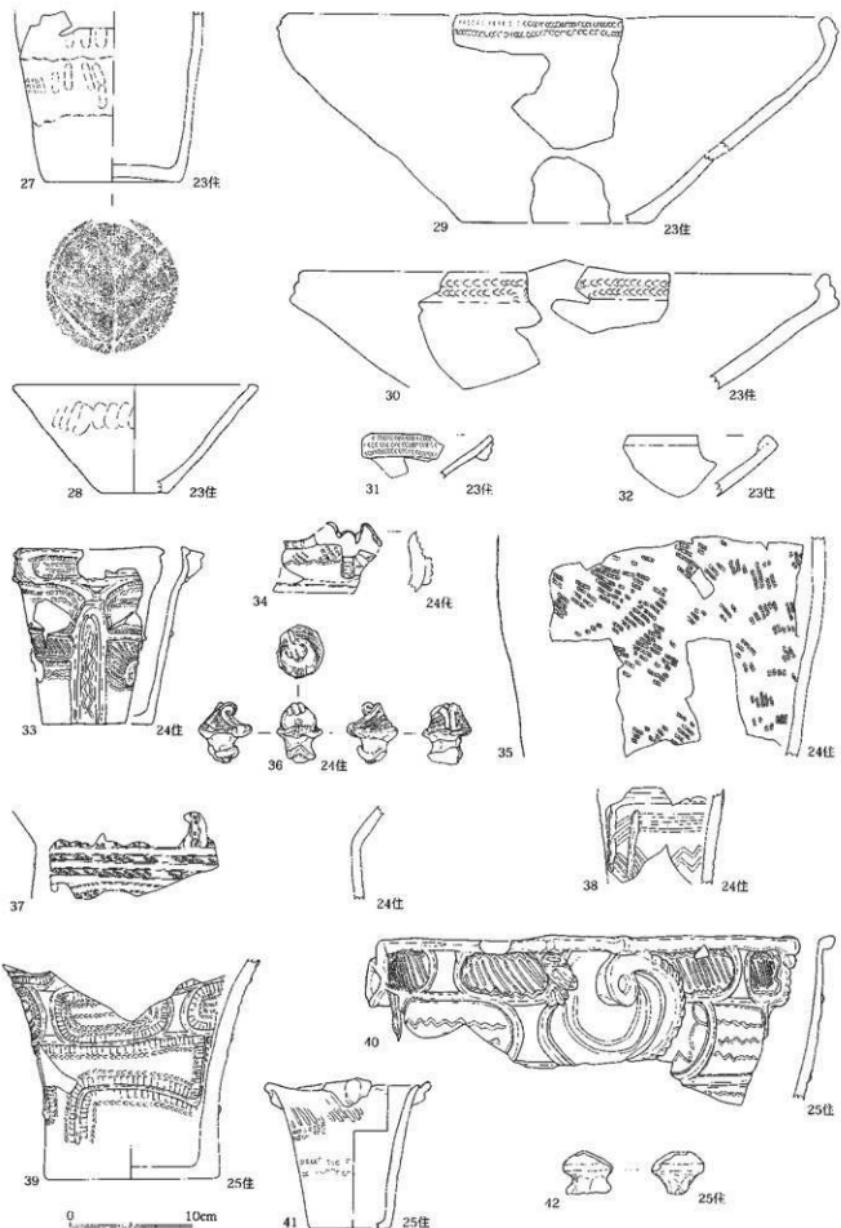
3B 繩紋土器



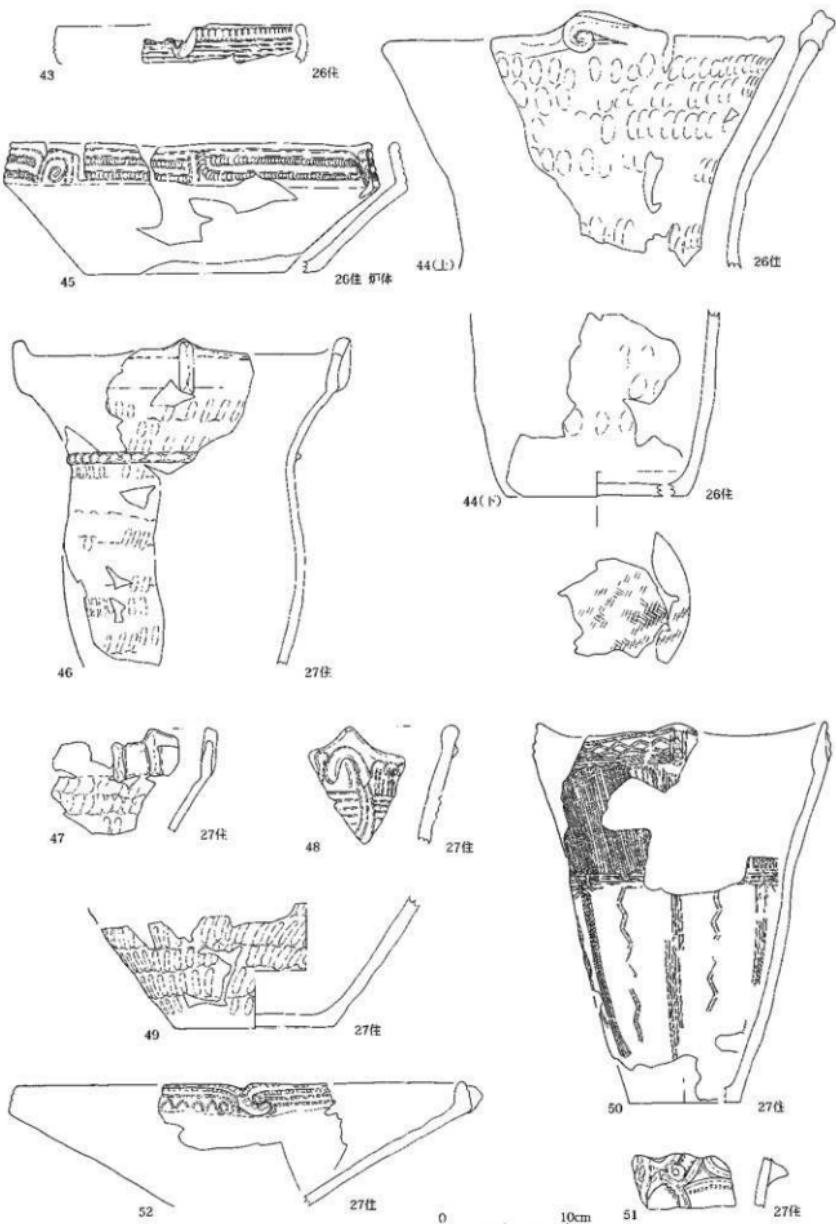
第23図 繩紋土器(1) 3B



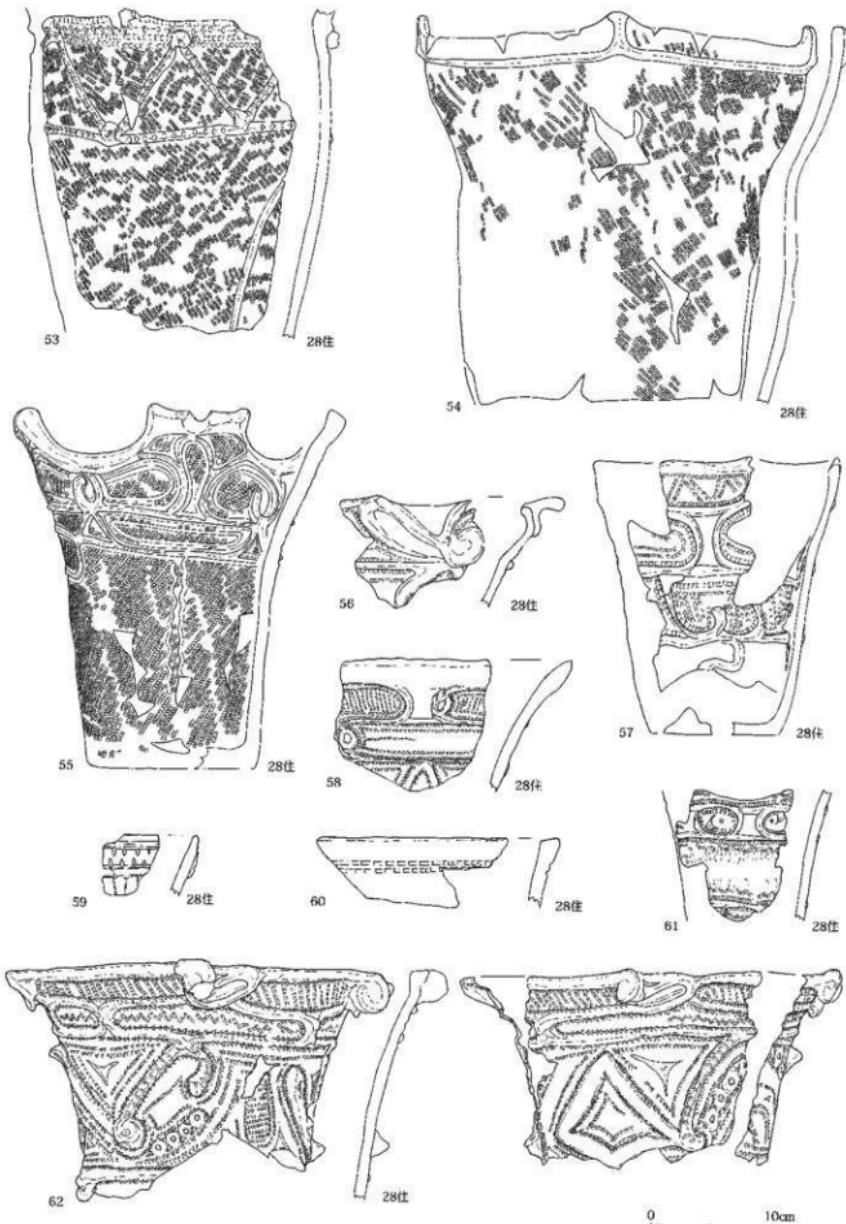
第24図 繩紋土器(2) 3B



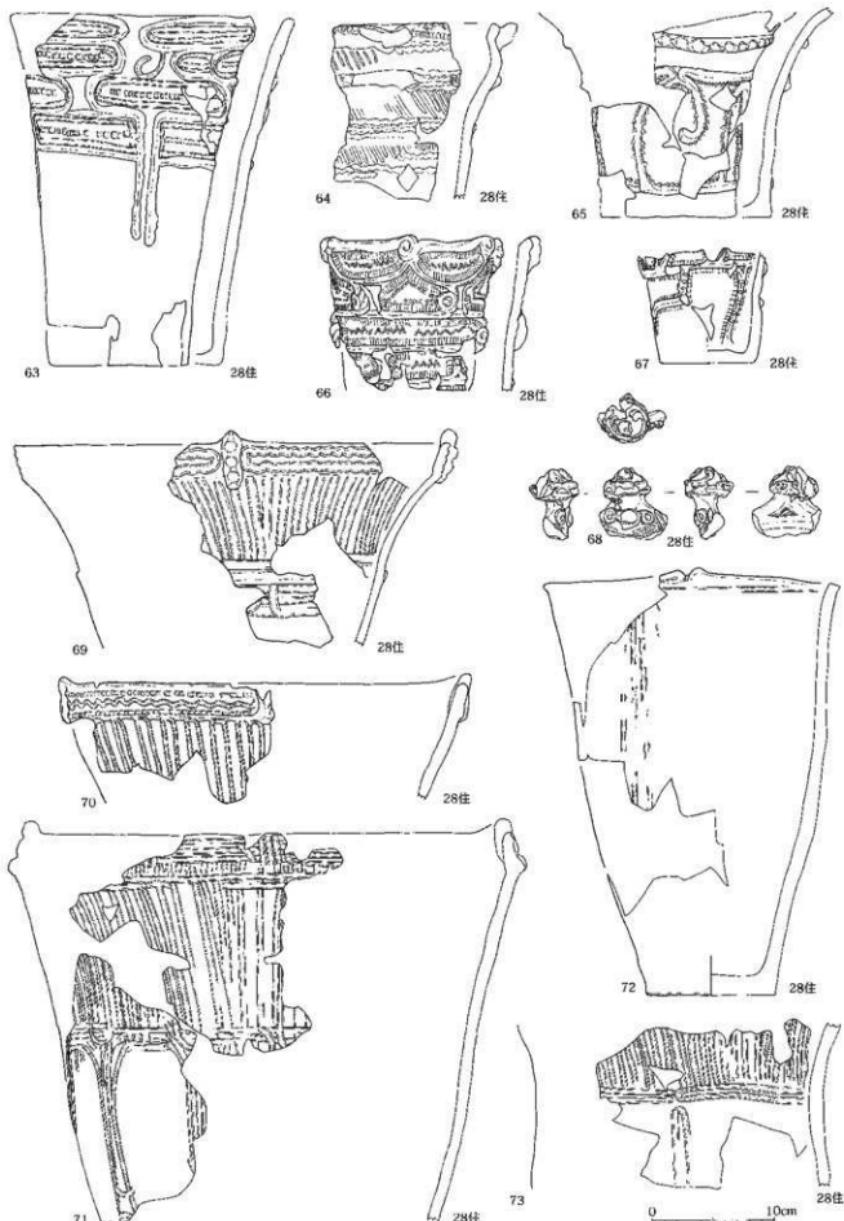
第25図 繩紋土器(3) 3B



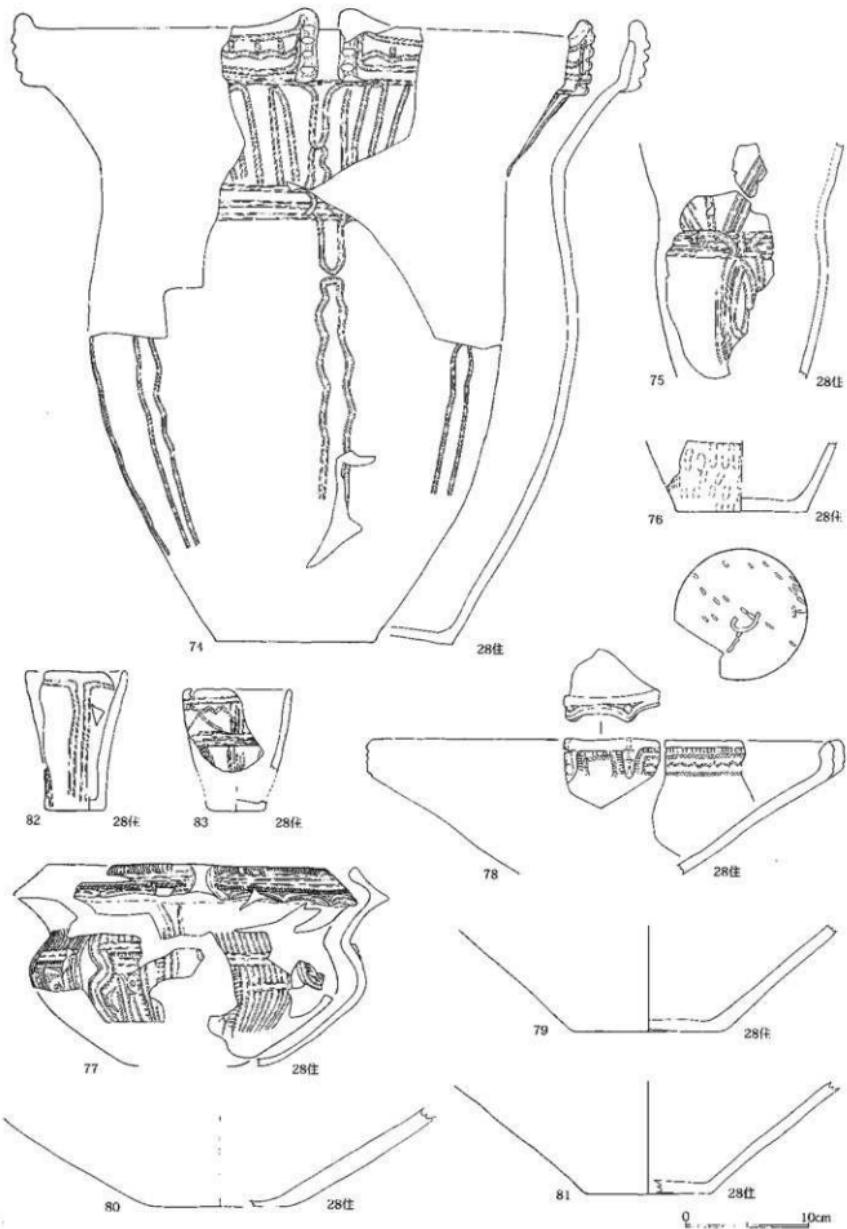
第26図 繩紋土器(4) 3B



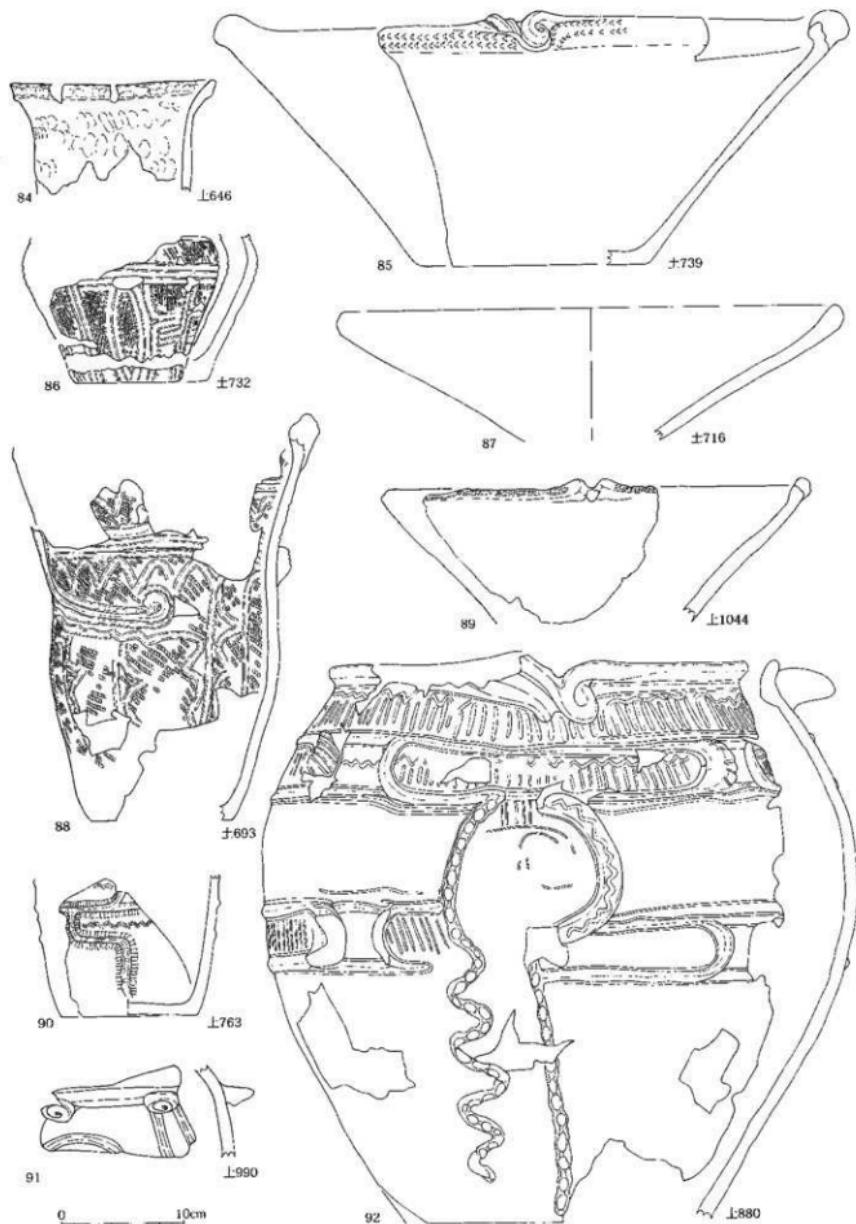
第27図 繩紋土器(5) 38



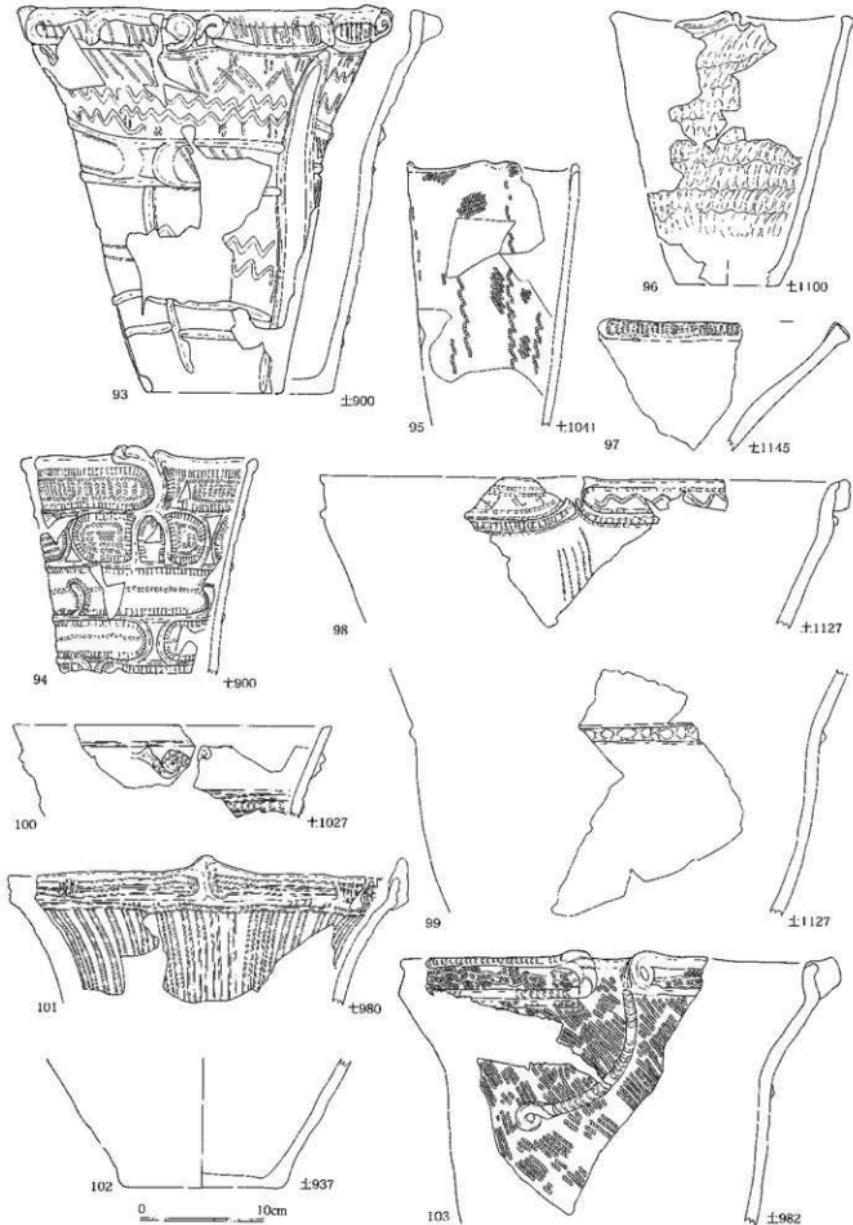
第28図 繩紋土器(6) 3B



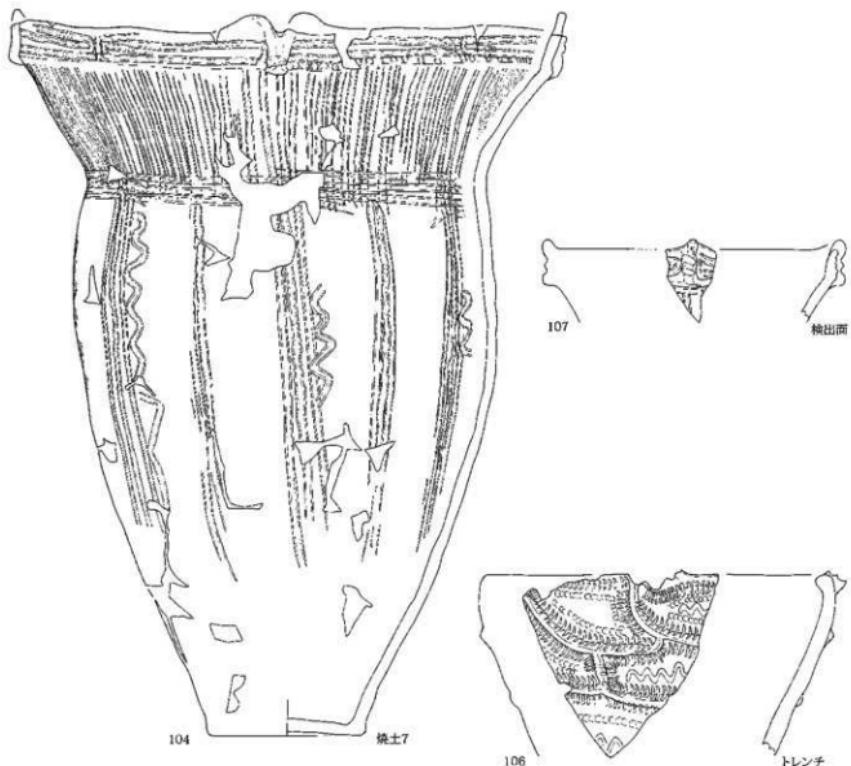
第29図 繩紋土器(7) 3B



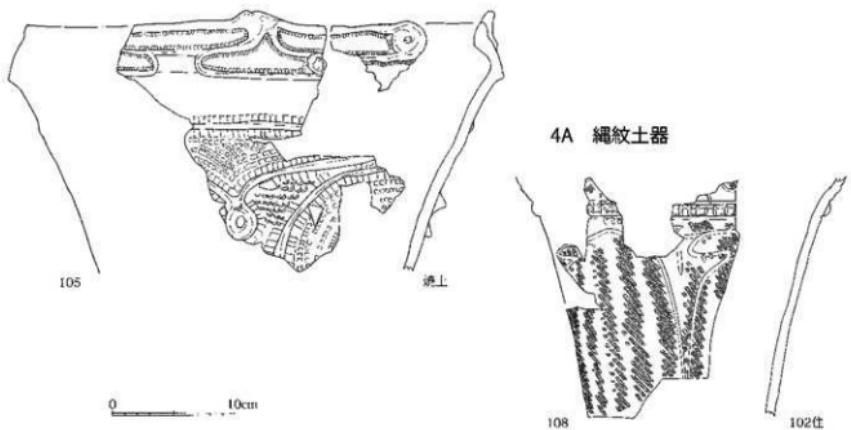
第30図 繩紋土器(8) 3B



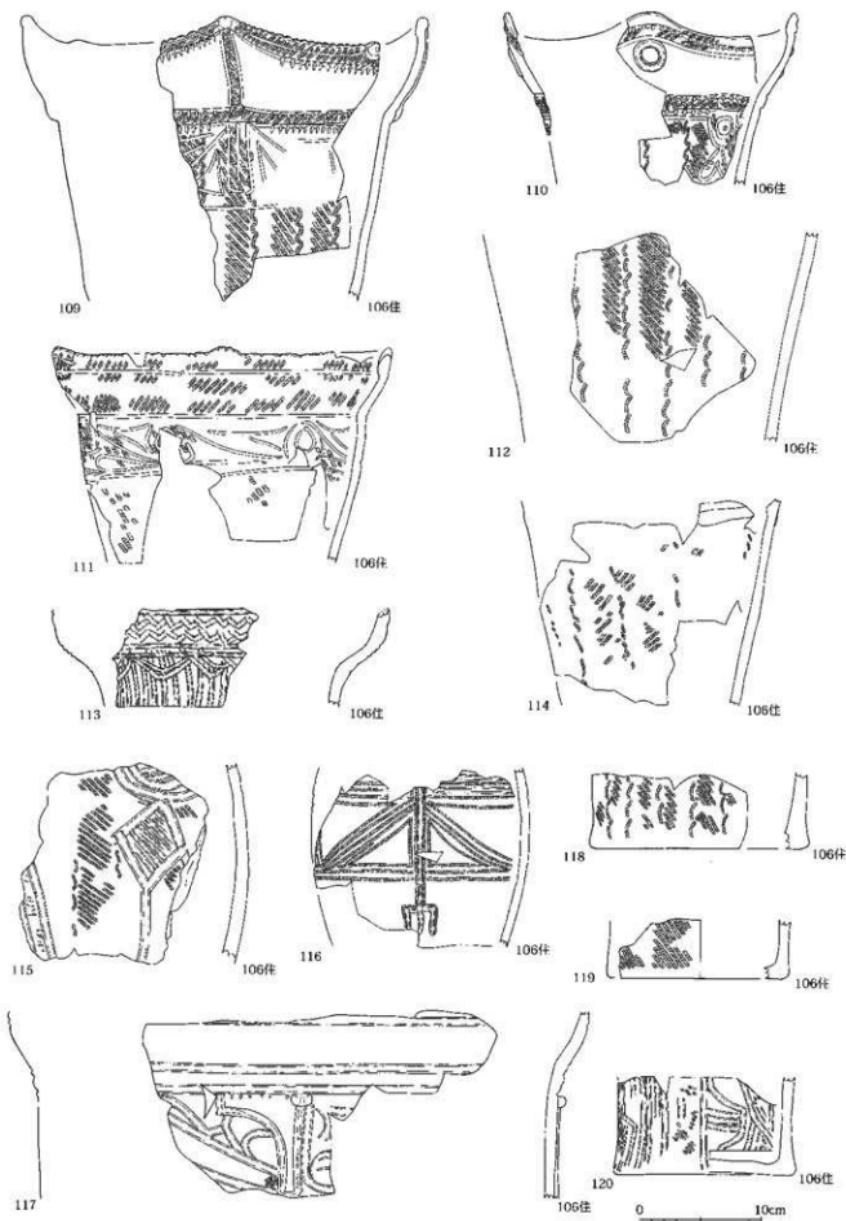
第31図 繩紋土器(9) 3B



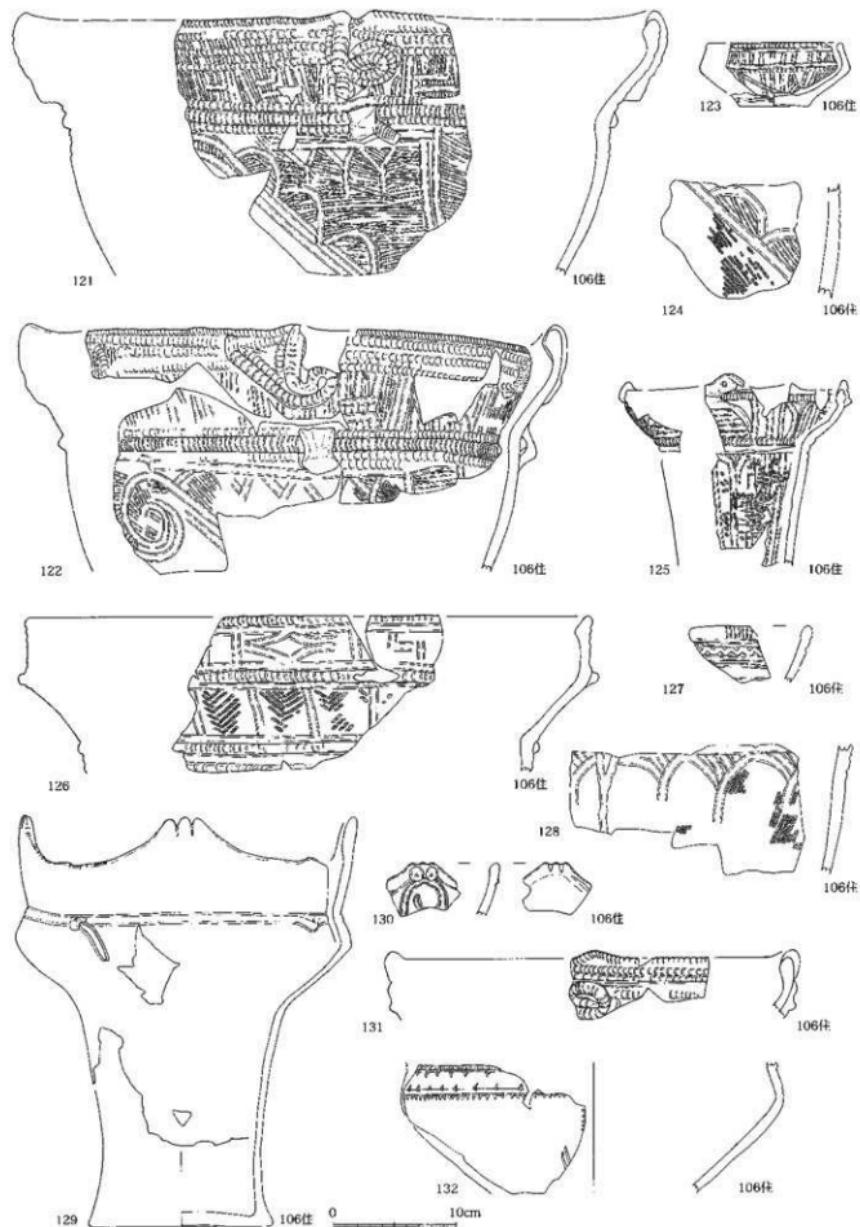
4A 繩紋土器



第32図 繩紋土器 (10) 3B・4A



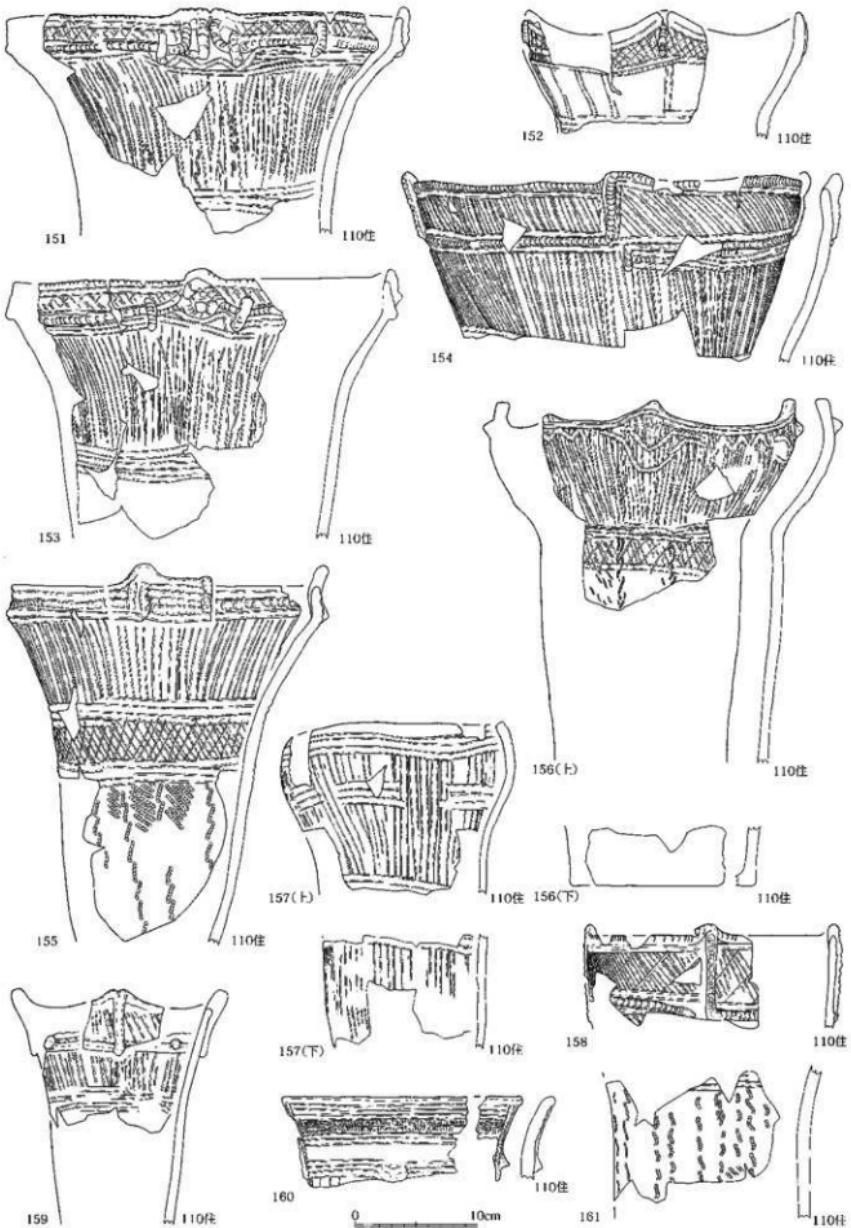
第33図 繩紋土器(11) 4A



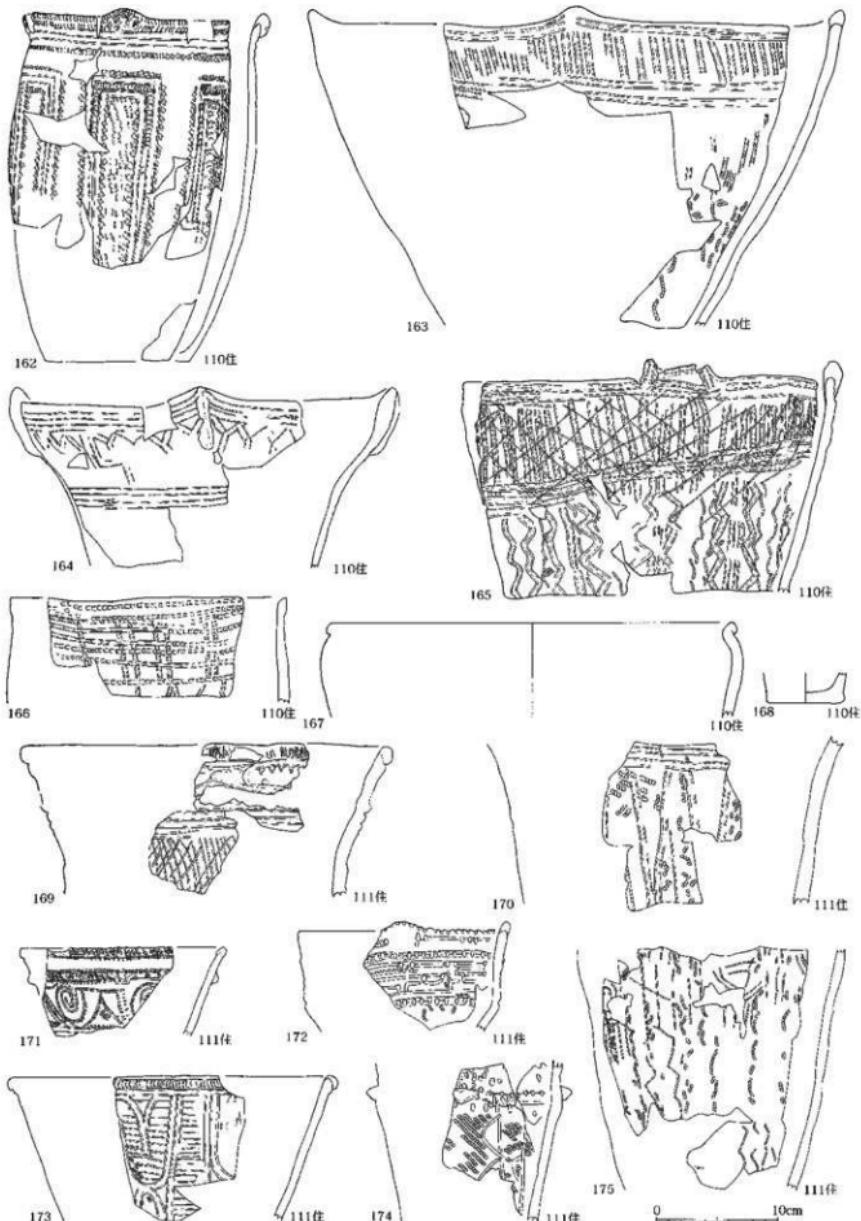
第34図 繩紋土器(12)4A



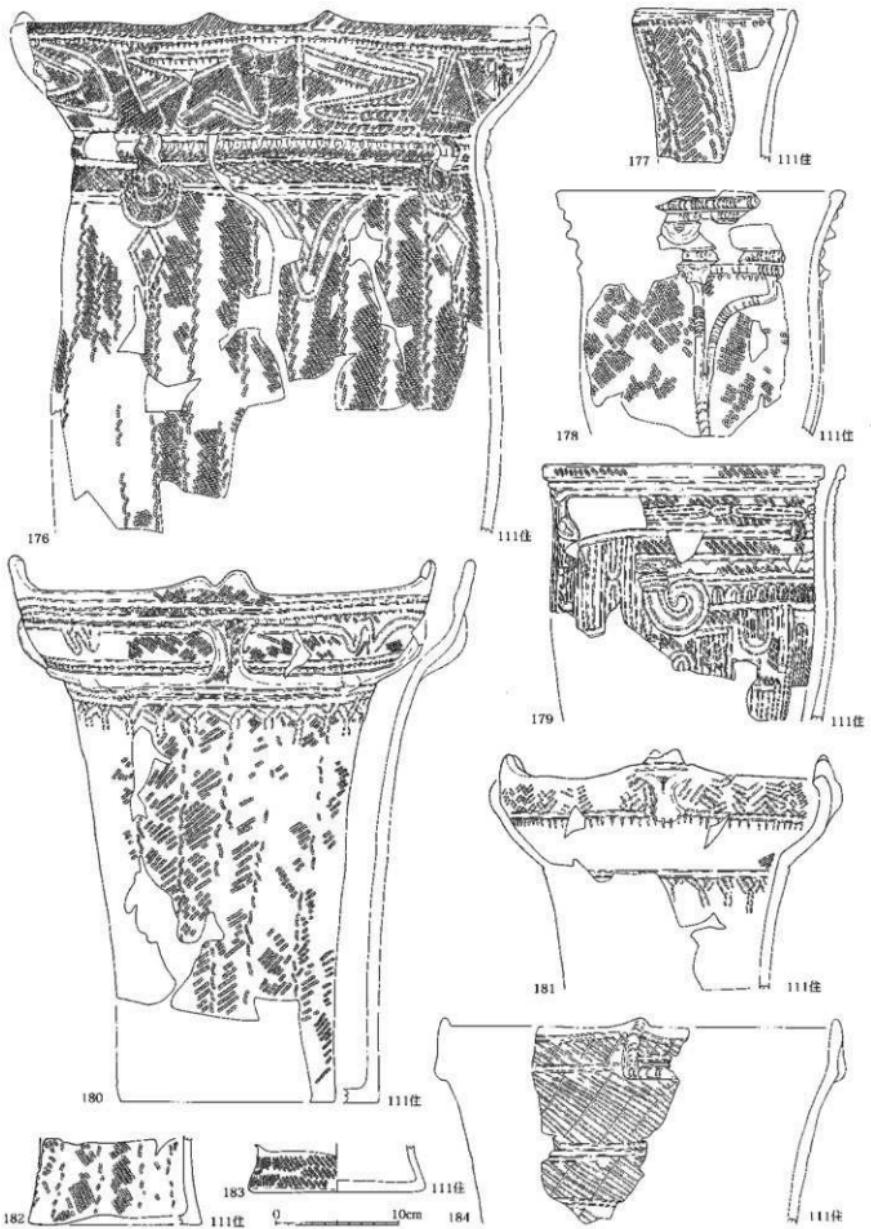
第35図 繩紋土器(13) 4A



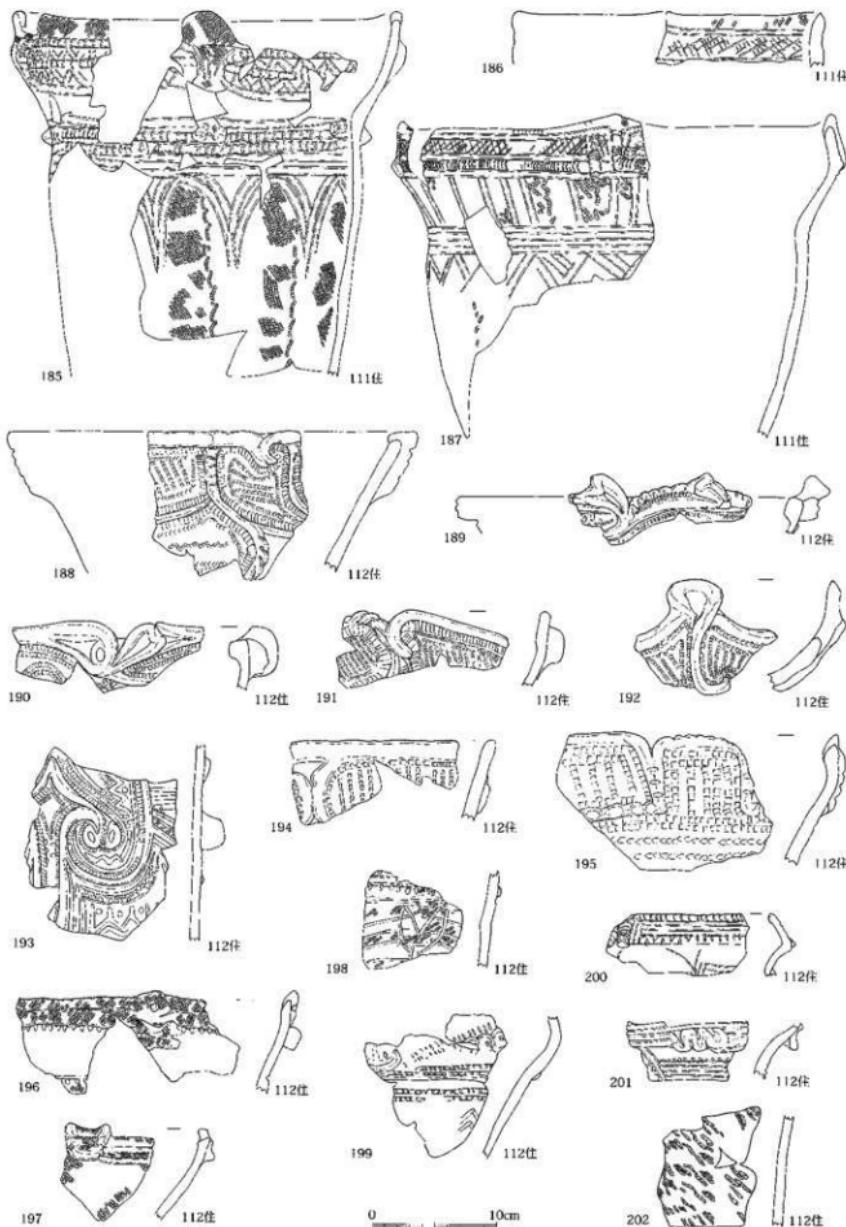
第36図 繩紋土器(14) 4A



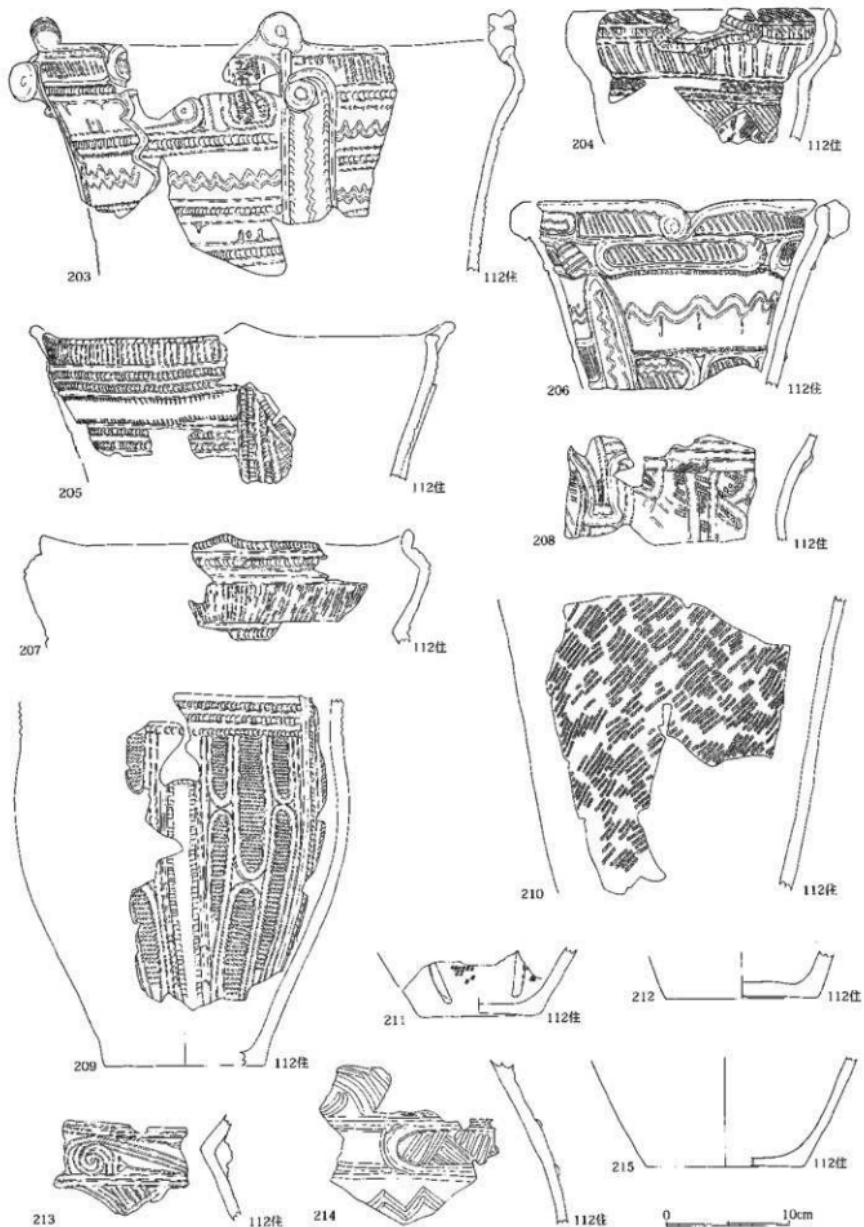
第37図 繩紋土器(15) 4A



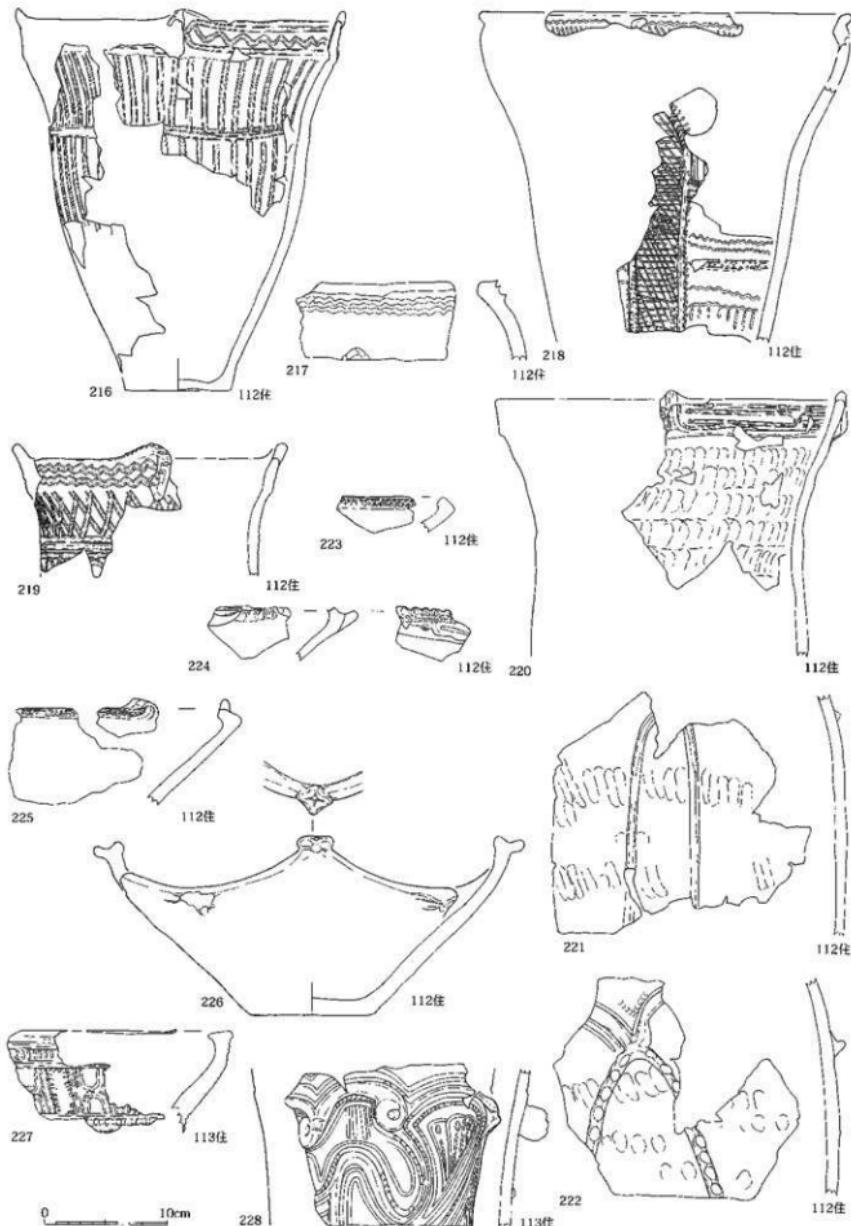
第38図 繩紋土器(16) 4A



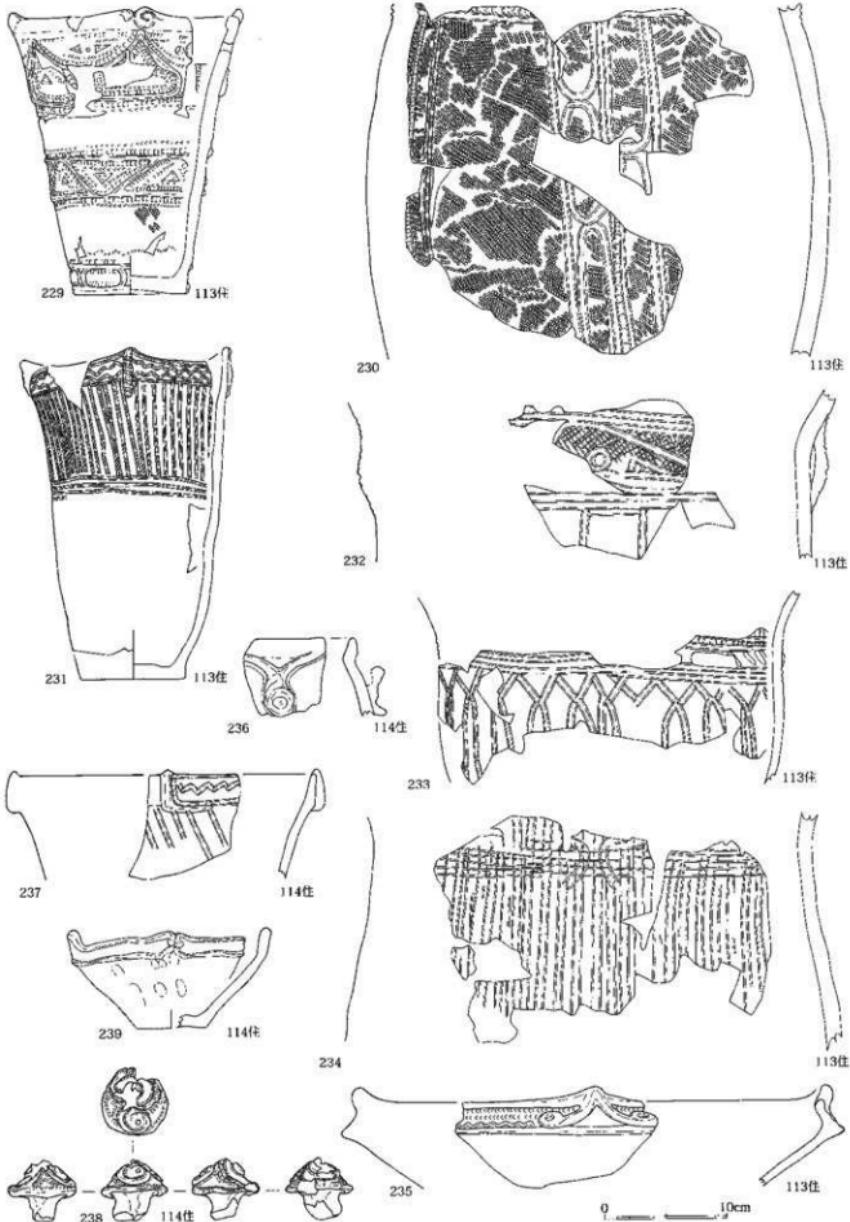
第39図 繩紋土器(17) 4A



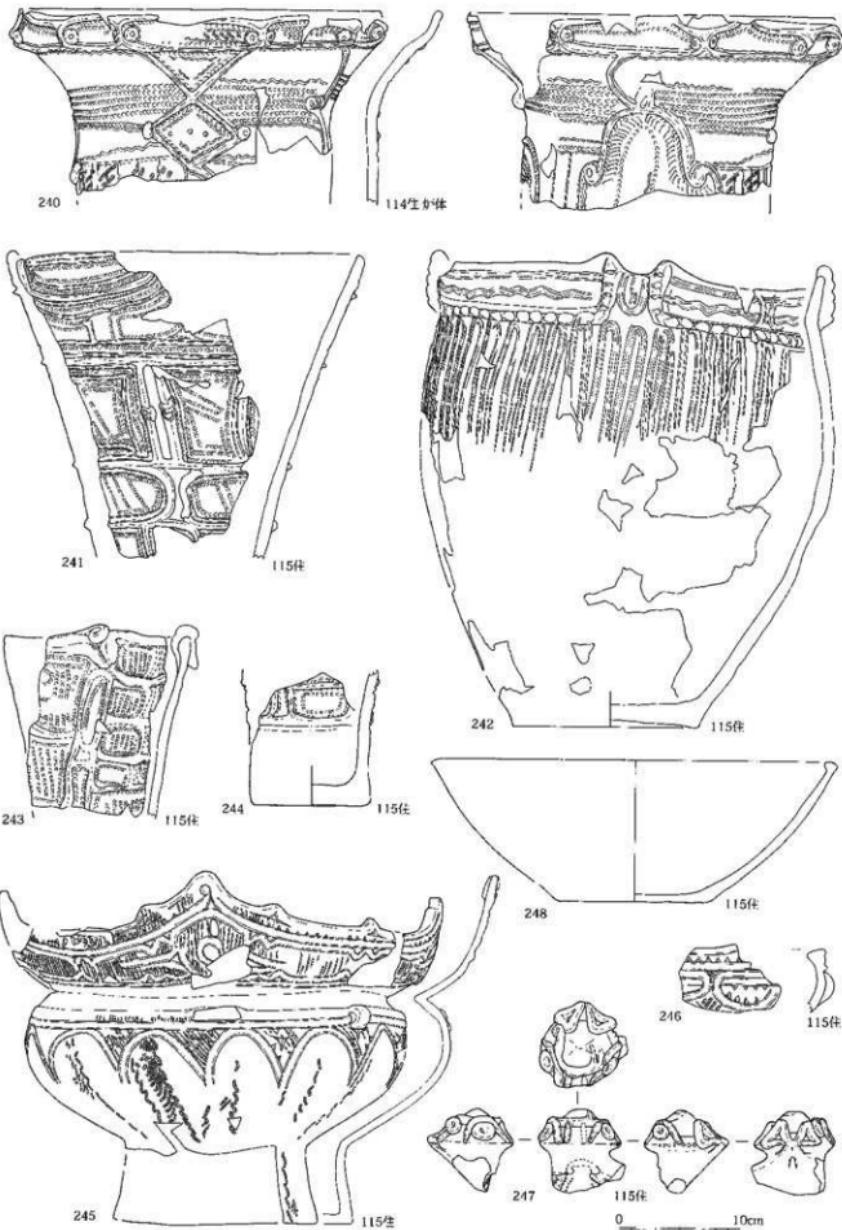
第40図 繩紋土器(18) 4A



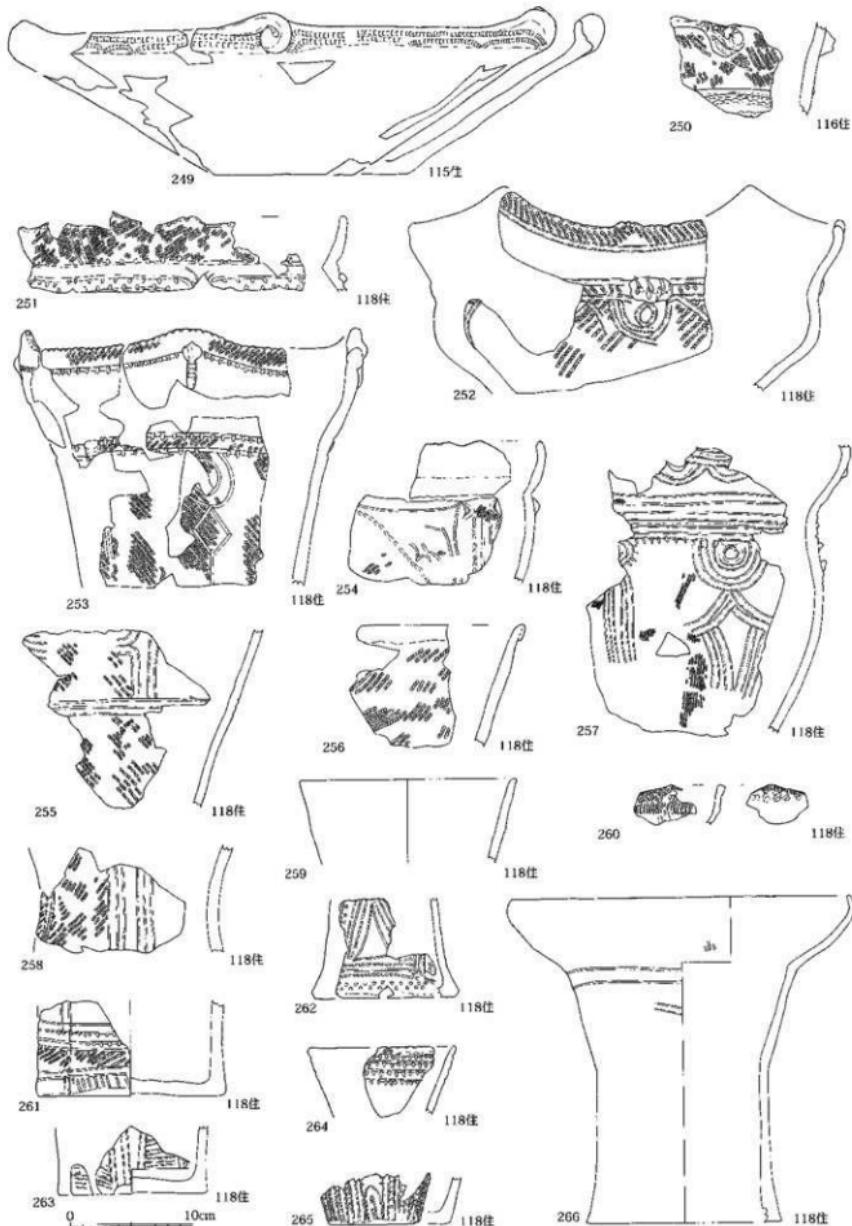
第41図 繩紋土器(19) 4A



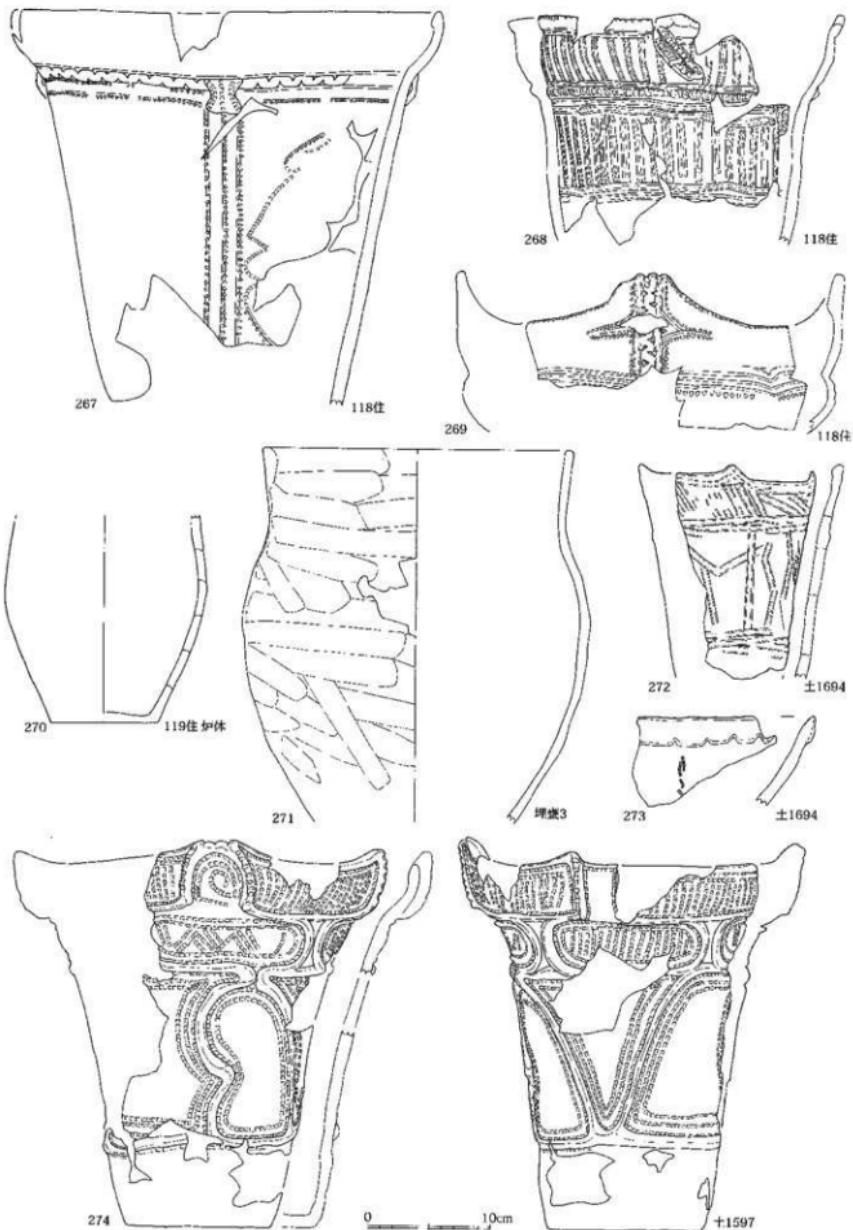
第42図 繩紋土器 (20) 4A



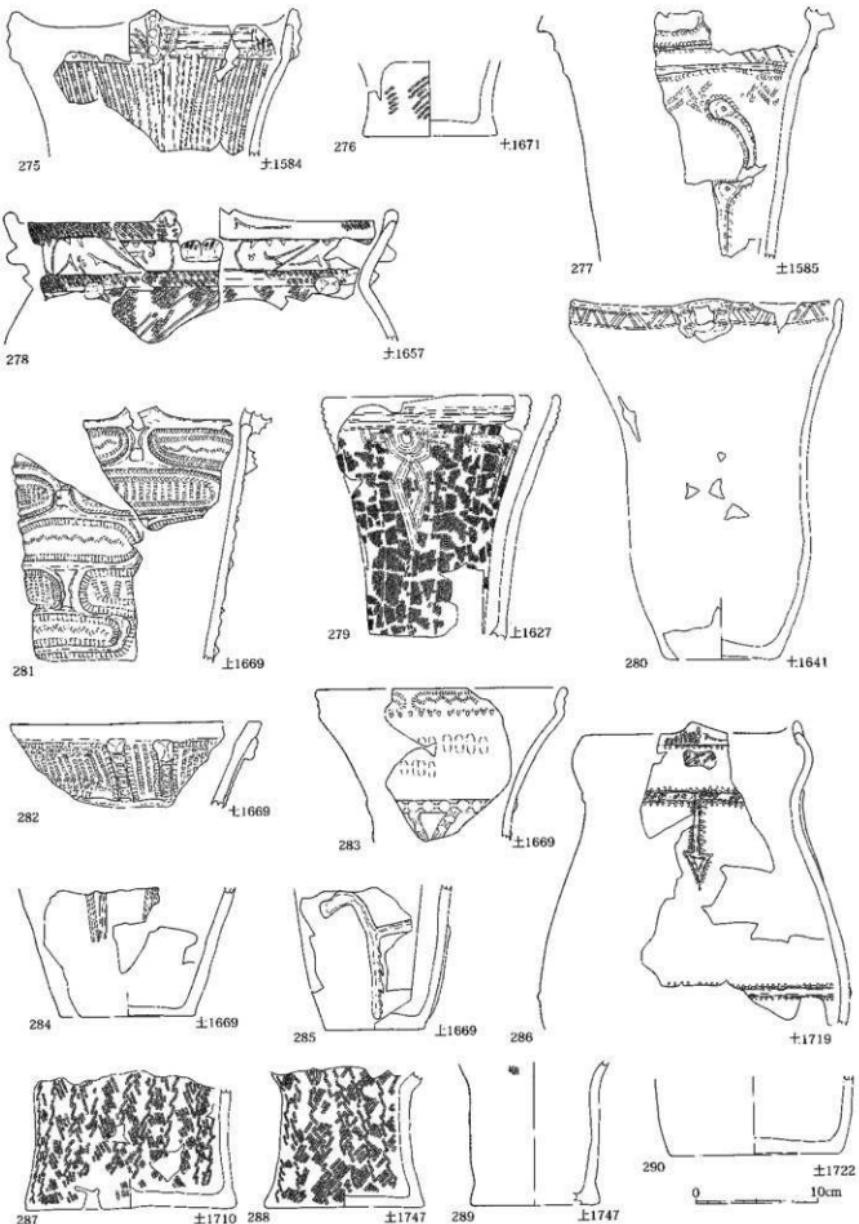
第43図 繩紋土器(21) 4A



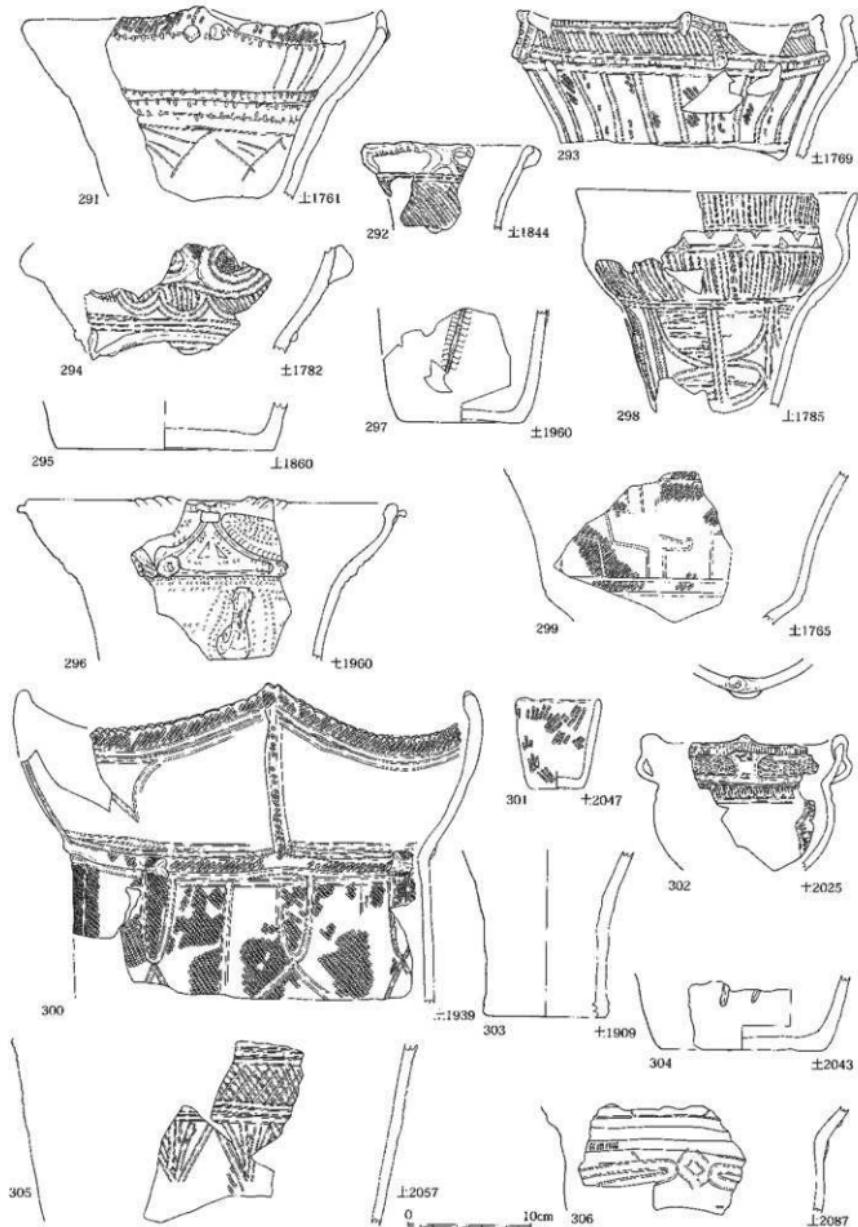
第44図 繩紋土器(22) 4A



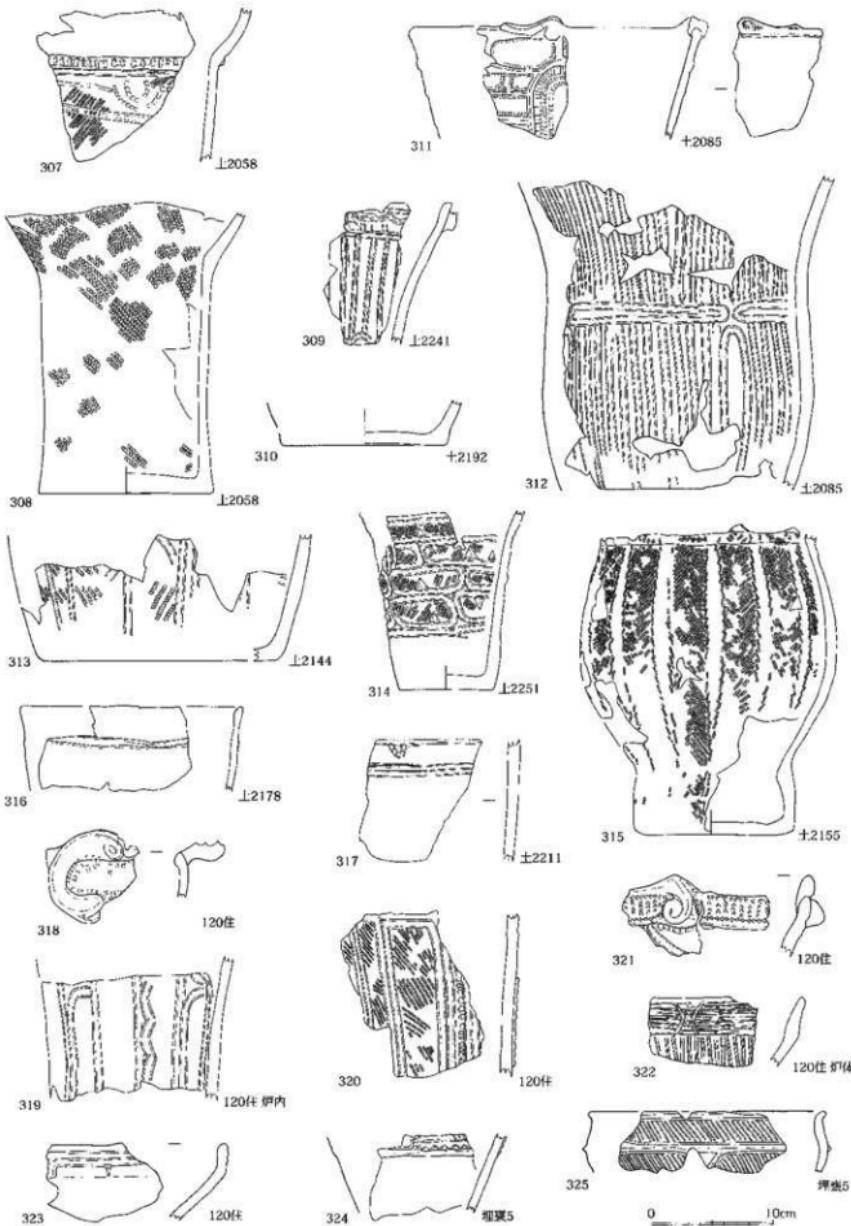
第45図 繩紋土器(23) 4A



第46図 繩紋土器(24) 4A

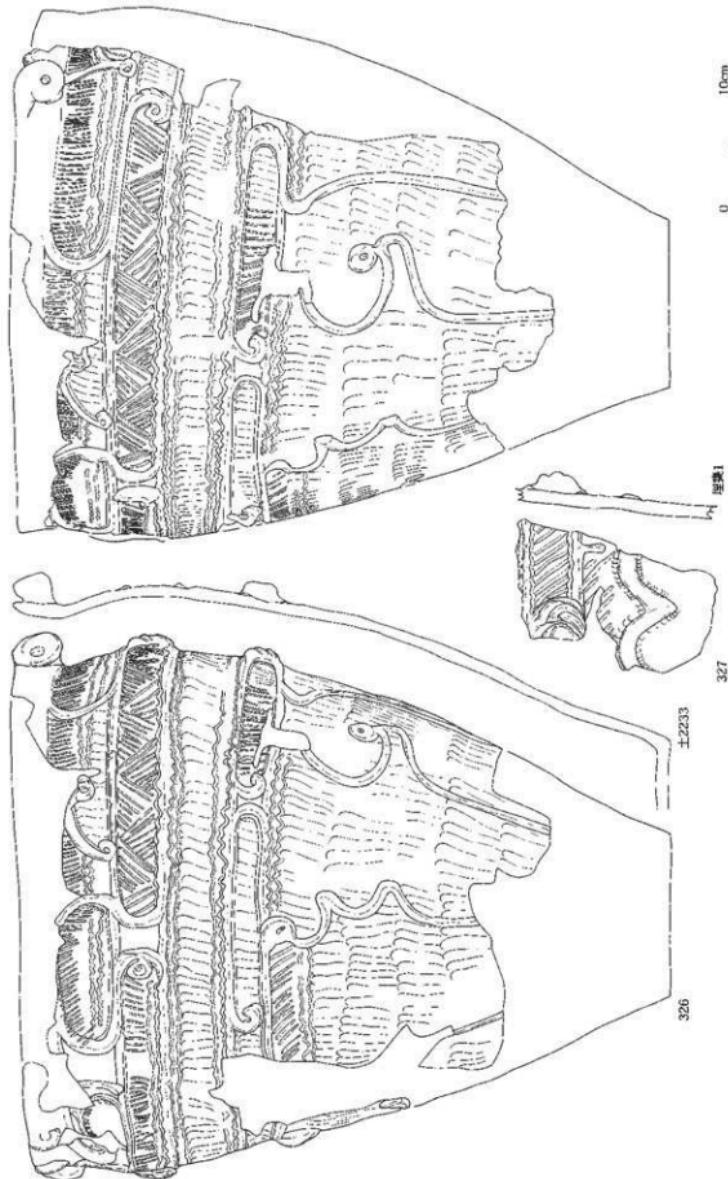


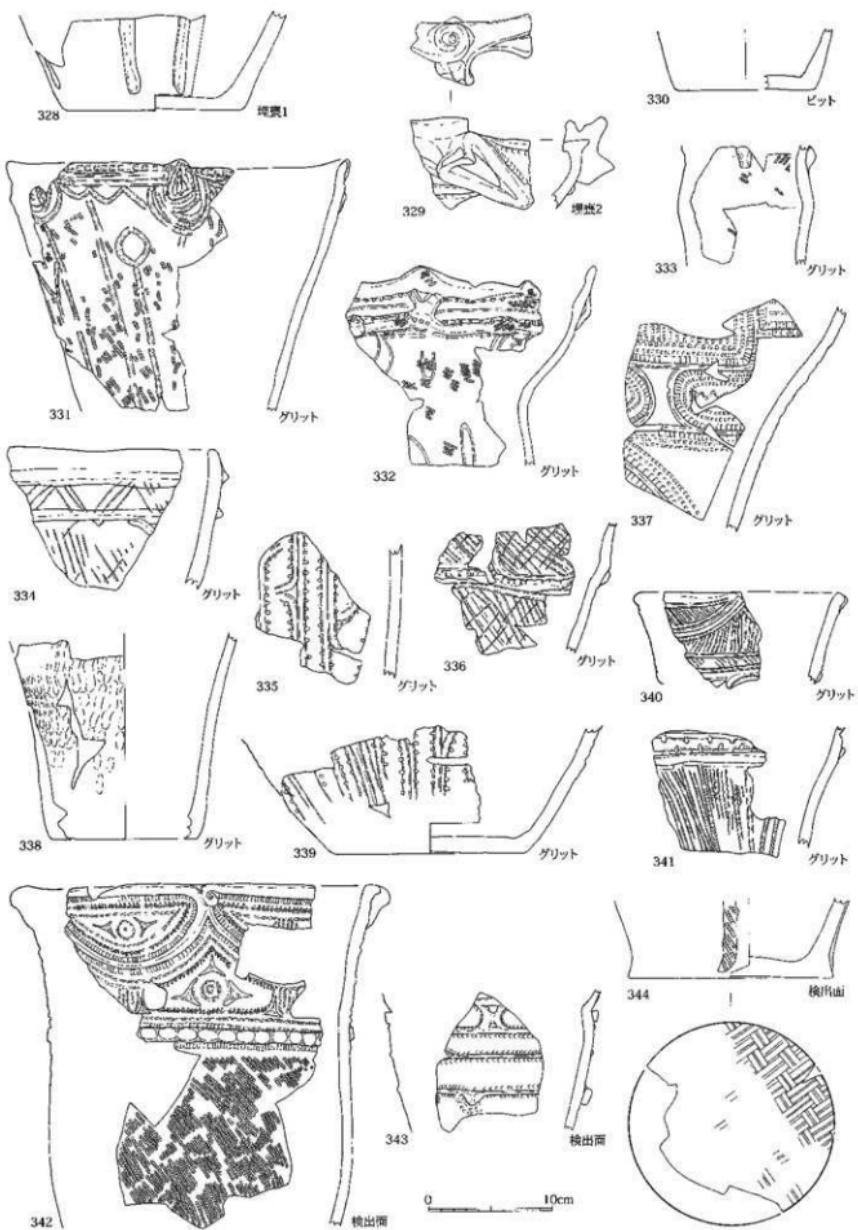
第47図 繪紋土器(25) 4A



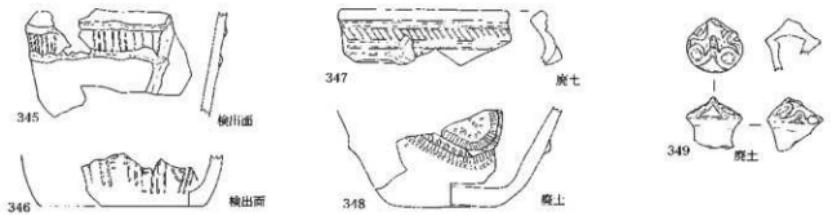
第48図 繩紋土器(26) 4A

第49図 横紋土器(27) 4A





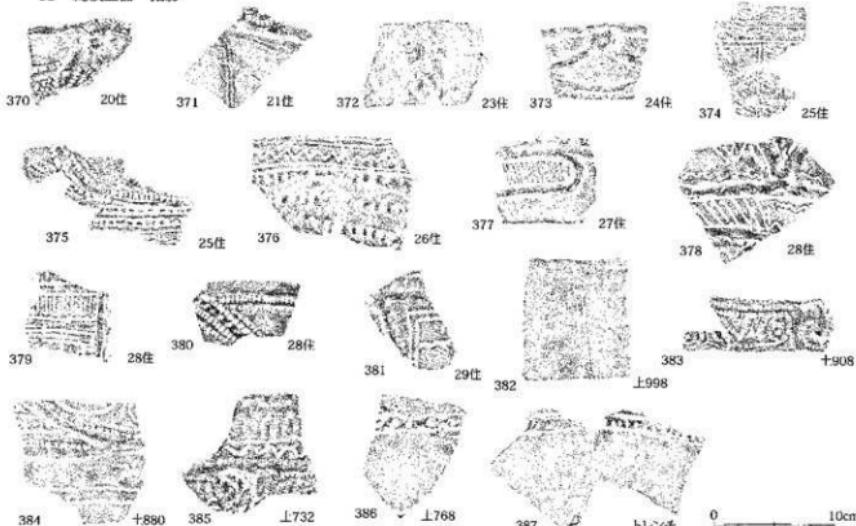
第50図 繩紋土器(28) 4A



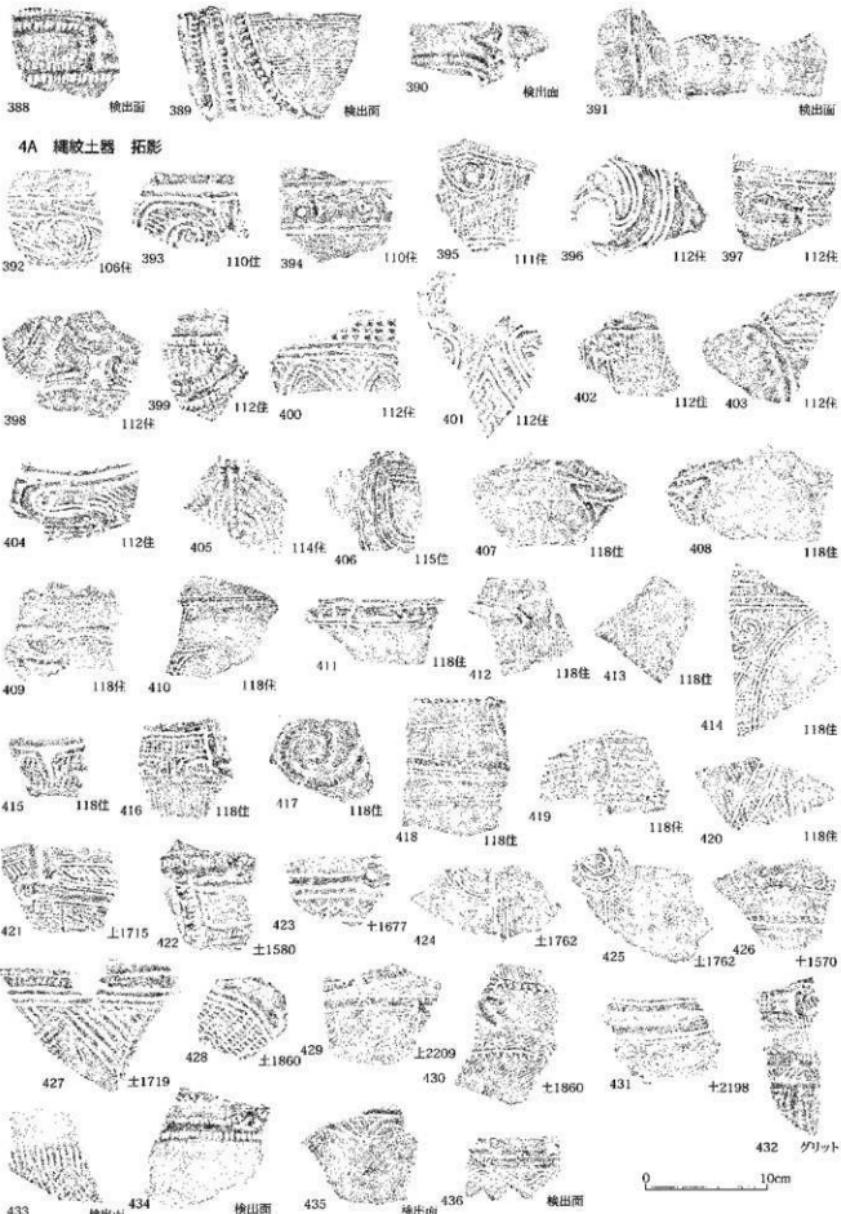
土偶・土製品



3B 繩紋土器 拓影



第51図 繩紋土器(29) 実測4A・拓影3B・土偶・土製品



第52図 縄紋土器(30) 拓影 3B・4A

2 川西開田 3B・4A 遺跡石器群

(1) 石器群の概要(第9表)

川西開田遺跡では 7,000 点を超える石器が回収された。伴川遺物等から縄文時代中期に帰属すると考えられる石器群である。3B 遺跡 1,357 点、4A 遺跡 5,724 点、総点数 7,080 点(総重量 1,178,065.7g)を整理作業対象とした。石器群全体の 89.4% にあたる 6,332 点が住居址、土坑等の遺構より出土している。接合作業の結果、38 例 106 点の遺構間接合資料を含む、291 例 704 点(接合率 9.9%、平均接合個体数 2.4 点)の接合資料を確認した。

遺構検出作業面は諸般の制約からか、本来の遺構検出層理面よりも低く設定されたようであり、全点を回収し得ていないと考えられることには注意が必要であるが、任意の検出面以下においては「土壤以外の岩石すべて」という石器の回収基準が選択された(註 1)。前述の石器回収基準が選択されたためか、これまでに類例が無いものと考えられる、特異な剥片剥離技術によると考えられる石器群の存在も明らかとなった。

(2) 石器整理作業の経過

前述の回収基準により回収された岩石は全点洗浄の後、基盤層に含まれ得る自然礫を除き、全点に個体識別番号を付与して管理し整理作業対象とした。総点数 7,081 点に対して個体識別番号を付与し、データベースを作成して管理しつつ整理作業を実施した。第 3 次 B 石器群及び第 4 次 A 石器群を単一のデータベース上で扱うため、それぞれの石器群に 4 衍の個体識別番号を付与した後、3B 石器群には 30000 を、4A 石器群には 40000 を加算し、5 衍のアラビア数字で表記した。母岩識別及び接合作業により確認された接合資料及び同一母岩資料は、それを構成する個体群の先頭の個体識別番号に石材略号を冠して母岩番号とし、接合関係によって成立するグループには「R」を、同一母岩関係によって成立するグループには「M」を冠して接合番号とした。接合作業の過程で多量の接合資料を確認したため、同一母岩関係について是同定を割愛した(註 2)。

最終的に 1 点が欠番となったため、総点数は 7,080 点となった。また、接合作業の過程で 11 個体の注記が確認不能となった。石材・器種単位で収納作業を行う過程で、石材属性と器種属性及び重量から個体を特定したが、最終的に器種が不明なもの 3 点、石材が不明なもの 2 点が存在する。

(3) 石材概観(第6表、第9表、第10表)

本石器群においては UK(不明)も含め、25 種類の石材が認められた(註 3)。硬砂岩については通常の硬砂岩を HSa とし、著しい風化を伴うものを HSa2 とし、2 群に分離した。平均組成率は 4.0% であった。

点数比で組成率が平均を超えた石材としては、Ob(黒耀岩)が 2,679 点(37.8%)、HSa(硬砂岩)が 2,097 点(29.6%)、HSa2(硬砂岩 2 類)が 781 点(11.0%)、Sh(頁岩)が 718 点(10.1%)認められた。組成率が 1% 以上の石材としては、Ch(チャート)が 218 点(3.1%)、Sa(砂岩)が 165 点(2.3%)、Tu(凝灰岩)が 128 点(1.8%)認められた。組成率が 1% 以下の石材としては、An(安山岩)が 60 点(0.8%)、Sc(輝綠凝灰岩)が 50 点(0.7%)、Di(閃綠岩)が 34 点(0.5%)、Qu(石英)が 31 点(0.4%)、CrAs(溶質凝灰岩)が 22 点(0.3%)、Ho(ホルンフェルス)が 16 点(0.2%)、SiMu(珪質泥岩)が 13 点(0.2%)、Sl(粘板岩)が 13 点(0.2%)、ChSc(緑泥片岩)が 13 点(0.2%)、Gr(花崗岩)が 11 点(0.2%)、Se(蛇紋岩)が 9 点(0.1%)、BQRh(黒雲母石英質流紋岩)が 8 点(0.1%)、Co(砾岩)が 8 点(0.1%)、Uk(不明)が 2 点(0.0%)、BAn(黒色緻密安山岩)が 1 点(0.0%)、Jad(翡翠)が 1 点(0.0%)、Jas(碧玉)が 1 点(0.0%)、Cr(水晶)が 1 点(0.0%)認められた。ごく大まかな比率でみると、Ob が 4 割弱、HSa が 3 割弱、HSa2 が 1 割強、その他 1 割強ということになる。

25 種類の石材のうち 60% にあたる 15 種類の石材において接合資料が認められ、石材ごとの接合率の平均は 10.1% となった。平均を超えた接合率を示した石材として、Co(62.5%)、Gr(36.4%)、Sa(31.5%)、An(23.3%)、HSa2(17.2%)、HSa(17.1%)、Sl(15.4%)、Ho(12.5%) がある。平均以下の接合率を示した石材として、Tu(8.6%)、Sh(7.5%)、Qu(6.5%)、Di(5.9%)、Sc(4.0%)、Ch(2.8%)、Ob(2.1%) がある。BQRh、BAn、CrAs、Se、SiMu、ChSc、Jad、Jas、Cr、UK においては接合資料は確認し得なかった。

石材の点数と接合率には相関は認められないようである。HSa(硬砂岩、17.1%)、HSa2(硬砂岩 2 類、17.2%) は点数が比較的多かったもかわらず、接合率が高かった。逆に、Ob(黒耀岩、2.1%) は点数では最多であったが、接合率は接合資料を確認し得なかった石材を除き最も低率となった。

(4) 器種概観 (第 7 表、第 9 表、第 11 表)

本石器群においては Uk(不明) も含め、33 種類の器種を仮設し、26 種類の器種が認められた (註 4)。平均組成率は 3.8% であった。

点数比で組成率が平均を超えた器種としては、MF(微細剥離痕ある剥片) が 1,570 点 (22.2%)、PT1(碎片 1 類) が 1,357 点 (19.2%)、F(剥片) が 1,335 点 (18.9%)、PTC(碎片複合) が 432 点 (6.1%)、C(石核) が 431 点 (6.1%)、PT3(碎片 3 類) が 384 点 (5.4%)、BC(模状石核) が 368 点 (5.2%)、RF(二次加工ある剥片) が 268 点 (3.8%) 認められた。組成率が 1% 以上の器種としては、FA(打製斧形石器) が 208 点 (2.9%)、P(磬) が 192 点 (2.7%)、PT(碎片) が 126 点 (1.8%)、P1(碎石器 1 類) が 102 点 (1.4%)、BF(楔状剥片) が 78 点 (1.1%) 認められた。組成率が 1% 以下の器種としては、FP(錐形石器) が 61 点 (0.9%)、PT2(碎片 2 類) が 59 点 (0.8%)、PC(碎石器複合) が 34 点 (0.5%)、Dr(錐形石器) が 17 点 (0.2%)、Sp(ヒ形石器) が 11 点 (0.2%)、Di(直状石器) が 10 点 (0.1%)、P2(碎石器 2 類) が 9 点 (0.1%)、Sc(スクレイバー状石器) が 7 点 (0.1%)、PA(磨製斧形石器) が 6 点 (0.1%)、P3(碎石器 3 類) が 5 点 (0.1%)、Uk(不明) が 5 点 (0.1%)、Yk(有孔石製品 2 類) が 3 点 (0.0%)、Sl(銚状石器 1 類) が 2 点 (0.0%) 認められた。

26 種類の器種のうち 50% にあたる 13 種類の器種において接合資料が認められ、器種ごとの接合率の平均は 9.2% となった。平均を超えた接合率を示した器種として、Yk(66.7%)、PT3(44.3%)、Di(40.0%)、PTC(17.1%)、PT2(16.9%)、PT1(16.0%)、C(10.4%) がある。平均以下の接合率を示した器種として、F(8.5%)、PT(6.3%)、FA(5.3%)、RF(5.2%)、MF(2.1%)、BC(0.8%) がある。BF、FP、Dr、Sp、Sc、PA、P、P1、P2、P3、PC、Si、Uk においては接合資料は確認し得なかった。

一部の例外を除き、製品の接合率が低く、碎片類の接合率が高い傾向が認められた。

(5) 特異な剥離技術について (第 53 図)

HSa(硬砂岩 1 類) 及び HSa2(硬砂岩 2 類) を主な素材とする石器群においては製品率 (所謂定型的器種 / 全個体数) が著しく低いなか、非常に特徴的な剥片剥離技術によるものと推定される剥片類及び石核の存在が明らかとなった。その剥片は打面が山形を呈する剥離面 2 面以上から構成され、その山形の頂部の棱上を加擊し剥離され、多くが横長を呈する。背面はほぼ平坦な砾面のみから構成される。それらの多くの主要剥離面末端部には使用痕と推定される微細な剥離痕が認められた。これらの特徴を持つ剥片をその背面側から「扇状剥片」と仮称した。また、扇状剥片を剥離したと考えられる石核を「扇状剥片石核」と仮称した。扇状剥片及び扇状剥片石核を扇状剥片関連資料と仮称した。扇状剥片関連資料総点数は 72 点 (3B : 33 点、4A : 39 点) が認められた。

石材としては HSa2 が 59 点 (81.9%)、HSa が 12 点 (16.7%)、Sh(貢岩) が 1 点 (1.4%) 認められた。8 剥強が HSa2 を素材としており、補完的に HSa が、そして極希に Sh が素材として用いられたものと考えられる。

器種としては C(石核)が 6 点 (8.3%)、F(剥片)が 24 点 (33.3%)、MF(微細剥離痕ある剥片)が 39 点 (54.2%)、RF(二次加工ある剥片)が 2 点 (2.8%) 認められた。F、MF、RF を剥片類としてまとめる、剥片類 9 割強 (66 点、91.7%) に対して石核が 1 割弱となる。この扇状剥片の特徴から扇状剥片剥離技術の全体像を推定復元すると以下のようになる。

礫選択段階

平坦面を一面以上もつ礫もしくは礫片を選択していたものと考えられる。

打面準備段階

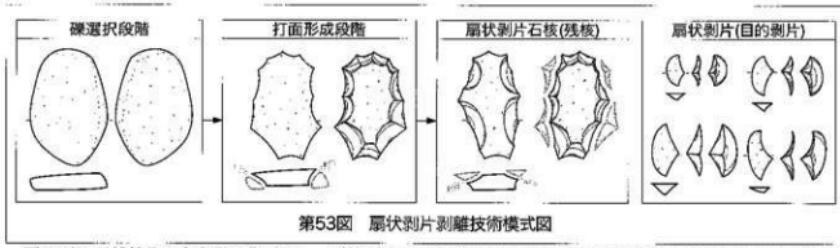
礫の周縁部に打面及び作業面を固定していたものと考えられる。そのため、この段階の序盤で得られた剥片は、礫面打面で背面構成が礫面のみから構成される帽子状剥片、もしくは帽子状剥片剥離痕に隣接した部分では礫面打面で背面に礫面を残す剥片であったと考えられる。本段階に続く目的剥片剥離の際に稜上を加擊しやすいよう、部分的に山形に突出する部分を形成したものとも考えられる。

扇状剥片剥離段階

打面と作業面を入れ替えて打面転移及び作業面転移を行ない、打面準備段階で打面とした平坦な礫面を作業面とし、打面準備段階で形成された剥離面打面の稜線上を加擊し、扇状剥片を剥離したと考えられる。実際の扇状剥片の背面は微細剥離痕を除き礫面のみから構成されるため、扇状剥片を一枚剥離することに先行する扇状剥片剥離痕と切り合うことが無いように横方向に作業面を転移したものと考えられる。

微細剥離痕形成段階

扇状剥片の主要剥離面末端を機能部として何らかの作業に用いられたものと推定され、この段階において微細剥離痕が形成されたものと考えられる。



第53図 扇状剥片剥離技術模式図

扇状剥片剥離技術の各段階の復元から、扇状剥片を目的剥片とする扇状剥片剥離技術は素材選択から目的剥片剥離に至るまで注意深くデザインされた、規格性の高い横長剥片剥離技術であったと考えられる。また、石材消費の観点からは原石 1 個体あたりから得られる扇状剥片の点数が限定される、石材消費効率の非常に悪い技術であったものと考えられる。以上を扇状剥片剥離技術として仮設しておきたい(註 5)。

(6) 接合資料概観(第 12 表、第 13 表、第 54~61 図、註 6)

本石器群においては 38 例 106 点(接合率 1.5%、平均接合個体数 2.8 点)の遺構間接合資料を含む、291 例 704 点(接合率 9.9%、平均接合個体数 2.4 点)の接合資料を確認し得た。本報告では接合資料は、1) 接合関係が単一の遺構内で先結する個体群により構成される遺構内接合資料、2) 接合関係が切り合い関係を持つ遺構群に分布する個体群により構成される準遺構間接合資料、3) 接合関係が切り合い関係を持たない遺構群に分布する個体群により構成される遺構間接合資料に大別した。

遺構間接合資料は 38 例 106 点が認められ、総点数 7,080 点に対する構成率は 1.5%、総接合個体数 704 点に対する構成率は 15.1%、総接合資料例数 291 例に対する構成率は 13.1% となつた。

遺構間接合資料の分布については、SB(住居址) 単位石器群のみに分布するもの 13 例(1 類、34.2%)、SB 単位石器群及び SK(土坑) 単位石器群に分布するもの 17 例(2 類、44.7%)、SK 単位石器群のみに分布するもの 8 例(3 類、21.1%)が認められた。

全接合関係を離散数学でいう有向グラフ化すると一見カオス的状況を示す。しかしながら、石材共有関係ネットワークの核またはハブともいべき突出した遺物出土量を持つ SB106 を粗視化すると、SB が 3~5 単位、SK が 2~8 単位という 4 つの遺構群として把握可能となる。

(7) 単位石器群概観

本石器群においては諸般の制約から基本的な単位石器群を遺構単位で設定した。SB(住居址)が 29 単位、SD(溝状遺構)が 3 単位、SF(焼土址)が 6 単位、SK(土坑)が 301 単位、SP(ピット)が 24 単位、SU(埋甕)が 3 単位、SV(谷状地形)が 1 単位認められた。接合資料が認められた単位石器群は SB(24 単位、82.8%)、SD(1 単位、33.3%)、SF(1 単位、16.7%)、SK(60 単位、19.9%) であった。SP、SU、SV においては接合資料は確認し得なかった。SB(住居址) 単位石器群

石器が出土した SB 単位石器群は、石器が出土しなかった住居址も含めた全住居址 30 単位のうち、96.7% にあたる 29 単位であった。石器が出土した SB 単位石器群 29 単位のうち、遺構間接合資料が 1 例以上分布したものは 58.6% にあたる 17 単位であった。この数字は、SB 単位石器群で石器が出土しているもののうち 2 単位に 1 単位は遺構間接合資料が分布していたこととなり、かなりの高確率であるといえる。逆に、SB 単位石器群の遺構内接合率の平均が 11.1% であることを考えると、実際に各単位石器群において剥片剥離等の作業のなされた石器は 1 割程度であり、残りの 9 割は母岩のライフサイクルと住居址のライフサイクルの各過程が複雑に絡み合いつつ形成された複合体であると考えられる。

SK(土坑) 単位石器群

石器が出土した SK 単位石器群は、石器が出土しなかった十坑も含めた全土坑 1298 単位のうち、23.2% にあたる 301 単位であった。石器が出土した SK 単位石器群 301 単位のうち、遺構間接合資料が 1 例以上分布したものは 10.6% にあたる 32 単位であった。また、SK 単位石器群の遺構内接合率の平均は 6.0%、遺構間接合資料が分布した SK 単位石器群の遺構内接合率の平均は 24.1% であった。以上から、SK 単位石器群で石器が出土しているもののうち 10 単位に 1 単位は遺構間接合資料が分布していたこととなり、SB 単位石器群の遺構間接合資料分布率の約 1/5 となるが、SK 単位石器群は SB 単位石器群と密接な関係にあったと評価し得るものと考えられる。

(8)まとめ

本石器群においては総点数 7,080 点、接合資料 291 例 704 点、遺構間接合資料 38 例 106 点を確認し得たが、三次元座標記録個体が著しく少なかったため、接合資料を構成する個体を帰属する土層へ還元し、遺構の堆積土の切り合い関係と、石器の切り合い関係を通事的かつ共時的に整理する遺構間土層対比は断念した。本石器群における接合資料は單なる平面分布を表すのみにとどまらざるを得ないが、逆にその状況においても大まかに 4 群の石材共有関係を把握し得た。縄文時代に帰属すると考えられる石器群においては、接合した際に分離順序が確定しやすい剥片石器が存在し、炉構築材等の遺構構築段階に帰属しやすい疊石器類も存在する。さらに複雑な転用を含む石器のライフサイクルを考え合わせると、三次元座標記録及び接合作業の徹底により、その情報量はより膨大なものになるものと考えられる(註 7)。

補註

- 註 1 松本市教育委員会による調査時代に帰属すると考えられる遺跡の発掘調査としては初となる、「上層以外の岩石すべて」という石器の回収基準が選択された調査という意味では、高く評価されるべきであろう。この回収基準を選択するメリットとして、調査担当者の主観や思い込みによる石器認定や回取を防ぐことが可能となる。逆にデメリットとしては、回収対象個体が増加することが挙げられる。本石器群においては三次元座標記録個体は 729 点 (10.3%) であった。
- それ以前の調査においては、1) 黒曜岩製の個体、2) 黑曜岩製以外で所謂定形的なものが回収基準となっていたものと考えられる。このことを証するように、石材削成では黒曜岩が七倒的主体を占め、器種削成では黒曜岩のみ製品率が低く、黒曜岩以外の石材では製品率が著しく高いという石器群が存在する。このような石器群の分析から得られるものは、当然の帰結として、調査担当者がその調査において適用した石器の認定基準及び回収基準を超過するのみとなる可能性が著しく高い。また、そのような石器群に対して接合作業を実施したとしても、接合率は低くとどまらざるを得ず、は岩状態への復元率も低くなることが予想される。このような悪循環を防ぐ意味でも、調査担当者はその遺跡の石器群の記述を行なう以前に、石器の認定基準及び回収基準を明示する必要があるものと考えられる。
- 註 2 総当たり (べき乗) の接合作業工程数を算定する公式は $n = \text{個体数} \times (n - 1)/2$ として算出することができる。本石器群においては $n = 7,080$ であることから、 $(n - 1)/2 = 25,059,660$ となる。実際の接合作業では石材ごとに分離し、同一石材の中でも母岩ごとに接合作業を行なうことや、研磨面や敲打面に覆われる輝石器群を接合可能対象から除外することができるが、単純に総当たりで接合作業を行なった場合、およそ 250 万通りの組み合わせがあったことになる。
- 註 3 石材については、森・義直氏による母岩サンプルを石材鑑定して頂いた後に、石材同定を行なった、記して御礼申し上げます。
- 註 4 接合作業の成果として、折れもしくは被熱破壊した後の器種の軽用や、以降移動を経た後の折れや被熱破壊等、非常に複雑な状況が認められた。これらは従来の単純な器種分類では反映しきれないものと考えられ、今後は素材獲得技術属性及び二次加工属性はもとより、石器の製作から廃棄に至る適時的情報を盛り込めるような器種分類体系の構築が必要となるものと考えられる。
- また、本石器群においては石器群を遺跡単位石器群として扱っているが、本来的には土層単位石器群として、遺構のライフサイクルを意識した分析を行うべきものと考えられるが、本報告では諸般の制約から断念した。
- 註 5 本報告においては諸般の制約から扇状剥片開拓資料はほとんど図化し得ず、技術論的分析も行ない得なかつたため、予察にとどめたい。本來的な設定方法としては、HSa 及び HSA2 を素材とするすべての剥片に対し、打面構成、背面構成、法面、微細剥離痕出現平等を定量的に分析する必要があったが、本報告では成し得なかつた。また、使用痕分析等も今後行なう必要があるものと考えられる。
- 以下も予察ではあるが、扇状剥片剥離技術のライフサイクルを推定しておきたい。HSA2 を素材とした石器群は扇状剥片剥離技術関連資料の接合資料を全く確認し得なかつたことから、遺跡内で目的剥片剥離がなされた蓋然性は低く、搬入品である蓋然性が高いものと考えられる。逆に HSa 素材とした石器群は接合率が高く、HSA2 の補完的な機能を果たしていたものと推定される。
- なお、扇状剥片剥離技術に関連すると考えられる資料はこれまで全く報告されていないものと考えられる。扇状剥片剥離技術が川西開田遺跡のみに分布する特異な技術であるのか、それともこれまでただ単に石器として認定されずに回収されていなかつただけであるのかは不明であるが、今後の調査における石器鑑定基準及び回収基準にも注意が必なるものと考えられる。
- 註 6 第《石器 1》図及び第《石器 2》図の遺構間接合資料分布図においては遺構間接合資料構成個体が回収された遺構を遺構上場のみの白抜きで表現し、遺構間接合資料構成個体の出上しなかつた構造については塗りのみで表現した。なむ本図は遺構整理作業と平行して作成したため、現場段階において作成された 1/200 全体図をベースとしている。また、検出出土個体を含む接合資料については図示していない。
- 註 7 何がどこにあったか、すなわち、遺跡／遺構（土層）／遺物が任意の三次元座標に存在したという情報は、記録保存の中心となる基礎的な事実であると考えられる。また、上層がどのような層番で、どの範囲に分布していたかということとも、遺構検出層面や遺構同士の切り合い関係の把握を含め、同じく記録保存の中心となる基礎的な事実であると考えられる。そして、遺物の接合関係及び分離順序も、推定や仮設や、ましてや妄想や空想等ではなく、嚴然たる事実である。少なくとも通常の精度で記録保存がなされた遺跡においては接合作業の徹底及び遺構の上層単位での石器群把握を行なうことにより、より詳細な遺跡構造を把握し得るものと考えられる。

引用参考文献

- 内閣 団 2003「金属器」『平田木郷遺跡 4・5』松本市教育委員会 pp59-pp61
太田末都 2000「石器」『平瀬遺跡 2』松本市教育委員会 pp93-pp122
2003「石器」『平田木郷遺跡 4・5』松本市教育委員会 pp62-pp85

第5表
遺構略号一覧

遺構略号	遺構名
SB	住居跡
SC	選別址
SD	病死埋葬
SE	統計土
SF	骨灰火葬場
SK	上杭
SL	廣西水城
SM	盛唐燒窯
SP	ビット
SQ	遼東中國所
SU	塗壁
SV	青村塗壁
SW	灰瓦
NX	不規則磚
SY	灰瓦
TG	グリッド
TK	樹木
TS	サブトレント
TT	トランシ
TY	井上
TZ	1.0m

第6表
石材略号一覧

石材略号	石材名
Ob	黑曜石
BR	米黃色石英岩
BAA	黑色麻花石
An	安山岩
CaA	海藍寶灰岩
Di	閃綠片狀岩
Gr	花崗岩
Se	蛇紋岩
Co	砂岩
Sh	砂岩
TS	板岩
SDM	硅質岩
Sh	頁岩
St	輝綠岩
Sl	輝綠岩
St	鈣長岩
Ch	チャート
Chic	綠泥石片岩
Ho	ホルンフェルス
Qu	石英
Jst	麻草
As	水晶
Cr	水晶
TSa2	風化板岩
1.0K	不明

第7表 器種略号一覧

器種略号	器種名	記述
MS	砾石	人工的に土がなく認められないものであるが石器の素材と考えられる個体
C	石核	剥離技術の痕跡としての剥離面が認められる個体
F	剥片	剥離後の痕跡としての剥離面が認められる個体
BC	假打刃	同種焼成の痕跡としての剥離面が認められる個体
BE	假打削打	同種焼成の痕跡としての剥離面が認められる個体
Ch	碎片	最大粒径以上の破碎・摩擦痕及び剥離面
FP	碎裂石質	再生・破壊により形成された個体
Dr	磨形石器	磨耗部と考えられる尖頭部の形成された個体
Sp	ヒ形打削	被削部と考えられる刃部及び背面と考えられる抉り部の形成された個体
St	スクライバ・伏状器	刃部の形成された個体
RF	二次打削ある剥片	二次加工された剥片
MF	風化焼成ある剥片	強烈な風化の遷移を認めた個体
PA	打削・研磨有	剥離・研磨等による開削部とし、しきいが層の形成された個体
PA	研磨・敲打	剥離・敲打として最終的には研磨技術により形成された斧形石器
PP	研磨焼成の跡	剥離・敲打として最終的には研磨技術により形成された磨耗形跡
PK	剥離なし形石器	剥離・敲打として最終的には研磨技術により形成された包丁形を示す石器
P	無	剥離・敲打・削打・打削・打削のいずれの痕跡も認められない個体
PT	剥片	片端部による剥離や崩壊で認められる個体
PT1	剥片V端	剥離及び取り取りもししくは折れ断面が認められる個体
PT2	剥片の縁	被削部による剥離や崩壊で認められる個体
PT3	剥片端	折り重なりしくは剥離及び研磨技術の痕跡の两者が認められる個体
PTC	剥片複合	PT1, PT2, PT3のいずれかを主とし、均勻・均等・均円・均角の形態が認められる個体
P1	剥G端	剥離を主とし、凸面に剥離技術が強さいたか、もししくは敲打技術により凸面の形成された個体
P2	剥打削断面	剥離を主とし、凸面に研磨技術が強さいたか、もししくは敲打技術により凹面の形成された個体
P3	剥打削底	剥離を主とし、凹面に研磨技術が強さいたか、もししくは敲打技術により凹面の形成された個体
PC	剥石底面	剥離を主とし、凹面に研磨技術が強さいたか、もししくは敲打技術により凹面の形成された個体
DI	研磨石器	研磨技術により平面の形成された個体
Wa	敲打削断面	平面に研磨技術が強さいたか、もししくは敲打技術により平面の形成された個体
SI	研磨石底面	平面に研磨技術を主とし、対向する直角・直角・斜角・斜角のいずれかの形成された個体
KW	鉄火石器類	剪手状鉄器等は認めるが、10世紀後半から石器とした事例（こじて印）
Bo	骨石器類	骨のなまなざした骨（むちむちした骨等）
Yk	有孔石器類	穿孔したなされた個体
Ux	不明	不明

第8表 石製遺物主要諸元一覧

組合せ個体数	7061	地盤個体数	7060	三大元発掘個体率(%)	一次元発掘個体数/地盤個体数	10.5%	三次元発掘個体数	729
単色率(%)	90.1%	地盤個体数/地盤個体数	90.1%	地盤個体率(%)	1,178,065.7	1.6%	地盤個体数	6392
混合率(%)	9.9%	混合個体数/地盤個体数	9.9%	混合個体率(%)	704	0.9%	混合個体数	1
平均組合個体数(個)	2.4	混合件数/組合個体数	2.4	混合件数	291	1.6%	組合個体数/次元個体数	106

第9表 石材單位器種組成一覧

石材	C	F	BC	Br	Pt	D	Sp	Sc	Rf	Mf	Pa	Ta	E	Pt	Pt1	Pt2	Pt3	PTC	P1	P2	P3	Pc	Di	S	Ys	Yn	特	合	全	組合	
Ob	261	362	362	79	48	14	4	6	138	1254	1	18	7	40	7	13	13	3	3	2679	56	2.1%	Ob	8	0.0%	OB	1				
BR	1																														
SDM																															
Sh																															
St																															
An	2																														
CaA																															
Li	1	2																													
Gr	1																														
Sc																															
Co																															
Se	8	10																													
Br	113	380																													
SDa2	24	343																													
Shd	5																														
Sh	8	145	2																												
Sc	19																														
Tu	3	2																													
St	14	57	4	2	13	2	2	2	20	56		20	1	1	2	23	4	25	22	10		1	1	1	1	1	1				
CaC	3																														
Ho	4																														
Qu																															
Std																															
Im																															
Cr																															
UK	431	1333	369	78	61	17	11	7	268	1570	208	6	162	126	1267	80	384	432	103	9	5	34	10	2	3	5	7080	704	9.9%	U	
(合計)	45	113	3	9	0	0	0	0	14	33	11	0	0	217	10	170	49	0	0	4	0	2	0	704							
(合計率)	10.4%	8.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計	C	F	BC	Br	Dr	Sp	Sc	Op	Mf	Pa	Pr	Pt	Pt1	Pt2	Pt3	PtC	P1	P2	P3	Pc	Di	S	Ys	Yn	特	合	全	組合			

第10表 遺構単位石材組成一覧

Ob	BqN	Bar	An	CsA	Dl	Gr	Sc	Co	Sa	HsA	HsE2	SiMu	St	Sc	To	Sl	Ch	ChSr	Ho	Qu	Jad	Jas	Cr	Uk	20	接合代碼	場合	說文
SK1069																									1	0.0%	SK1069	
SK1070																									1	0.0%	SK1069	
SK1100																									1	0.0%	SK1100	
SK1101																									1	0.0%	SK1101	
SK1105																									2	0.0%	SK1105	
SK1106																									1	0.0%	SK1106	
SK1108																									1	0.0%	SK1108	
SK1116																									1	0.0%	SK1116	
SK1125																									1	0.0%	SK1125	
SK1138																									1	0.0%	SK1138	
SK1145	3																								6	0.0%	SK1145	
SK1146																									5	0.0%	SK1146	
SK1157																									2	0.0%	SK1157	
SK1164																									1	0.0%	SK1164	
SK1167																									1	0.0%	SK1167	
SK1177																									1	0.0%	SK1177	
SK1179																									1	0.0%	SK1179	
SK1182																									4	0.0%	SK1182	
SK1184	4																								11	45.5%	SK1184	
SK1188																									1	0.0%	SK1188	
SK1189																									1	0.0%	SK1189	
SK1191	19																								19	0.0%	SK1191	
SK1192	1																								1	0.0%	SK1192	
SK1198																									1	0.0%	SK1198	
SK1200	7																								7	0.0%	SK1200	
SK1202	13																								15	0.0%	SK1202	
SK1202	6																								16	5.6%	SK1202	
SK1203	2																								2	0.0%	SK1203	
SK1204																									1	0.0%	SK1204	
SK1210	2																								2	0.0%	SK1210	
SK1216																									0	0.0%	SK1216	
SK1216																									0	0.0%	SK1216	
SK1224	1																								1	0.0%	SK1224	
SK1226																									0	0.0%	SK1226	
SK1231																									1	0.0%	SK1231	
SK1234																									1	0.0%	SK1234	
SK1239																									1	0.0%	SK1239	
SK1240																									0	0.0%	SK1240	
SK1241																									1	0.0%	SK1241	
SK1245																									5	0.0%	SK1245	
SK1250																									2	100.0%	SK1250	
SK1254																									1	0.0%	SK1254	
SK1256																									0	0.0%	SK1256	
SK1259																									4	0.0%	SK1259	
SK1260																									2	100.0%	SK1260	
SK1261																									1	0.0%	SK1261	
SK1268																									15	0.0%	SK1268	
SK1269																									3	0.0%	SK1269	
SK1271																									1	0.0%	SK1271	
SK1274																									1	0.0%	SK1274	
SK1277																									1	0.0%	SK1277	
SK1279																									1	0.0%	SK1279	
SK1280																									13	7.75%	SK1280	
SK1282																									1	0.0%	SK1282	
SK1285																									1	0.0%	SK1285	
SK1287																									7	0.0%	SK1287	
SK1288																									4	0.0%	SK1288	
SK1289																									14	0.0%	SK1289	
SK1294																									14	0.0%	SK1294	
SK1296																									14	0.0%	SK1296	
SK1298																									3	0.0%	SK1298	
SK1299																									2	50.0%	SK1299	
SK1300																									1	50.0%	SK1300	
SK1301																									19	20.5%	SK1301	
SK1302																									1	0.0%	SK1302	
SK1304																									7	0.0%	SK1304	
SK1307																									1	0.0%	SK1307	
SK1308																									1	0.0%	SK1308	
SK1309																									1	0.0%	SK1309	
SK1310																									1	0.0%	SK1310	
SK1311																									2	0.0%	SK1311	
SK1312																									2	0.0%	SK1312	
SK1313																									4	0.0%	SK1313	
SK1314																									1	0.0%	SK1314	
SK1315																									2	0.0%	SK1315	
SK1316																									1	0.0%	SK1316	
SK1317																									1	0.0%	SK1317	
SK1318																									1	0.0%	SK1318	
SK1319																									8	0.0%	SK1319	
SK1322																									2	0.0%	SK1322	
SK1328																									1	0.0%	SK1328	
SK1329																									4	0.0%	SK1329	
SK1330																									1	0.0%	SK1330	
SK1341																									1	0.0%	SK1341	
SK1349																									2	0.0%	SK1349	
SK																												

	TO	BQRn	BAn	An	CdAs	Dl	Gr	Se	Co	Su	HsA	HSn	SiMn	Sh	Sc	Tz	Si	Ch	ClSc	Ho	Ou	Ind	Jas	Cr	UK	整	综合指数	综合评价
SK2087	2																								3	0	0.0%	SK2087
SK2089	4																								3	0	0.0%	SK2089
SK2090	8																								9	0	0.0%	SK2090
SK2091	1																								1	0	0.0%	SK2091
SK2092																									5	0	0.0%	SK2092
SK2093	3																								9	0	0.0%	SK2093
SK2095																									2	0	0.0%	SK2095
SK2097																									1	0	0.0%	SK2097
SK2119	9																								3	0	0.0%	SK2119
SK2123	1																								2	0	0.0%	SK2123
SK2124	1																								4	0	0.0%	SK2124
SK2127																									3	0	0.0%	SK2127
SK2131																									4	0	0.0%	SK2131
SK2137																									2	0	0.0%	SK2137
SK2141	1																								2	0	0.0%	SK2141
SK2142	3																								31	2	0.0%	SK2142
SK2143																									1	0	0.0%	SK2143
SK2144	10																								1	0	0.0%	SK2144
SK2145																									1	0	0.0%	SK2145
SK2152	2																								5	2	0.0%	SK2152
SK2154																									6	0	0.0%	SK2154
SK2161	5																								1	0	0.0%	SK2161
SK2172	19																								33	2	0.1%	SK2172
SK2175																									4	0	0.0%	SK2175
SK2177	5																								17	11.8%	SK2177	
SK2179	4																								11	0	0.0%	SK2179
SK2182	1																								14	2	0.0%	SK2182
SK2183																									4	0	0.0%	SK2183
SK2185																									2	50.0%	SK2185	
SK2188	5																								1	0	0.0%	SK2188
SK2189	3																								6	0	0.0%	SK2189
SK2194	4																								10	0	0.0%	SK2194
SK2195	3																								10	0	0.0%	SK2195
SK2196	5																								8	11.2%	SK2196	
SK2197	10																								17	11.8%	SK2197	
SK2198																									4	0	0.0%	SK2198
SK2199																									1	0	0.0%	SK2199
SK2200	1																								3	0	0.0%	SK2200
SK2201																									6	0	0.0%	SK2201
SK2209																									1	0	0.0%	SK2209
SK2211	2																								3	0	0.0%	SK2211
SK2212	4																								2	0	0.0%	SK2212
SK2215																									1	0	0.0%	SK2215
SK2218																									1	0	0.0%	SK2218
SK2224																									3	0	0.0%	SK2224
SK2231																									3	0	0.0%	SK2231
SK2232																									3	0	0.0%	SK2232
SK2234																									3	0	0.0%	SK2234
SK2235																									2	0	0.0%	SK2235
SK2239																									3	1	0.0%	SK2239
SK2241																									4	0	0.0%	SK2241
SK2242																									19	0	0.0%	SK2242
SK2243	8																								7	0	0.0%	SK2243
SK2261	3																								97	7.2%	SK2261	
SK2262	31																								1	0	0.0%	SK2262
SP0098																									2	0	0.0%	SP0098
SP0110																									2	0	0.0%	SP0110
SP0111																									41	0	0.0%	SP0111
SP0115	4																								10	0	0.0%	SP0115
SP0119	10																								1	0	0.0%	SP0119
SP0211																									1	0	0.0%	SP0211
SP0212																									1	0	0.0%	SP0212
SP026																									5	0	0.0%	SP026
SP027																									11	0	0.0%	SP027
SP028																									2	0	0.0%	SP028
SP111	2																								2	0	0.0%	SP111
SP115																									2	0	0.0%	SP115
SP116																									1	0	0.0%	SP116
SP117																									2	0	0.0%	SP117
SP124																									2	0	0.0%	SP124
SP1248																									1	0	0.0%	SP1248
SP1254																									2	0	0.0%	SP1254
SP220	3																								4	0	0.0%	SP220
SP226																									2	0	0.0%	SP226
SP235																									2	0	0.0%	SP235
SP236	2																								2	0	0.0%	SP236
SP237																									2	0	0.0%	SP237
SP238																									2	0	0.0%	SP238
SP239																									2	0	0.0%	SP239
SP240																									2	0	0.0%	SP240
SP254																									2	0	0.0%	SP254
SP270																									2	0	0.0%	SP270
SP271																									2	0	0.0%	SP271
SP272																									2	0	0.0%	SP272
SP27																												

第11表 遺構單位器種組成一覽

ID	C	I	PC	RF	IP	Dn	Sp	W	RP	MP	FA	PA	P	PT	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7</
----	---	---	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	------

机架号	C	P	RC	BF	PP	Um	Sg	Sc	RF	MP	FA	PA	P	PT	PT1	PT2	PT3	PTC	P1	P2	P3	PC	D1	S1	Vr	Ur	Rf	综合频率表		综合命中率		
																											1	0	0.0%	SK1060		
SK1060																													1	0	0.0%	SK1060
SK1099																													1	0	0.0%	SK1099
SK1100																													1	0	0.0%	SK1100
SK1101																													1	0	0.0%	SK1101
SK1105																													2	0	0.0%	SK1105
SK1108																													1	0	0.0%	SK1108
SK1116																													1	0	0.0%	SK1116
SK1125																													1	0	0.0%	SK1125
SK1138																													1	0	0.0%	SK1138
SK1145																													1	0	0.0%	SK1145
SK1146																													1	0	0.0%	SK1146
SK1157																													2	0	0.0%	SK1157
SK1164																													1	0	0.0%	SK1164
SK1167																													1	0	0.0%	SK1167
SK1177																													1	0	0.0%	SK1177
SK1179																													1	0	0.0%	SK1179
SK1184																													4	0	0.0%	SK1184
SK1188																													1	0	0.0%	SK1188
SK1191																													19	0	0.0%	SK1191
SK1192																													0	0.0%	SK1192	
SK1196																													0	0.0%	SK1196	
SK1200	1	2	3																										7	0	0.0%	SK1200
SK1201	2	3	4																										15	0	0.0%	SK1201
SK1202	1	2	1																										16	1	6.6%	SK1202
SK1204																													2	0	0.0%	SK1204
SK1210																													2	0	0.0%	SK1210
SK1215																													1	0	0.0%	SK1215
SK1224																													1	0	0.0%	SK1224
SK1263																													4	24.50%	SK1263	
SK1264																													4	24.50%	SK1264	
SK1267																													4	0.0%	SK1267	
SK1271																													1	0	0.0%	SK1271
SK1274																													1	0	0.0%	SK1274
SK1282																													1	0	0.0%	SK1282
SK1324																													1	0	0.0%	SK1324
SK1342																													10	24.00%	SK1342	
SK1343																													5	0	0.0%	SK1343
SK1351																													1	0	0.0%	SK1351
SK1364																													1	0	0.0%	SK1364
SK1366																													1	0	0.0%	SK1366
SK1371																													1	0	0.0%	SK1371
SK1372																													1	0	0.0%	SK1372
SK1373																													1	0	0.0%	SK1373
SK1377																													1	0	0.0%	SK1377
SK1380																													1	0	0.0%	SK1380
SK1382																													1	0	0.0%	SK1382
SK1389																													1	0	0.0%	SK1389
SK1392																													1	0	0.0%	SK1392
SK1395																													1	0	0.0%	SK1395
SK1396																													1	0	0.0%	SK1396
SK1398																													1	0	0.0%	SK1398
SK1399																													1	0	0.0%	SK1399
SK1401																													1	0	0.0%	SK1401
SK1409																													8	0	0.0%	SK1409
SK1419																													2	0	0.0%	SK1419
SK1420																													19	2	5.26%	SK1420
SK1427																													7	0	0.0%	SK1427
SK1428																													7	0	0.0%	SK1428
SK1429																													4	0	0.0%	SK1429
SK1431																													4	0	0.0%	SK1431
SK1439																													1	0	0.0%	SK1439
SK1761	2																												14	1	3.75%	SK1761
SK1762	3																												21	1	8.75%	SK1762
SK1765																													24	0	0.0%	SK1765
SK1767	3																												8	0	0.0%	SK1767
SK1769																													3	0	0.0%	SK1769
SK1771	6																												17	5	25.00%	SK1771
SK1773																													1	0	0.0%	SK1773
SK1774																													1	0	0.0%	SK1774

第12表 母岩別資料一覧

層合番号	層合名	地質学的分類	分類番号	地質学的特徴	地質学的特徴	付番	備考	
R300016	砂岩	3. 未確認	SR020-SB028	未確認	30005(SB017/PT1),30006(SB017/PT1),30007(SB017/PT1)	3a		
R30022	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30020(SB016/C),30789(SB028/F)	118a	火成岩	
R30024	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30024(SB016/F),30788(SB028/F)	118b	火成岩	
R30028	砂岩	4. 30028+(SB013+30725-30726)	SR020+(SB028)+(SB028+SB028)	30028+(SB028)+(SB028+SB028)	30028(SB020/PT1),30725(SB028/F),30726(SB028/F),30843(SB028/C)	118c2	火成岩	
R30044	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30044(SB020/PT1),30045(SB020/PT1)	118a		
R30046	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30046(SB020/PT1),30050(SB020/PTC)	118a		
R30048	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30048(SB020/PT1),30210(SB020/PT1)	118a		
R30050	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30050(SB020/PT1),30212(SB020/PT1)	118a		
R30107	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30107(SB021/PT2),30108(SB021/PT2),30109(SB021/PT2)	118a		
R30110	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30110(SB021/PT1),30111(SB021/PT1)	118a		
R30133	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30133(SB022/PT1),30134(SB022/PT1)	118a		
R30145	砂岩	3. 未確認	SR020-SB028	未確認	30145(SB022/PT1),30150(SB022/PT1),30153(SB022/PT1)	118a		
R30162	砂岩	2. 30162-30828	SR020-SB028	未確認	30162(SB023/MF),30528(SB028/WP)	Qa	(火成岩)	
R30199	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30199(SB023/PT1),30210(SB023/PT1)	118a		
R30211	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30211(SB023/PT1),30213(SB023/PT1)	118a		
R30214	砂岩	3. 未確認	SR020-SB028	未確認	30214(SB023/PT2),30225(SB023/PT2),30226(SB023/PT2)	118a		
R30216	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30216(SB023/C),30222(SB023/C/F)	118a		
R30217	砂岩	3. 未確認	SR020-SB028	未確認	30217(SB023/PT3),30227(SB023/PT3)	118a		
R30226	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30226(SB023/PT3),30230(SB023/PT3),30231(SB024/PT3)	118a		
R30228	砂岩	3. 未確認	SR020-SB028	未確認	30228(SB024/PT3),30230(SB024/PT3),30231(SB024/PT3)	118a		
R30285	砂岩	2. 30285+30636	SR020-SB028	未確認	30285(SB024/PT3),30286(SB024/PT3)	Aa	(火成岩)	
R30303	砂岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30323(SB024/PT4),30334(SB024/MF)	Ob		
R30453	砂岩	4. 未確認	SR020-SB028	未確認	30453(SB025/F),30515(SB025/F),30545(SB025/F),30547(SB025/F)	118a		
R30460	泥岩	3. 未確認	SR020-SB028	未確認	30460(SB025/F),30527(SB025/F),30547(SB025/F)	118a		
R30482	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30482(SB025/PTC),31217(SB025/PTC)	118a		
R30485	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30485(SB025/PT1),30500(SB025/PT1)	118a		
R30493	泥岩	3. 30496-30493-11299	SR020+SB025+SB109	未確認	30493(SB025/PTC),30496(SB025/PT1),41299(SB109/PTC)	118a2	(火成岩)	
R30505	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30505(SB025/PT1),30506(SB025/PT1)	Di		
R30534	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30538(SB026/PT1),30633(SB026/PT2)	118a	(火成岩)	
R30555	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30645(SB026/PT1),30653(SB026/PT2)	118a		
R30613	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30655(SB026/PTC),30659(SB026/PT3)	118a		
R30665	泥岩	3. 未確認	SR020-SB028	未確認	30665(SB027/PT1),30661(SB027/C)	Ob		
R30731	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30665(SB027/PT2),31311(SB027/PT2),31312(SB027/PT2)	118a2		
R30739	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30731(SB026/C),30871(SB026/WF)	Ob		
R30745	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30739(SB026/PT1),30875(SB026/PT1),30886(SB026/PT1)	118a2		
R30752	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30745(SB026/PT1),30746(SB026/PT1)	Ob		
R30756	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30752(SB026/PT1),30753(SB026/PT1)	118a		
R30773	泥岩	2. 30773-31070	SR020+SK0966	未確認	30756(SB026/PT1),30844(SB026/PT1)	118a2		
R30799	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30779(SB028/PT1),30780(SB028/PT1)	118a	(火成岩)	
R30858	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30779(SB028/C),30800(SB028/PT1)	118a2		
R30922	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30808(SB028/PT1),30809(SB028/PT1)	118a2		
R30924	泥岩	2. 30924+30990	SR020+SB028+SK0963	未確認	30902(SB028/PT1),30923(SB028/PT1)	30924(SB028/PT1),30925(SB028/PT1)	Ch	(火成岩)
R30930	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30930(SB029/PT1),30931(SB029/PT1)	118a2		
R30961	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30951(SB030/PT1),30952(SB030/PT1)	118a2		
R30963	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30963(SB030/PT1),30964(SB030/PT1)	118a2		
R30984	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	30984(SK0933/C),31098(SK0933/M1)	118a		
R31003	泥岩	2. 31003-31009	SR020+SB028+SK0963	未確認	31003(SK0933/PT1),31009(SK0933/PT1)	118a2		
R31029	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	31030(SK0978/PT1),31031(SK0978/PT1)	118a2		
R31149	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	31149(SK118/PT1),31150(SK118/PT1),31151(SK118/PT1),31152(SK118/PT1),31153(SK118/PT1)	118a		
R31313	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	31153(SK118/PT1),31154(SK118/PT1)	118a2		
R31316	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	31316(SB028/PT1),31317(SB028/PT1),31320(SB028/PT1),31325(SB028/PT1),31326(SD028/PT1),31327(SD028/PT1)	118a2		
R31321	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	31321(SD028/PT1),31322(SD028/PT1)	Sh		
R31333	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	31333(SD028/PT1),31334(SD028/PT1)	118a		
R40027	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40027(SB028/PT1),40028(SB028/PT1)	118a2		
R40037	泥岩	2. 40037-41095	SR020+SB108	未確認	40057(SB108/PT1),41095(SB108/PT1)	40058(SB108/PT1),40069(SB108/MF)	118a	(火成岩)
R40038	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40058(SB108/PT1),40069(SB108/PT1)	118a2		
R40072	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40072(SB108/PT1),40126(SB108/PTC)	118a		
R40087	泥岩	4. 未確認	SR020-SB028	未確認	40087(SB108/PT1),40098(SB108/PT1),40099(SB108/PT1),40099(SB108/PT1)	Sh		
R40119	泥岩	2. 40119-40564	SR020+SB108	未確認	40119(SB108/PT1),40150(SB108/PT1)	118a	(火成岩)	
R40140	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40140(SB108/PT1),40142(SB108/PT1)	Sh		
R40504	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40204(SB108/C),40206(SB108/C)	Ob		
R40520	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40236(SB108/PT1),40270(SB108/PT1),40278(SB108/PT1)	118a		
R40523	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40253(SB108/PA),41011(SB108/PA)	Sd		
R40524	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40253(SB108/PT1),40335(SB108/PT1),40369(SB108/PT1)	118a		
R40526	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40268(SB108/PT1),40275(SB108/PT1)	118a		
R40528	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40268(SB108/PT1),40275(SB108/PT1)	118a		
R40571	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40357(SB108/PT1),40358(SB108/PT1)	Cr		
R40594	泥岩	2. 未確認	SR020-SB028	未確認	40364(SB108/PT1),40446(SB108/PT1)	Tn		

操作名	执行权	集成/连接	分配规则	分散规则/不连接权	权限	端口
R40567 通知内	2.长通知	未通知		40567/SR106/P73,40568/SR105/PT3	Hsa	
R40574 通知内	2.短通知	未通知		40574/SR106/P71,40476/SR110/PT1	Hsa	
R40576 通知内	3.长通知	未通知		40576/SR106/C,40568/SR106/P,40581/SR105/PT1	Hsa	
R40582 通知内	3.短通知	未通知		40582/SR106/C,40569/SR106/P,40293/SR106/PT1	Hsa	
R40589 通知内	2.长通知	未通知		40589/SR106/P,40510/SR106/P	Hsa	
R40299 通知内	2.短通知	未通知		40299/SR106/P73,40455/SR105/PT3	Ihsa	
R40433 通知内	2.长通知	未通知		40433/SR106/P73,40446/SR106/PT3	An	
R40434 通知内	2.短通知	未通知		40434/SR106/P73,40513/SR106/PT3	Ihsa	
R40444 通知内	2.长通知	未通知		40444/SR106/P71,40486/SR105/PT1	Ihsa	
R40447 通知内	2.短通知	未通知		40447/SR106/C,40486/SR106/PT1	Ihsa	权限002
R40448 通知内	3.长通知	未通知		40448/SR106/P71,41100/SR105/PT1,41237/SR109/PT1	Ihsa	权限002
R40449 通知内	3.短通知	未通知		40449/SR106/P71,40571/SR106/PT1,40537/SR106/PT1	Cs	
R40450 通知内	2.长通知	未通知		40450/SR106/P71,40514/SR106/PT1	Cs	
R40451 通知内	2.短通知	未通知		40451/SR106/P71,41101/SR106/PT1	Ihsa	
R40476 通知内	2.长通知	未通知		40476/SR106/P73,44458/SK1921/C	Ihsa	权限002
R40317 通知内	2.短通知	未通知		40317/SR106/P71,41510/SR110/PT1	Sa	权限002
R40536 通知内	5.未通知	未通知		40536/SR106/P71,40537/SR106/PT1,40509/SR106/PT2,	Ihsa	
				41026/SR106/P71,41103/SR109/PT1		
R40566 通知内	2.未通知	未通知		40566/SR106/C,40557/SR106/P	Ihsa	
R40570 通知内	2.未通知	未通知		40570/SR106/P71,40571/SR106/PT1,40534/SR105/PT1	Ihsa	
R40585 通知内	2.未通知	未通知		40585/SR106/C,40592/SR105/PT1	Ihsa	权限002
R40623 通知内	2.未通知	未通知		40623/SR106/P73,40626/SR106/PT3	Ob	
R40655 通知内	2.未通知	未通知		40655/SR106/M,41127/SR106/PT3	Sb	
R40660 通知内	2.未通知	未通知		40660/SR106/PTC,40661/SR106/PT3	Ihsa	
R40664 通知内	2.未通知	未通知		40664/SR106/P71,40679/SR106/PT1	Sa	
R40668 通知内	2.未通知	未通知		40668/SR106/P71,40699/SR106/PT1	Ihsa	
R40273 通知内	3.44045-(40763-40780)	SK1672-(SB106+SB105)		40273/SR106/P,40780/SR106/PT1,44045/SK1672/P	Ihsa	权限003
R40716 通知内	2.未通知	未通知		40716/SR106/M,40728/SR106/PT3	Ot	
R40785 通知内	2.未通知	未通知		40785/SR106/C,41388/SK1842/C,41542/P73/PT3	Hsa	
R40803 通知内	2.未通知	未通知		40803/SR106/P71,40797/SR106/PT1	Ihsa	
R40900 通知内	2.未通知	未通知		40900/SR106/P71,40901/SR106/PT1	Ihsa	
R40948 通知内	2.未通知	未通知		40948/SR106/P,40994/SR106/PT1	Sa	
R40953 通知内	2.未通知	未通知		40953/SR106/P71,41150/SB105/PT1	Hsa	
R40976 通知内	2.未通知	未通知		40976/SR106/PTC,41007/SR106/PT1	Hsa	
R40961 武威盐	2.40981+44608	SB105-SK1974		40981/SR106/C,41693/SK1974/P	Hsa	权限003
R40955 武威盐	2.40988+44071	SB106-SK1680		40955/SR106/P71,41071/SK106/PT1	Sa	权限003
R40958 读情况	2.未通知	未通知		40958/SR106/C,41003/SR106/P	Hsa	
R41006 读情况	2.未通知	未通知		41006/SR106/C,45482/TK/PT1	Hsa	
R41044 读情况	2.未通知	未通知		41044/SR106/C,41015/SR106/C	Ob	
R41099 读情况	2.未通知	未通知		41099/SR106/P72,41053/SR106/PT2	Ob	
R41055 通知内	2.未通知	未通知		41055/SR106/P73,41056/SR106/PT3	Hsa	
R41063 通知内	2.41003+44405	SB105-SK1934		41063/SR106/P71,44405/SK1034/PT1	Hsa	权限003
R41071 通知内	2.未通知	未通知		41071/SR106/P73,41072/SR105/PT3	Hsa	
R41109 通知内	2.未通知	未通知		41109/SR106/P73,41161/SR105/PT1	Hsa	
R41126 通知内	2.未通知	未通知		41126/SR106/P71,41132/SR105/PT1	Sb	
R41128 通知内	2.未通知	未通知		41128/SR106/P71,41142/SR106/P	Ihsa	
R41160 嘉峪关	2.41160+44221	SB106-SK1764		41160/SR106/P73,44221/SK1764/PT1	Hsa	权限003
R41185 通知内	2.未通知	未通知		41185/SR106/P71,41186/SB105/PT1	Hsa	
R41200 通知内	2.未通知	未通知		41198/SR106/P71,41201/SB105/PT1	Hsa	
R41214 通知内	2.未通知	未通知		41218/SR106/P71,41230/SB105/PT1,41284/SR106/PT1	Hsa	
R41229 通知内	2.未通知	未通知		41229/SR106/P73,41235/SB105/PT3	Hsa	
R41238 平凉煤场	2.未通知	未通知		41238/SR106/P73,41538/SK1037/G/PT3	Hsa	
R41239 通知内	4.41239-44426-(44438-44427)	SB109-SK1897-(SK1613+SK1897)		41239/SR106/P73,41434/SK1813/PT3,44126/SK1897/PT3,44427/SK1897/PT3	An	权限003
R41275 通知内	3.未通知	未通知		41275/SR106/P73,41293/SR106/PT3	Hsa	
R41304 通知内	2.未通知	未通知		41304/SR106/P71,41309/SR110/PT1	Ob	
R41367 通知内	2.未通知	未通知		41367/SR106/P71,41408/SR110/FA	Sb	
R41377 通知内	2.未通知	未通知		41377/SR106/P71,41387/SR110/PT1	Ihsa	
R41386 平凉西固	2.未通知	未通知		41386/SR106/P73,42507/SR112/PT3	Ihsa	
R41399 通知内	2.未通知	未通知		41399/SR106/P71,41418/SR110/FA	Sb	
R41407 通知内	2.未通知	未通知		41407/SR106/P71,41409/SR110/PT3,41438/SR110/PT3	Hsa	
R41430 通知内	2.未通知	未通知		41430/SR106/P71,41435/TK/PT1	Sa	
R41453 读内销	2.未通知	未通知		41453/SR106/C,41155/SB103/PT3	Ob	
R41492 通知内	2.41492+43827	SB110-SU118		41492/SR106/P73,41582/TB118/M/PT3	Hsa	权限003
R41504 通知内	2.未通知	未通知		41504/SR106/P73,41569/SR110/Y/PT3	Ob	
R41583 嘉峪关	2.未通知	未通知		41583/SR106/P71,42181/SR110/PT3	Ihsa	
R41585 读内销	3.41043+41585-43334	SB110-SU110-SU118		41585/SR106/P71,41642/SR110/PT1,43334/SR110/PT1	Sa	权限003
R41599 通知内	2.未通知	未通知		41599/SR106/P73,41613/SR110/PT3	Sb	
R41604 读内销	2.未通知	未通知		41604/SR106/P71,41613/SR110/PT1	Ihsa	
R41605 读内销	2.41605+44766	SB110-SK2058		41605/SR106/P73,44766/SK2058/PTC	Hsa	权限004
R41644 通知内	2.未通知	未通知		41645/SR106/P71,41546/SK110/PT1	Sb	
R41681 读内销	2.未通知	未通知		41681/SR106/M,41810/SR110/MP	Ob	
R41713 读内销	2.未通知	未通知		41713/SR106/P73,41295/SR110/MP	Sb	
R41727 读内销	2.未通知	未通知		41727/SR106/P73,41777/SR110/PTC	Ihsa	
R41734 读内销	2.未通知	未通知		41734/SR106/P71,41726/SR110/PTC	Ihsa	
R41762 读内销	2.未通知	未通知		41762/SR106/P71,41707/SR110/PTC	Hsa	
R41771 读内销	2.未通知	未通知		41771/SR106/P71,42573/SR112/PTC	Hsa	
R41800 读内销	3.未通知	未通知		41800/SR106/P73,41605/SK110/PTC,42027/SR111/PTC	Hsa	
R41850 读内销	2.未通知	未通知		41850/SR106/M,42316/SR110/D/PT3	Ob	

卷首语	版次	页数	第几章	分册顺序	分册章节标题	生成ID(通过1-7位)	材料
R41863 基础法律	4	41876-(41963-44601+45-468)	SB111->SB110+SK1966+TK.SB112(M)4	41863(SB110/P)(3),41876(SB111/P),44601(SK1966/PT1),45/468(TK/PTC)	HSA		
R41867 基础制度	2	未标注	未标注	SB111->SK1875	41867(SB110/P)(3),45/467(TK/PT1)	HSA	
R41921 通读内	4	41921-44423	未标注	未标注	41921(SB111/P)(C),44423(SB118/P)(C)	HSA	
R41930 通读内	2	未标注	未标注	未标注	41930(SB111/0),42133(SB111/0)	HSA	
R41937 通读内	2	未标注	未标注	未标注	41937(SB111/P),42139(SB111/C)	HSA	
R41938 不明	2	未标注	未标注	未标注	41938(SB111/P)(3),45/468(TK/PT)	HSA	
R42001 通读内	5	未标注	未标注	未标注	42001(SB111/P)(3),42030(SB111/P)(3),42030(SB111/PT1),42049(SB111/P)(3)	HSA	
R42015 贾勇内	2	未标注	未标注	未标注	42015(SB111/P)(3),42149(SB111/PT)	HSA	
R42039 贾勇内	2	未标注	未标注	未标注	42039(SB111/P)(3),42040(SB111/0)	HSA	
R42064 基础阅读	3	未标注	未标注	未标注	42064(SB111/P)(3),42441(SB111/0),42451(SU112/PTC)	HSA	
R42089 基础阅读	2	未标注	未标注	未标注	42089(SB111/P)(3),42453(SB111/PTC)	HSA	
R42094 通读内	2	未标注	未标注	未标注	42089(SB111/P)(3),42130(SB111/P)(3),42131(SB111/PT)	Sa	
R42096 通读内	3	未标注	未标注	未标注	42096(SB111/P)(3),42087(SB111/P)(3),42098(SB111/PT)	Tu	
R42099 通读内	2	未标注	未标注	未标注	42099(SB111/M)(P),42130(SB111/M)	HSA	
R42148 通读内	2	未标注	未标注	未标注	42148(SB112/M)(P),42300(SB112/M)	Ob	
R42221 通读内	2	未标注	未标注	未标注	42221(SB112/P),42469(SB112/T)	HSA	
R42250 通读内	2	未标注	未标注	未标注	42250(SB112/P)(3),42826(SB112/P)(3)	HSA	
R42255 通读内	5	未标注	未标注	未标注	42255(SR112/P)(3),42824(SB112/0),42351(SB112/0),42506(SB112/C),42602(SB112/C)	HSA	
R42257 通读内	3	未标注	未标注	未标注	42257(SB112/P)(3),42260(SB112/P)(3),42616(SB112/PT)	IHS	
R42372 看树内	3	未标注	未标注	未标注	42372(SB112/P)(3),42164(SB112/PT),42273(SB112/PT)	IHS	
R42408 看树内	2	未标注	未标注	未标注	42408(SB112/P)(3),42159(SB112/P)(3)	HSA	
R42482 看树内	2	未标注	未标注	未标注	42482(SB112/P)(3),42261(SB112/P)(3)	IHS	
R42487 看树内	4	未标注	未标注	未标注	42487(SB112/P)(3),42488(SB112/P)(3),42489(SB112/PT)	IHS	
R42490 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	42610(SB112/PT)	IHS	
R42494 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	42494(SB112/P)(3),42456(SK112/PT),45/473(TK/PT)	Sh	
R42574 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42574(SB112/P)(3),42575(SR112/PT)	Sa	
R42591 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	42591(SB112/P)(3),42504(SR112/PT),42705(SR112/PT)	IHS	
R42598 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	42598(SB112/P)(3),45/465(TK/PT),45/472(TK/PT)	IHS	
R42633 看树内	2	42033+44851	SB112->SK1938	42633(SB112/P)(3),45/461(SK1938/PT)	He		
R42683 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42683(SD112/P)(3),42709(SR112/PT)	Sh	
R42694 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42694(SD112/P)(3),42887(SR112/PT)	Sh	
R42694 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42694(SD112/P)(3),42887(SR112/PT)	IHS	
R42739 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42739(SB112/P)(3),42740(SR112/M)	Sc	
R42762 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42762(SB112/P)(3),42763(SR112/PT)	IHS	
R42788 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42788(SB112/P)(3),42789(SR112/PT)	IHS	
R42795 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	42795(SB112/C),42930(SB112/M),42966(SR112/PT)	Ob	
R42824 逐句内	5	未标注	未标注	未标注	42824(SB112/P)(3),42825(SB112/PT),42830(SB112/PT)	HSA	
R42828 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42831(SB112/P)(3),42931(SB112/PT)	IHS	
R42840 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42929(SB112/P)(3),42929(SB112/PT)	IHS	
R42863 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42949(SB112/M)(P),42953(SB112/M)	Ob	
R42912 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42912(SB112/P)(3),42913(SB112/PA)	Sh	
R42925 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42925(SB112/P)(3),42926(SD113/PA)	Ch	
R42980 逐句内	2	42980+441737	SB113->SK2052	42980(SB113/P)(3),44775(SB2052/PT)	Sa		
R42990 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	42990(SB114/F),42065(SB114/I)	HSA	
R43005 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43005(SB114/I),42066(SB114/I)	Sh	
R43018 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43018(SB114/P)(3),42865(SB114/PT)	HSA	
R43052 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	43020(SB114/0),43075(SB114/PA),43085(SB114/C)	HSA	
R43069 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43069(SB114/P)(3),43070(SB114/I)	IHS	
R43120 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43120(SB115/P)(3),43123(SB115/PT)	IHS	
R43143 逐句内	2	43143+45111	SB115->SK2241	43143(SB115/C),45111(SK2241/C)	Ch		
R43121 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43212(SB115/P)(3),43233(SB115/PT)	Tu	
R43213 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43233(SB115/P)(3),43241(SB115/C)	IHS	
R43223 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	43236(SB115/I),43267(SB115/PT),43295(SB115/PT)	IHS	
R43253 逐句内	3	未标注	未标注	未标注	43253(SB115/P)(3),43254(SB115/PT),43233(SB115/PT)	IHS	
R43265 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43266(SB115/P)(3),43266(SB115/PT)	IHS	
R43314 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43314(SB115/P)(3),43358(SB115/C)	IHS	
R43325 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43325(SB115/P)(3),43508(SB115/PT)	IHS	
R43335 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43335(SB115/B)(3),43576(SB115/B)	IHS	
R43344 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43344(SB115/C),43736(SB115/C)	HSA	
R43367 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43367(SB115/I),43584(SB115/C)	HSA	
R43371 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43371(SB115/P)(3),42789(SB115/B)	Sh	
R43416 逐句内	3	43416+447304	SK2172->SB116+SB118	43416(SB115/P)(3),43764(SB115/PT),43964(SK2172/PT)	英汉对照		
R43466 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43466(SB116/P)(3),43483(SB116/PT),43500(SB116/PT)	Ob	
R43479 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43479(SB116/P)(3),43549(SB116/PT)	HSA	
R43488 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43488(SB116/P)(3),43795(SB116/PT)	HSA	
R43490 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43490(SB116/I)(3),43511(SB116/I)	HSA	
R43558 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43568(SB116/I),43737(SB116/I)	HSA	
R43659 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43660(SB116/I),43635(SB116/I)	Sh	
R43679 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43670(SB116/M),43685(SB116/M)	IHS	
R43811 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43811(SB116/B)(3),43925(SB116/B)	Ob	
R43844 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43844(SB116/C),43732(SB116/C)	IHS	
R43845 逐句内	2	未标注	未标注	未标注	43845(SB116/D)(3),43924(SB116/D)	IHS	

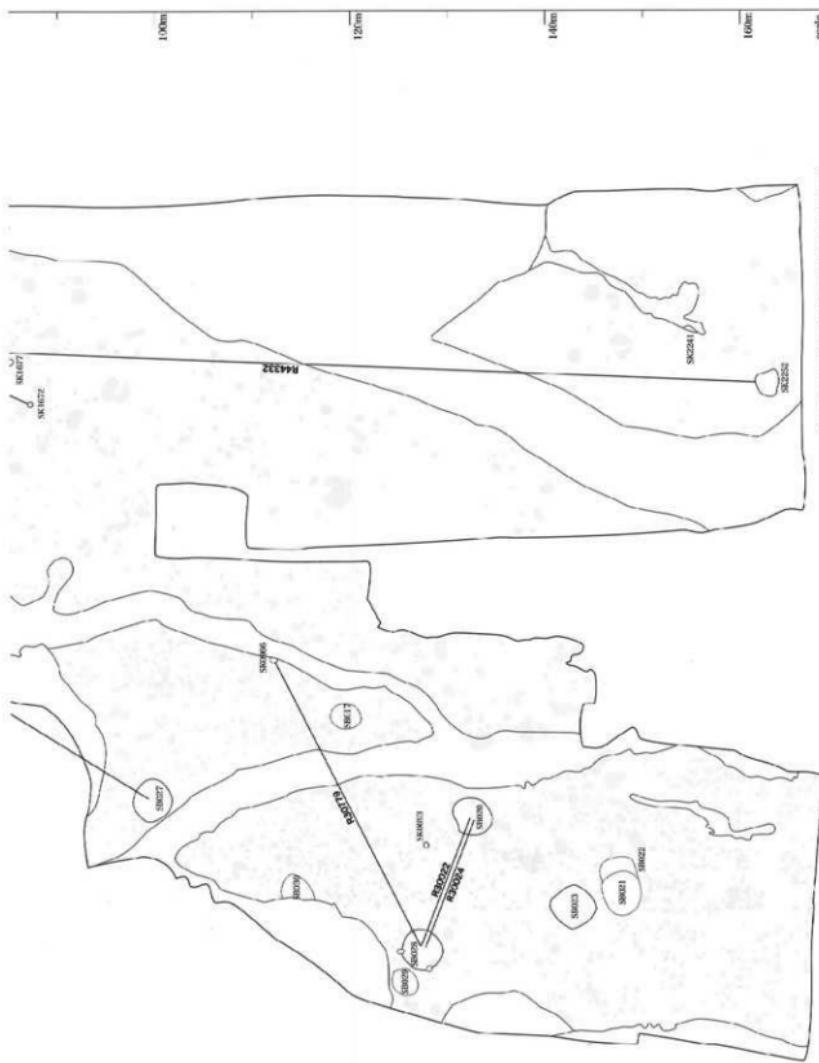
组合台号	板合性 或倒合性	分西侧子	分离加压集版	倒置加压集版(通透1/倒置)	开孔	前考
R45852	玻璃内	木框器	木框器	43852/SK119/PT3,43852/SK119/PT3,43852/SK119/PT3, 43855/SK119/PT3,43856/SK119/PT3,43862/SK119/PT3,	Ob	
R45996	玻璃内	木框器	木框器	43866/SK119/PT3,43997/SK119/PT3		Hs ^a
R45901	玻璃内	木框器	木框器	43901/SK119/PT3,43941/SK119/PT3		Hs ^a
R45908	玻璃内	木框器	木框器	43909/SK119/PT3,43909/SK119/PT3		Hs ^a
R45912	玻璃内	木框器	木框器	43912/SK119/PT3,43921/SK119/PT3		Sa
R45947	玻璃内	木框器	木框器	43947/SK116/PT1,43948/SK116/PT1		Hs ^a
R45962	玻璃内	木框器	木框器	43962/SK116/PT1,43963/SK116/PT1		Hs ^a
R44008	玻璃内	木框器	木框器	44006/SK116/PT1,44007/SK116/PT1		Sa
R44054	玻璃内	2木框器	2木框器	44054/SK167/PT2,44185/SK171/PT2		Hs ^a
R44057	玻璃内	2木框器	2木框器	44057/SK167/PT2,44058/SK167/PT2		Hs ^a
R44131	玻璃内	2木框器	2木框器	44131/SK170/PT1,44143/SK170/PT1		Hs ^a
R44178	玻璃内	3木框器	3木框器	44178/SK171/PT0,44179/SK171/PT0,44228/SK172/PT0		Hs ^a
R44250	玻璃内	2木框器	2木框器	44250/SK176/PT0,44251/SK176/PT0		Hs ^a
R44261	玻璃内	3木框器	3木框器	44261/SK177/PT1,44264/SK177/PT1,44265/SK177/PT1		Hs ^a
R44262	玻璃内	2木框器	2木框器	44262/SK177/PT1,44263/SK177/PT1		Hs ^a
R44269	玻璃内	2木框器	2木框器	44269/SK178/PT1,44270/SK178/PT1		Hs ^a
R44317	玻璃内	5木框器	5木框器	44317/SK179/PT2,44318/SK179/PT2,44319/SK179/PT2, 44323/SK179/PT2,44324/SK179/PT2		Sa
R44332	玻璃内	244332-45714	SK1799-SK2252	44332/SK1799/PT1,45714/SK2252/PT1		Hs ^a
R44363	玻璃内	3木框器	木框器	44363/SK1843/PT1,44368/SK1843/PT1,44376/SK1843/PT1		Hs ^a
R44364	玻璃内	2木框器	木框器	44364/SK1843/PT2,44365/SK1843/PT2		Sa
R44366	玻璃内	4木框器	木框器	44366/SK1843/PT3,44367/SK1843/PT3,44369/SK1843/PT3		Hs ^a
R44379	玻璃内	2木框器	木框器	44379/SK1843/PT3,44380/SK1843/PT3		Hs ^a
R44381	玻璃内	244381-144648	SK1843-SK1999	44381/SK1843/PT1,44382/SK1843/PT1,44385/SK1999/PT3		Hs ^a
R44392	玻璃内	2木框器	木框器	44392/SK1843/PT1,44395/SK1843/PT1		Hs ^a
R44419	玻璃内	244419-44429	SK1870-SK1997	44419/SK1870/PT1,44429/SK1897/PT3		An 多向凹
R44428	单透玻璃	2木框器	木框器	44428/SK1897/PT1,45474/PT1,45476/PT1		An
R44470	玻璃内	24470-44583	SK1924-SK1958	44470/SK1924/PT1,44583/SK1958/PT1		An 多向凹
R44560	玻璃内	2木框器	木框器	44560/SK1929/PT2,44561/SK1939/PT2		Si
R44581	玻璃内	(44017-44647)-(44511- 44636)-(44513-44646)- 16329-(14633+4610); 44622+44623+44628+ 44631+44632+44637+ (44621+44631)+44631+ (44630+44631)	SK1989-SK1958	44581/SK1958/PT0,44617/SK1989/PT1,44618/SK1989/PT3, 44621/SK1989/PT3,44622/SK1989/PT3,44623/SK1989/PT3, 44625/SK1989/PT3,44627/SK1989/PT3,44628/SK1989/PT3, 44629/SK1989/PT3,44630/SK1989/PT3,44631/SK1989/PT3, 44632/SK1989/PT3,44634/SK1989/PT3,44635/SK1989/PT3, 44636/SK1989/PT3,44643/SK1990/PT3,44645/SK1990/PT3, 44646/SK1990/PT3,44647/SK1990/PT3		Hs ^a
R44605	玻璃内	2木框器	木框器	44605/SK1967/PT1,44606/SK1967/PT1		Hs ^a
R44633	玻璃内	3木框器	木框器	44633/SK1989/PT2,44637/SK1989/PT2,44638/SK1989/PT2		Hs ^a
R44654	玻璃内	2木框器	木框器	44654/SK1984/PT1,44659/SK1994/PT1		Hs ^a
R44655	玻璃内	2木框器	木框器	44655/SK1994/C,44656/SK1994/C		Hs ^a
R44658	玻璃内	2木框器	木框器	44658/SK1994/PT3,44659/SK1994/PT3		Hs ^a
R44659	玻璃内	2木框器	木框器	44659/SK1994/PT1,44659/SK1994/PT1		Hs ^a
R44670	玻璃内	2大框器	木框器	44670/SK1996/PT1,44671/SK1996/PT1		Hs ^a
R44676	玻璃内	3木框器	木框器	44676/SK1998/PT1,44677/SK1998/PT1,44678/SK1998/PT1		Si
R44679	玻璃内	5大框器	木框器	44679/SK1998/PT3,44680/SK1998/PT3,44685/SK1998/PT3, 44686/SK1998/PT3,44688/SK1998/PT3		Hs ^a
R44682	玻璃内	3大框器	木框器	44682/SK1998/PT1,44687/SK1998/PT1,44688/SK1998/PT3		Hs ^a
R44683	玻璃内	2大框器	木框器	44683/SK1998/PT3,44684/SK1998/PT3		Si
R44730	玻璃内	2大框器	木框器	44730/SK2030/PT1,44731/SK2030/PT1		Ob
R44739	玻璃内	2木框器	木框器	44739/SK2031/PT1,44742/SK2031/PT1		Ob
R44772	玻璃内	3木框器	木框器	44772/SK2058/PT1,44773/SK2058/PT1,44774/SK2058/PT1		Hs ^a
R44866	玻璃内	2木框器	木框器	44866/SK2110/PT0,44867/SK2110/PT0		Hs ^a
R44888	玻璃内	2木框器	木框器	44888/SK2121/PT0,44889/SK2121/PT0		Ob
R45001	玻璃内	44900A+4570-45504+45971	SK2144+SK2197+SK2198+SK2197	44904/SK2114/C,44954/SK2116/C,45070/SK2197/C, 45071/SK2197/C		Si
R44909	玻璃内	2木框器	木框器	44909/SK2144/F,44910/SK2144/F		Si
R44922	玻璃内	2木框器	木框器	44922/SK2158/F,44925/SK2158/F		Hs ^a
R44966	玻璃内	2木框器	木框器	44966/SK2175/PT0,44967/SK2175/PT0		Hs ^a
R44984	玻璃内	2木框器	木框器	44984/SK2177/PT0,44985/SK2177/PT0		Hs ^a
R45002	玻璃内	2木框器	木框器	45005/SK2182/PT0,45006/SK2182/PT0		Si
R45142	玻璃内	2木框器	木框器	45142/SK2252/C,45158/SK2252/C		Ob
R45153	玻璃内	2木框器	木框器	45153/SK2252/R,45154/SK2252/R		Hs ^a
R45224	玻璃内	2木框器	木框器	45224/SK2252/PT1,45225/SK2252/PT1		Sa
R45276	玻璃内	2木框器	木框器	45276/SK1949/F,45278/SK1949/C		Sa
R45347	玻璃内	2木框器	木框器	45347/TG1/PT1,45348/TG1/PT1		Hs ^a
R45372	单透玻璃	2木框器	木框器	45372/TG1/PT1,45397/TG1/PT1		Ob
R45395	玻璃内	2木框器	木框器	45396/TG1/PT1,45420/TG1/PT1		Hs ^a
R45425	玻璃内	2木框器	木框器	45435/TG1/PT1,45437/TG1/PT1		Hs ^a
R45440	玻璃内	2木框器	木框器	45440/TG1/PT1,45451/TG1/PT1		Hs ^a
R45460	玻璃内	2木框器	木框器	45460/TG1/PT1,45461/TG1/PT1		Ob
R45478	玻璃内	2木框器	木框器	45478/TG1/PT1,45479/TG1/PT1		Gr
R45492	玻璃内	2木框器	木框器	45492/TG1/PT1,45494/TG1/PT1		Sh
R45493	不明	3木框器	木框器	45493/TG1/PT1,45513/TG1/PT1,45514/TG1/PT1		Hs ^a
R45572	玻璃内	2木框器	木框器	45572/TG1/PT1,45573/TG1/PT1		Tu
R45625	玻璃内	2木框器	木框器	45625/TG1/PT1,45629/TG1/PT1		Ob
R45705	玻璃内	2木框器	木框器	45705/SK2068/PT1,45706/SK2068/PT1		Tu

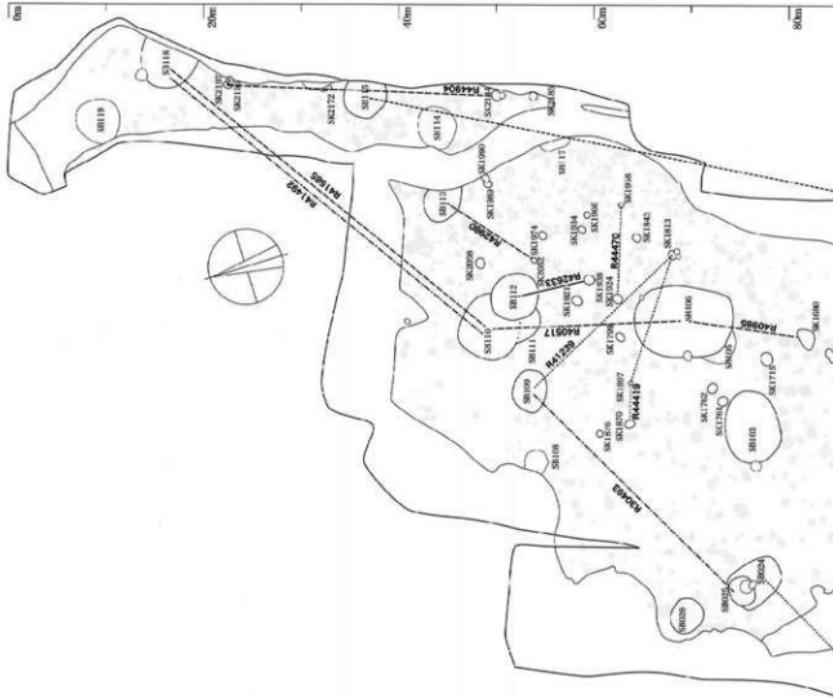
第33表 退耕間接資料分布選擇一覽

項目	地點代號	座標代號	座標半徑	面積(公頃)	面積半徑	面積半徑合計資料數	面積面積合計資料數	面積面積合計
SH0234	66		10.0%	3	4.5%	SH0230		
SH0234	118	18	10.0%	1	0.0%	SH0233		
SH0234	197	5	2.0%	1	0.0%	SH0234		
SH0235	58	14	24.1%	2	3.4%	SH0235		
SH0235	56	56	8.0%	1	1.6%	SH0236		
SH0277	104	10	0.0%	2	1.0%	SH0277		
SH0284	268	35	13.1%	7	2.6%	SH0288		
SH0286ad	11	27	23.1%	1	0.1%	SH0286ad		
SH0303	159	14	8.0%	2	1.2%	SH0103		
SH0305	105	117	12.1%	15	2.4%	SH0106		
SH0309	131	18	13.7%	3	2.2%	SH0109		
SH0311	271	45	7.0%	6	1.1%	SH0110		
SH0311	273	29	10.0%	2	0.7%	SH0111		
SH0312	725	70	9.7%	1	0.1%	SH0112		
SH0313	127	7	5.0%	1	0.0%	SH0113		
SH0315	205	15	7.3%	1	0.0%	SH0115		
SH0316	329	31	5.0%	4	0.8%	SH0116		
SH03093	16	3	18.8%	1	6.2%	SH0093		
SH03095	1	1	12.5%	1	12.5%	SH0096		
SK072	6	1	16.7%	1	16.7%	SK072		
SK0727	5	1	20.0%	1	20.0%	SK0727		
SK0760	13	1	7.7%	1	7.7%	SK0760		
SK0715	29	3	15.0%	3	15.0%	SK0715		
SK0761	14	1	7.1%	1	7.1%	SK0761		
SK0762	15	1	6.7%	1	6.7%	SK0762		
SK0799	10	1	10.0%	1	10.0%	SK0799		
SK0813	6	1	16.7%	1	16.7%	SK0813		
SK0843	21	13	61.0%	2	37.5%	SK0843		
SK0870	5	1	20.0%	1	20.0%	SK0870		
SK0876	3	1	33.3%	1	33.3%	SK0876		
SK0807	4	4	100.0%	3	75.0%	SK0807		
SK0921	9	1	11.1%	1	11.1%	SK0921		
SK0924	14	1	7.1%	1	7.1%	SK0924		
SK0934	14	1	7.1%	1	7.1%	SK0934		
SK0934	13	1	7.7%	1	7.7%	SK0934		
SK0938	27	1	3.7%	1	3.7%	SK0938		
SK0958	11	2	18.2%	2	18.2%	SK0958		
SK0965	2	1	50.0%	1	50.0%	SK0966		
SK0974	6	1	16.7%	1	16.7%	SK0974		
SK0989	24	18	75.0%	15	62.5%	SK0989		
SK0990	10	5	50.0%	5	50.0%	SK0990		
SK0992	3	1	33.3%	1	33.3%	SK0992		
SK0993	24	4	16.7%	1	4.17%	SK0993		
SK0994	92	3	13.0%	1	3.48%	SK0994		
SK0997	33	2	6.1%	2	6.1%	SK0997		
SK0995	2	1	50.0%	1	50.0%	SK0995		
SK0997	17	2	11.5%	2	1.15%	SK0997		
SK0998	3	1	33.3%	1	33.3%	SK0998		
SK0999	97	7	7.2%	1	1.4%	SK0999		
TK	225	225	12.4%	2	0.5%	TK		
計	77890	704	0.0%	113	1.0%	計		
總計	77890	704	0.0%	113	1.0%	總計		

scale
1/500

第54図 遊構間接合資料分布図(HSa)



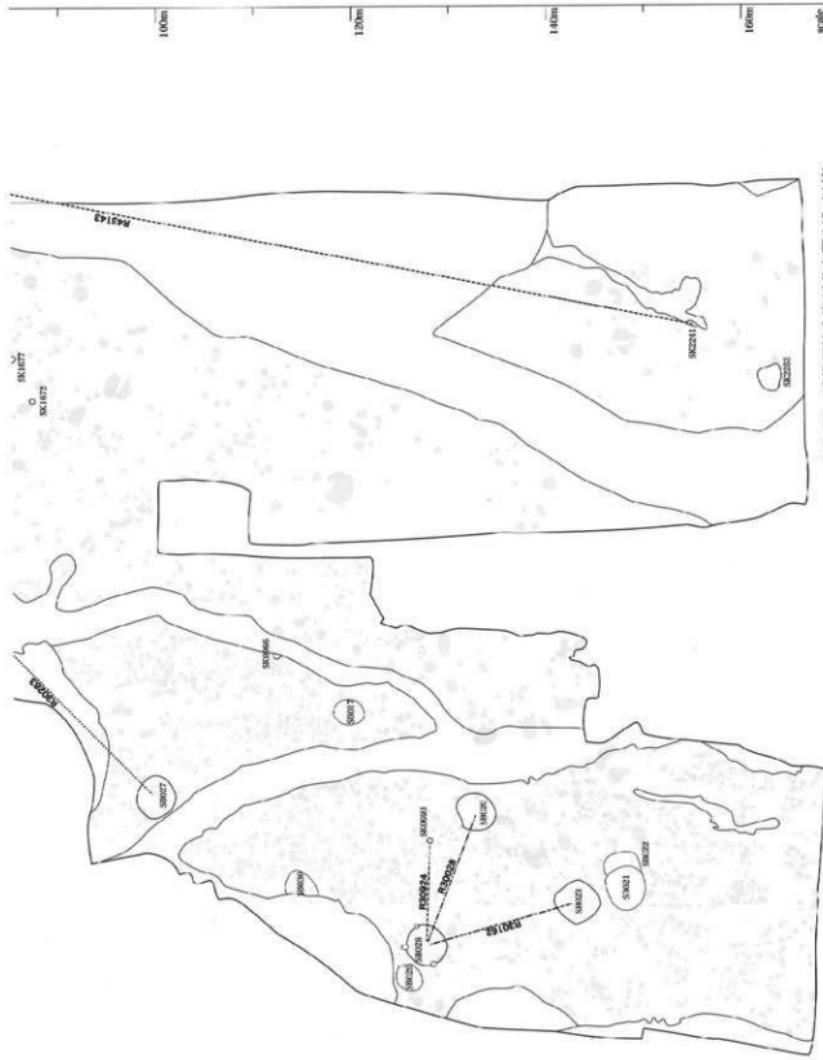


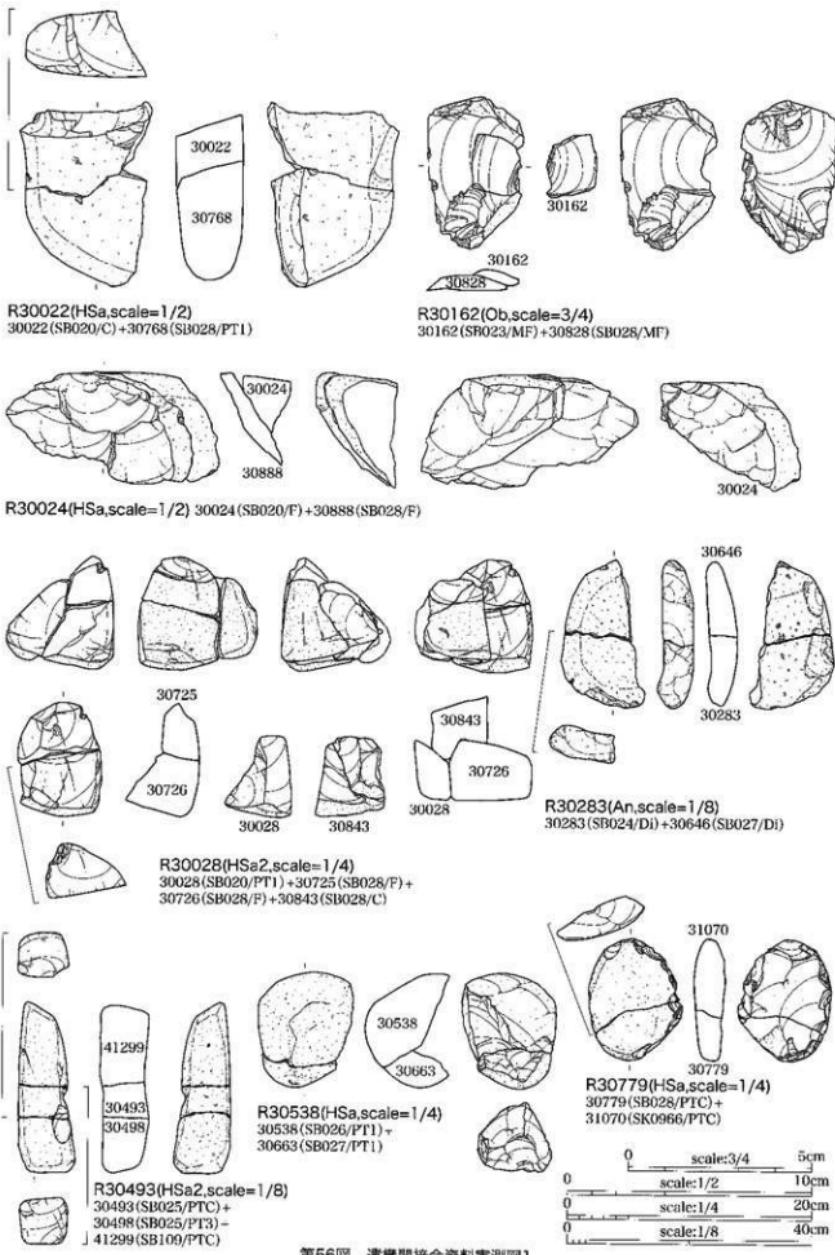
第11表(再掲) 遺跡間接合資料分布遺跡一覧

測量点	地質剖面	組合	遺跡間接合資料分析	遺跡間接合資料分析
SKR020	66	7	10.6%	3
SKR023	1.18	18	15.3%	1
SKR024	197	5	2.5%	1
SKR025	58	14	24.1%	2
SKR026	56	5	8.0%	1
SKR027	104	10	9.6%	2
SKR028	268	26	13.1%	7
SKR029M	11	3	27.3%	1
SKR033	150	14	8.8%	2
SKR036	965	117	12.1%	15
SKR039	131	18	15.7%	3
SKR110	571	45	7.0%	6
SKR111	273	20	16.0%	2
SKR112	725	70	9.7%	1
SKR113	127	7	5.5%	1
SKR115	205	15	7.3%	1
SKR118	529	51	5.0%	4
SKR040	16	3	16.8%	1
SKR046	8	1	12.5%	1
SKR052	6	1	16.7%	1
SKR077	5	1	26.0%	1
SKR080	13	1	7.7%	1
SKR115	20	3	15.0%	3
SKR161	14	1	7.1%	1
SKR162	15	1	6.7%	1
SKR170	10	1	16.0%	1
SKR183	6	1	16.7%	1
SKR184	27	13	51.0%	2
SKR187	5	1	20.0%	1
SKR1875	3	1	33.3%	1
SKR188	4	4	100.0%	3
SKR1921	9	1	11.1%	1
SKR1924	14	1	7.1%	1
SKR1934	13	1	7.7%	1
SKR1938	27	1	3.7%	1
SKR1958	11	2	18.2%	2
SKR1960	2	1	50.0%	1
SKR1974	6	1	16.7%	1
SKR1989	24	18	75.0%	15
SKR1990	10	5	50.0%	5
SKR1992	3	1	8.3%	1
SKR1996	24	4	16.7%	1
SKR1998	22	3	13.0%	1
SKR2172	23	2	6.1%	2
SKR2185	2	1	50.0%	1
SKR2196	8	1	12.5%	1
SKR1997	17	2	11.8%	2
SKR2241	3	1	33.3%	1
SKR2242	97	7	7.2%	1
TK	325	26	12.4%	2
H	7040	9.9%		11.2
R	總計	綜合資料	合計	遺跡組合件資料

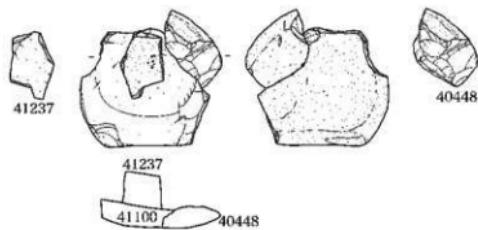
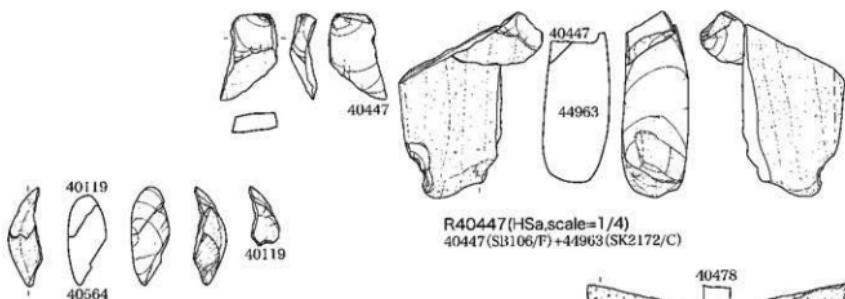
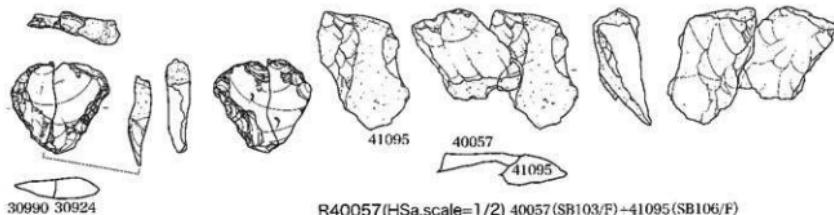
第55圖 遷構間接合資料分布圖(HSa以外)

scale
1/500

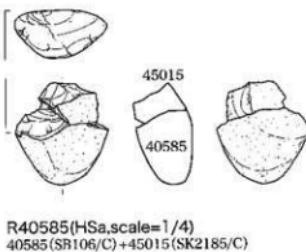




第56図 遺構間接合資料実測図1

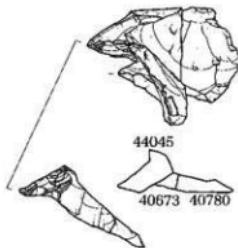


R40478(HSa,scale=1/4)
40478(SB106/PTC)-44452(SK1921/C)



0 scale:1/2 10cm
0 scale:1/4 20cm

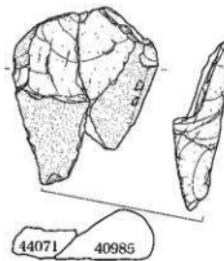
第57図 遺構間接合資料実測図2



R40673(HSa,scale=1/4)
40673(SB106/F)+40780(SB106/F)+44045(SK1672/F)



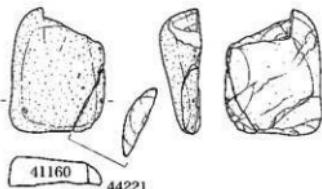
R40981(HSa,scale=1/4)
40981(SB106/C)+44608(SK1974/F)



R40985(Sa,scale=1/4)
40985(SB106/PT1)+44071(SK1680/PT1)



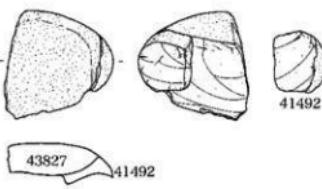
R41063(HSa,scale=1/4)
41063(SB106/C)+44495(SK1934/PT1)



R41160(HSa,scale=1/4)
41160(SB106/PTC)+44221(SK1761/PT1)



R41239(An,scale=1/4)
41239(SB109/PT1)+
44348(SK1813/PT3)+
44426(SK1897/PT3)+
44427(SK1897/PT3)



R41492(HSa,scale=1/4)
41492(SB110/F)+43827(SB118/MF)

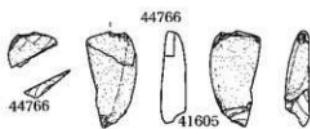


R41585(Sa,scale=1/4)
41585(SB110/PT1)+41642(SB110/PT1)+
43334(SB118/PTC)

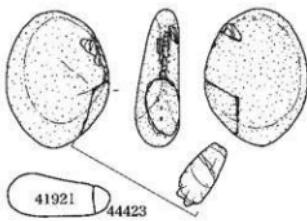
0 scale:1/4

20cm

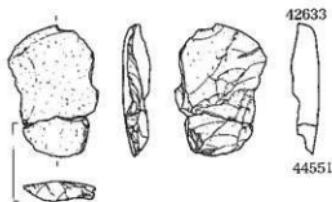
第58図 遺構間接合資料実測図3



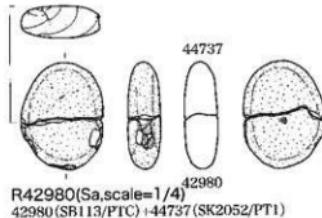
R41605(HSa,scale=1/2)
41605(SB110/PTC)+44766(SK2058/PTC)



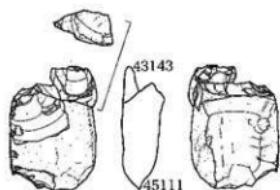
R41921(HSa,scale=1/4)
41921(SB111/PTC)+44423(SK1876/PTC)



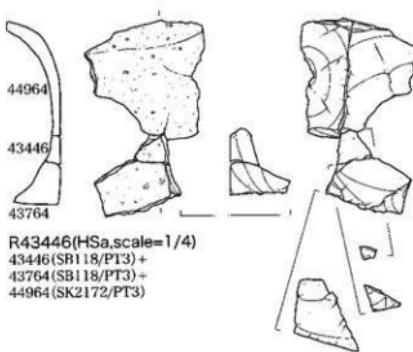
R42633(Ho,scale=1/4)
42633(SB112/PT1)+44551(SK1938/PT1)



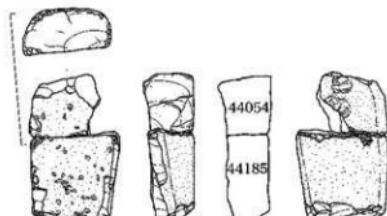
R42980(Sa,scale=1/4)
42980(SB113/PTC)+44737(SK2052/PT1)



R43143(Ch,scale=1/4)
43143(SB115/C)+45111(SK2241/C)



R43446(HSa,scale=1/4)
43446(SB118/PT3)+
43764(SB118/PT3)+
44964(SK2172/PT3)



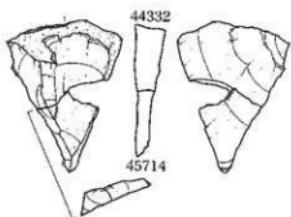
R44054(HSa,scale=1/4)
44054(SK1677/PTC)+44185(SK1715/PTC)



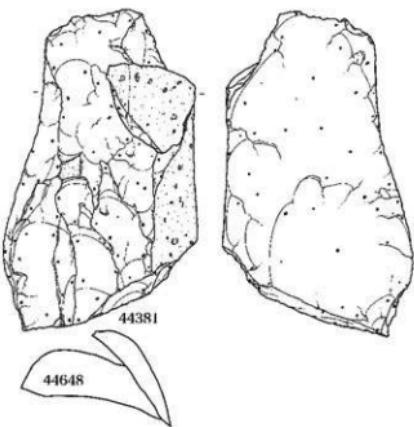
R44178(HSa,scale=1/4)
44178(SK1715/PTC)+44179(SK1715/PT3)+44238(SK1762/PT3)

0 scale:1/2 10cm
0 scale:1/4 20cm

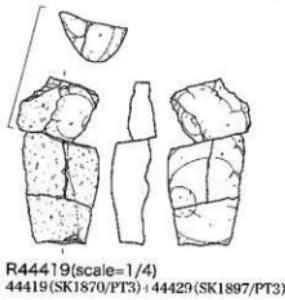
第59図 遺構間接合資料実測図4



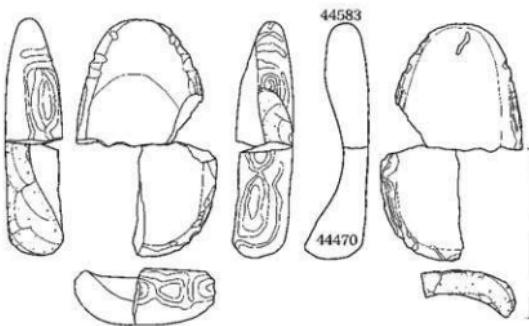
R44332(HSa,scale=1/2)
44332(SK1799/PT1)+45714(SK2252/PT1)



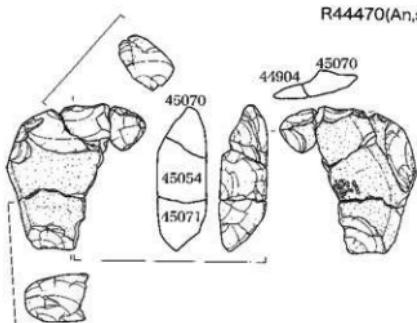
R44381(HSa,scale=1/4) 44381(SK1843/PT3)+44648(SK1990/PT3)



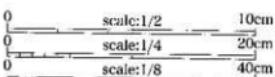
R44419(scale=1/4)
44419(SK1870/PT3)+44429(SK1897/PT3)



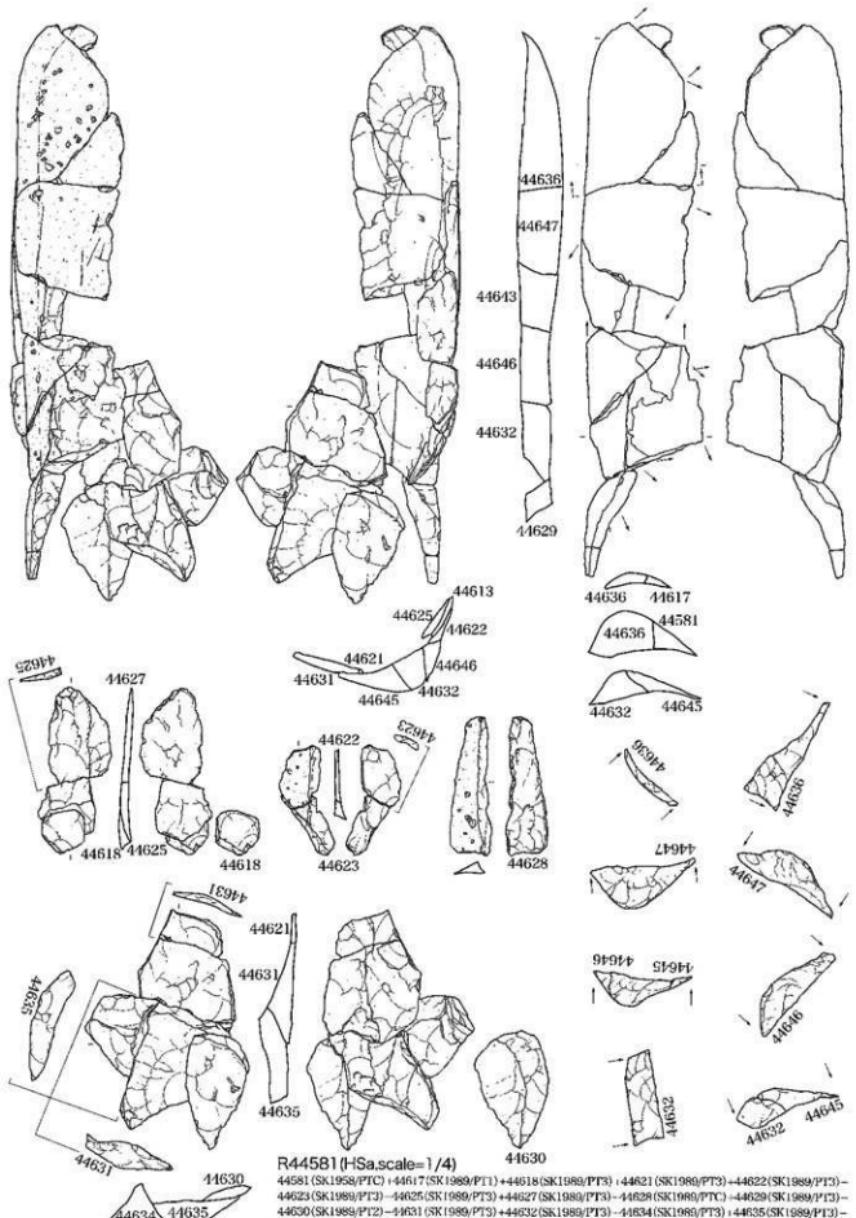
R44470(An,scale=1/8) 44470(SK1924/Di)+44583(SK1958/Di)



R44904(Sa,scale=1/4)
44904(SK2144/C)+45054(SK2196/C)+45070(SK2197/C)+45071(SK2197/C)

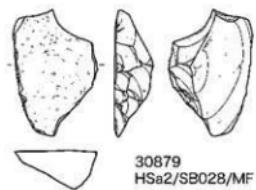
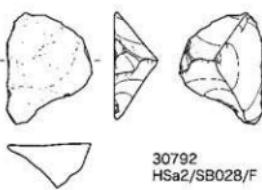
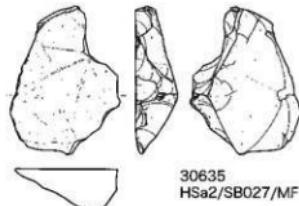
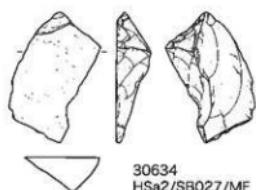
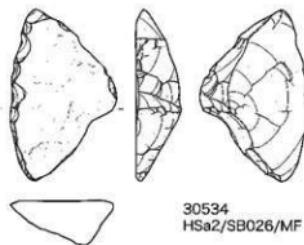
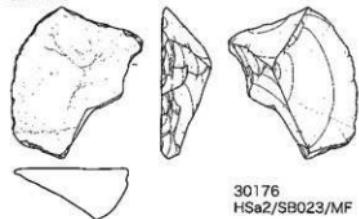


第60図 遺構間接合資料実測図5

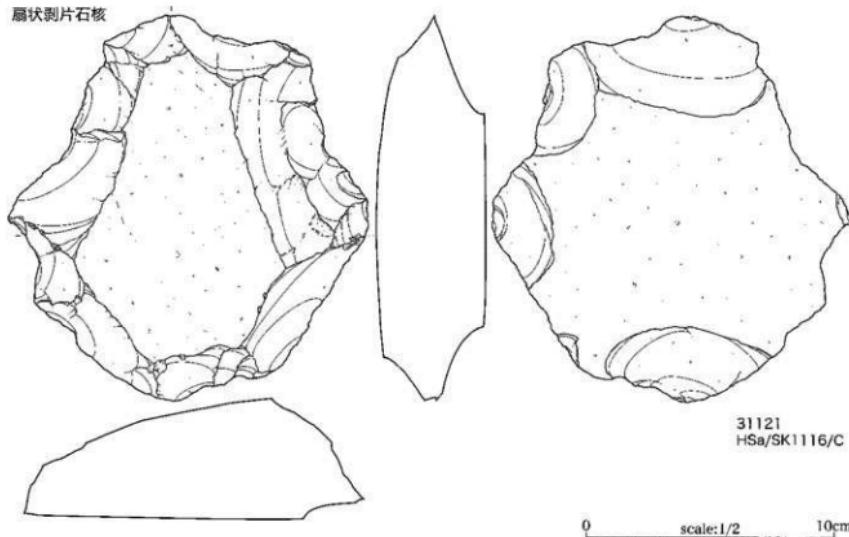


R44581 (HSa.scale=1/4) 44630
 44581 (SK198/P1) -44617 (SK198/P1) +44618 (SK198/P1T) +44621 (SK198/P1T) +44622 (SK198/P1T)
 -44623 (SK198/P1T) -44625 (SK198/P1T) +44627 (SK198/P1T) -44628 (SK198/P1T) +44629 (SK198/P1T)
 -44630 (SK198/P1T) +44631 (SK198/P1T) +44632 (SK198/P1T) +44634 (SK198/P1T) +44635 (SK198/P1T)
 -44636 (SK198/P1T) -44637 (SK199/P1T) +44645 (SK199/P1T) +44646 (SK199/P1T) +44647 (SK199/P1T)

扇状剥片

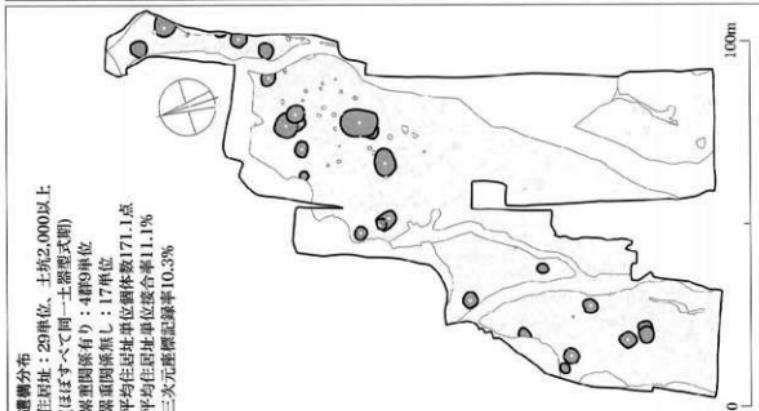
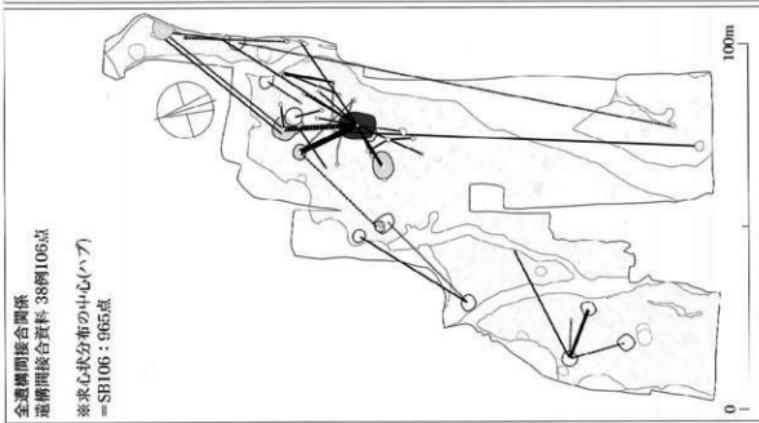
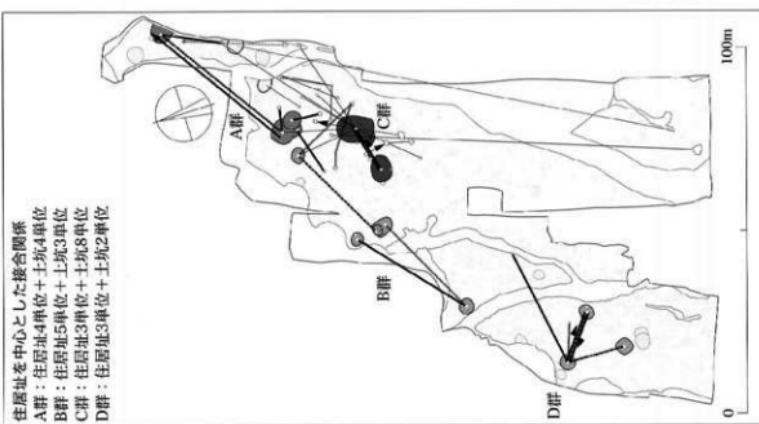


扇状剥片石核



0 scale:1/2 10cm

第62図 扇状剥片剥離技術関連資料実測図



第63図 母岩共有ネットワーク図

IV 化学的分析

長野県松本市川西開田遺跡のAMS¹⁴C年代測定

小林謙一⁽¹⁾・坂本 稔⁽¹⁾

長野県松本市川西開田遺跡土器付着炭化物の¹⁴C年代測定を行った。試料の記号は、NNWTCとした。NNは長野県、WTは松本市、Cは川西開田遺跡の意味である。

1 測定対象試料と炭化物の状態

測定を試みた8試料について、表1に示す。一部の土器付着物からは充分な炭素量が見込めなかつたため保留した。NNWTCについては多量のミネラル中に炭化物が混入していたため、重液分離を行い炭素を回収した。最終的に4点について炭素年代を得た。以下に、採取試料の状況、処理方法、測定及び曆年較正を報告する。

2 炭化物の処理

試料については、以下の手順で試料処理を行った。(1)の作業は、国立歴史民俗博物館の年代測定実験室においてすべて小林が行った。(2)は、坂本が行った場合と、ベータアナリティック社に委託した場合がある。

(1)前処理：有機溶媒による油脂成分等の除去、酸・アルカリ・酸による化学洗浄（AAA処理）。

まずアセトンに浸け振とうし、油分など汚染の可能性のある不純物を溶解させ除去した(3回)。AAA処理として、80°C、各1時間で、希塩酸溶液(1N-HCl)で岩石などに含まれる炭酸カルシウム等を除去(2回)し、さらにアルカリ溶液(0.1N-NaOH)でフミン酸等を除去する。3回処理を行い、ほとんど着色がなくなったことを確認した。さらに充分(120分)に酸処理を行い中和後、水により洗浄した(3-4回)。各試料は、採集した総重量(表2の採取量(mg)以下同じ)、AAA前処理を行った量(処理量)、前処理後回収した量(回収量)、二酸化炭素化精製に供した量(精製)、炭酸ガスの炭素相当量(ガス)を、それぞれ表2に示す。前処理のうち、最初のアルカリ処理の廃液を保存してある。

(2)炭酸ガス化と精製：酸化銅により試料を酸化(炭酸ガス化)、真空ラインを用いて不純物を除去。

(3)グラファイト化：鉄(またはコバルト)触媒のもとで水素還元レジオラム炭素に転換。アルミニウムカソードに充填。

AAA処理の済んだ乾燥試料を、500mgの酸化銅とともにバイコールガラス管に投じ、真空に引いてガスバーナーで封じ切った。このガラス管を電気炉で850°Cで3時間加熱して試料を完全に燃焼させた。得られた二酸化炭素には水などの不純物が混在しているので、ガラス真空ラインを用いてこれを分離・精製した。

3 測定結果と曆年の較正

AMSによる¹⁴C測定は、地質科学研究所を通じてベータアナリティック社(測定機関番号Beta)に依頼して行った。

年代データの¹⁴C BPという表示は、西暦1950年を基点にして計算した¹⁴C年代(モデル年代)であることを示す(BPまたはyr BPと記すことが多いが、本稿では¹⁴C BPとする。¹⁴Cの半減期は国際的に5,568年を用いて計算することになっている。誤差は測定における統計誤差(1標準偏差、68%信頼限界)で表記する。

AMSでは、グラファイト炭素試料の¹³C/¹²C比を加速器により測定する。正確な年代を得るには、試料の同位体効果を測定し補正する必要がある。同時に加速器で測定した¹³C/¹²C比により、¹⁴C/¹²C比に対する同位体効果を調べ補正する。ベータアナリティック社は十分な炭素量がある場合、¹³C用ガス試料を質量分析計により測定する。それによる¹³C/¹²C比の値を、表3には示してある。¹³C/¹²C比は通常、標準体(古生物belemnite化石

の炭酸カルシウムの $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比) 偏差値に対する千分率 $\delta^{13}\text{C}$ (パー・ミル、‰)で示され、この値を-25‰に規格化して得られる $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比によって補正する。補正した $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、 ^{14}C 年代値(モデル年代)が得られる(英語表記では Conventional Age とされることが多い)。

測定値を較正曲線 INTCAL98(曆年代と ^{14}C 年代を曆年代に修正するためのデータベース、1998年版)と比較することによって実年代(曆年代)を推定できる。両者に統計誤差があるため、統計数理的に扱う方がより正確に年代を表現できる。すなわち、測定値と較正曲線データベースとの一致の度合いを確率で示すことにより、曆年代の推定値確率分布として表す。曆年較正プログラムは、OxCal Programに準じた方法で作成したプログラムを用いている。統計誤差は2標準偏差に相当する、95%信頼限界で計算した。年代は、較正された西暦 cal BC で示す。() 内は推定確率である。第61図は、各試料の曆年較正の確率分布である。

4 考察

測定結果と、曆年較正年代の結果については、表3に示す通りである。五箇ヶ台2式期～猪沢式に比定されるNNMTC3・8・12は、小林が五箇ヶ台式期に想定する年代(小林他2003)よりもやや新しい紀元前3370-3100年(cal BC以下略)に較正年代が求められる。五箇ヶ台式から勝坂式の古期については同じ様な年代幅が示されることとは、他の遺跡でも同様な結果が得られており、C8を除き土器編年と完全には整合的ではない。過去の ^{14}C 濃度の変動を反映した較正曲線の逆行の状況によると思われ、今後検討を重ねたい。

NNMTC2spについては、明らかに新しい年代が測定された。前述のように、前処理後、重液分離を行い、炭素を回収したが、この付着物が、想定していたような調理時の煮焦げや燃料材による煤ではなく、埋没後の付着物であるか、または重液分離を含む処理の過程において汚染したかの原因が想定されるが、不明である。

この分析は、日本学術振興会科学研究費 平成14・15年度基盤研究(A・1)(一般)「繩文時代・弥生時代の高精度年代体系の構築」(代表 今村峯雄、課題番号13308009)の成果を用いている。

注

1) 国立歴史民俗博物館 情報資料研究部

2) 組合研究大学院大学 博士後期課程 日本歴史研究専攻

参考文献

Stuiver,M.,et.al. 1998 INTCAL98 Radiocarbon age calibration,24,000-0 cal BP.Radiocarbon 40(3),1041-1083.

小林隆一・今村峯雄・坂本稔・西本豊弘 2003 AMS炭素年代による馬ヶ丘II期土器・葉巻の経年時間の検討』『日本文化財科学会第20回大会研究発表要旨集』

今村峯雄 2000 「考古学における ^{14}C 年代測定 高精度化と信頼性に関する諸問題」『考古学と化学を結ぶ』馬淵久夫・高永健編 UP出版社 東京大学出版会 55-82

表1 試料一覧

試料No.	種類	出土区	時代	型式	部位	状態
NNMT C2	土器付着物	十坑1785	縄文中期前葉	五箇ヶ台IIa	胸内	やや不良
NNMT C3	土器付着物	十坑1747	縄文中期前葉	五箇ヶ台IIb	底内	やや不良
NNMT C4	漆付着物	28生	縄文中期前葉	五箇ヶ台IIb	底内	やや不良
NNMT C8	土器付着物	21生	縄文中期前葉	猪沢式55	胸内	やや良
NNMT C12	土器付着物	118生	縄文中期前葉	五箇ヶ台IIb	胸内	やや不良
NNMT C14	土器付着物	112生	縄文中期前葉	五箇ヶ台II	胸内	やや不良
NNMT C15	土器付着物	111生	縄文中期前葉	五箇ヶ台I	底内	やや不良
NNMT C21	土器付着物	110生	縄文中期前葉	平出2箇A十器	底内	やや不良

表2 試料の重量と炭素含有率

試料No.	採取量	処理量	回収量	含有率1	前処理後	精製	ガス	含有率2	含有率3
NNMT C2sp	226.4	51.4	22.46	43.7	m多、不良	4.70	0.70	14.9	6.5
NNMT C3	75.4	49.2	11.78	23.9	m微	6.00	1.71	28.5	6.8
NNMT C4	61.2	39.6	20.14	50.8	m多、分離	-	-	-	-
NNMT C8	119.5	84.2	79.88	94.9	m多、分離	9.20	5.09	55.3	52.5
NNMT C12	8.2	8.2	3.03	37.2	m多	2.90	1.07	36.9	13.7
NNMT C14	53.3	32.9	17.56	53.3	m多、不良	-	-	-	-
NNMT C15	12.1	12.1	2.64	21.7	m多、不良	-	-	-	-
NNMT C21	2.8	2.8	0.00	0.0	なし	-	-	-	-

註

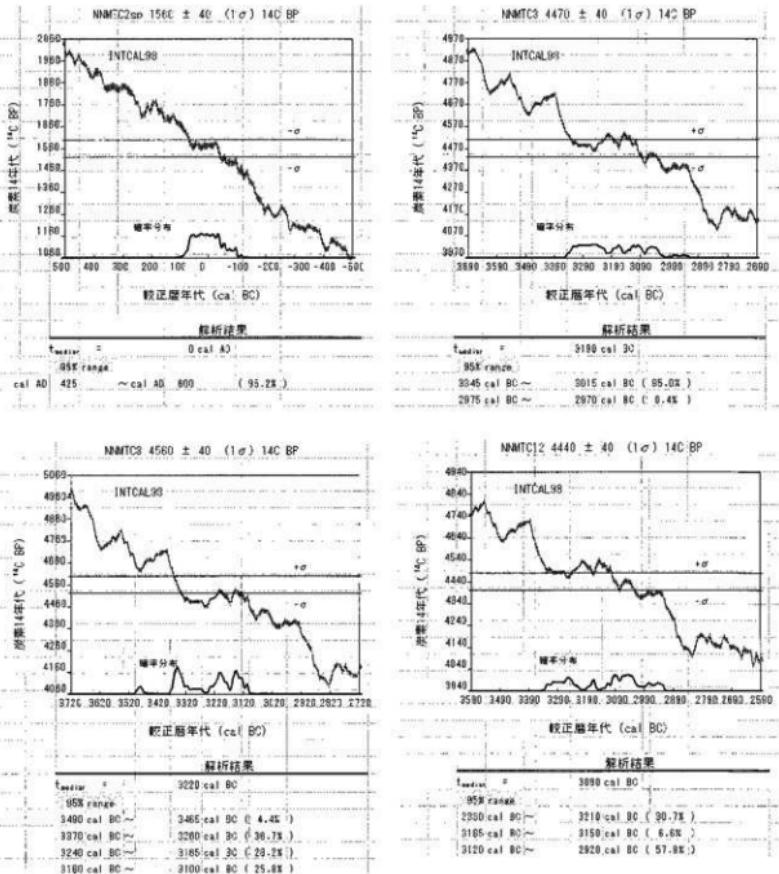
括弧は、炭酸ガスの炭素相当量。量は(mg)、率は(%)。前処理後は、試料の状態、mはミネラル、分離は重液分離。含有率1は回収量/処理量、含有率2はガス相当量/精製用重量、含有率3は含有率1*含有率2。

表3 灰炭年代と較正年代

試料名	測定機関番号	補正値 14C BP	$\delta^{13}C (\text{‰})$	cal BC	%	%	%	%			
NNMT C2sp	Beta187221	1560 ± 40	-28.7	AD425-600	95.2%						
NNMT C3	Beta184554	4470 ± 40	-26.1	3345-3015	95.0%	2975-2970	0.4%				
NNMT C8	Beta184556	1560 ± 40	-26.5	3340-3165	1.4%	3370-3260	36.7%	3210-3165	28.2%	3160-3100	25.8%
NNMT C12	Beta184555	4440 ± 40	-26.8	3330-3210	30.7%	3185-3150	6.6%	3120-2920	57.9%		

注

2970-2970cal BCは、2970-2965cal BCの周年較正年代であることを示す。



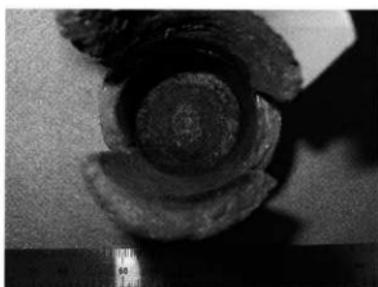
第64図 川西開田遺跡 历年較正確率密度分布



C2 (298)



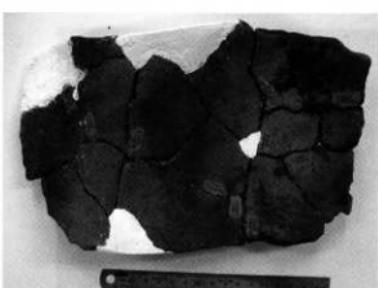
C3 (288)



C4 (82)



C8 (6)



C12 (257)



C14 (200)

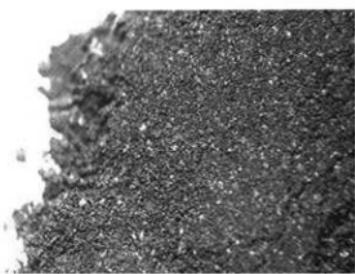


C15 (182)

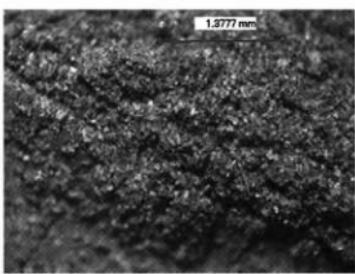


C21 (156)

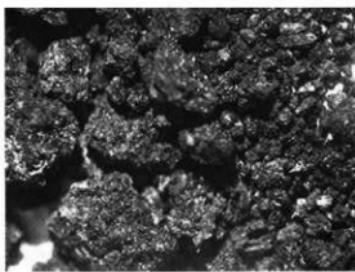
AMS¹⁴C 年代測定



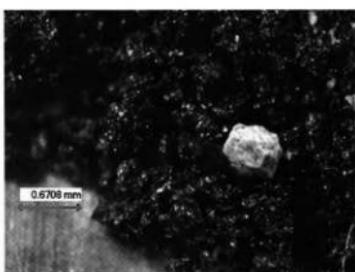
NNMTC2be20



NNMTC2sp-af40-2



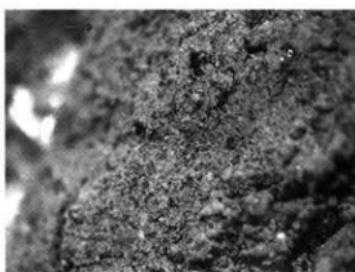
NNMTC3be20



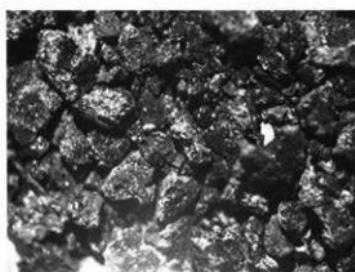
NNMTC3af40



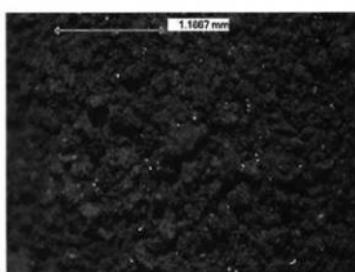
NNMTC4be20



NNMTC4af40-2



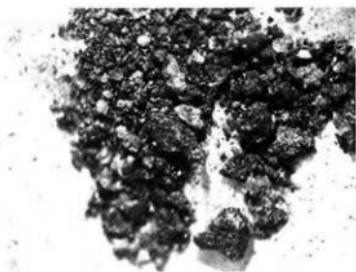
NNMTC8be20



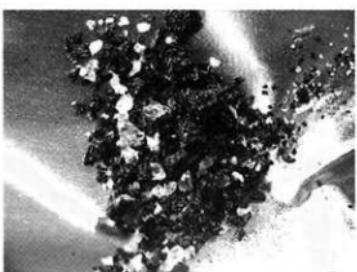
NNMTC8sp-af40

AMS¹⁴C 年代測定

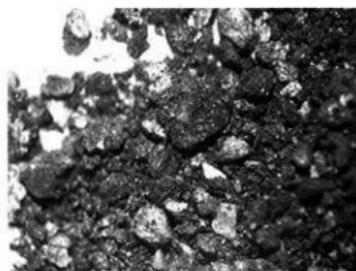
注) beは未前処理前、afは前処理後、spは重液分離後。



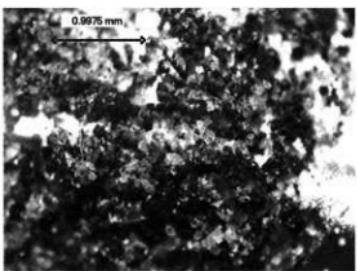
NNMTC12be20



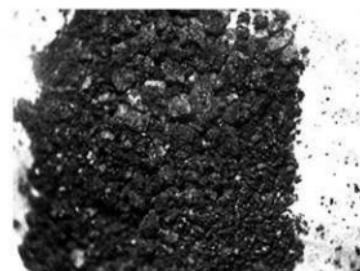
NNMTC12af20



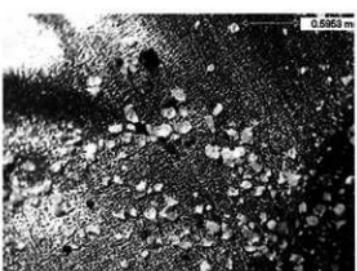
NNMTC14be20



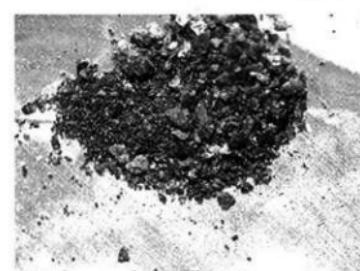
NNMTC14sp-af40-2



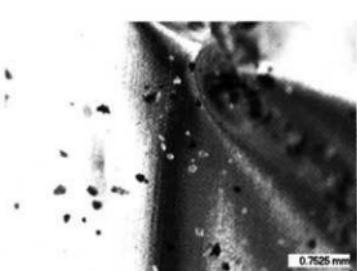
NNMTC15be20



NNMTC15af40



NNMTC21be20



NNMTC21af40

AMS¹⁴C 年代測定

川西開田遺跡の放射性炭素年代測定

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

長野県松本市に所在する川西開田遺跡は、4次調査A地点の発掘調査により、堅穴住居跡・土坑・ピット・屋外焼土・屋外埋甕・溝などが検出され、縄文時代中期初頭の集落と考えられている。遺物は、土器・石器などが多く出土し、住居跡内や土坑内からは、炭化材・炭化物が小破片で散発的に出土している。今回の調査では、これらの炭化材や炭化物の放射性炭素年代測定と樹種同定・種火遺体同定を実施し、集落に關する年代資料を得ることを目的とする。

1 試料

試料は、A地点の第103号住居・第112号住居・第113号住居・第114号住居・第119号住居・土坑1761・土坑1974の各遺構から出土した炭化物10点（サンプルNo.3～9・11～13）のうち、第103号住居（サンプルNo.3・11）・第112号住居（サンプルNo.5）・第119号住居（サンプルNo.12）・土坑1974（サンプルNo.9・13）の各遺構から出土した6点を選択した。このうち、サンプルNo.9は種火遺体片と土壤の混在するもの、No.13は種実遺体、サンプルNo.3・5・12は炭化材、サンプルNo.11は炭化材を少量含む土壤の塊であった。以下に測定試料の採取位置を述べる。

第103号住居は、調査地中央部の長径7.4m～短径6.0mの東西に長い楕円形の堅穴住居跡である。中央部に火が2箇所検出されている。覆度には炭化物粒が散布している。まとまった炭化材・炭化物は住居内の数ヶ所に点在していたが、いわゆる焼穴住居のように大量の炭化材・炭化物・焼土が遺存している状況ではなかった。ここでは、サンプルNo.3が住居中央部南西の床面、サンプルNo.11が住居中央部東の床上から採取された。

第112号住居は、調査地北部の長径5.0m、短径4.1mの北西から南東方向に長軸をとる楕円形の堅穴住居跡である。同時期の第110号住居跡、111号住居跡を切って構築されている。中央部から小形の石團炉が検出されている。覆度には微細な焼土粒・炭化物が少量混じるが、大きな炭化材やまとまった形での炭化材の出土はなかった。ここでは、サンプルNo.5が覆土中に滲むように混じる炭化材から採取された。

第119号住居は、調査地北部の長径4.9m～短径4.6mの楕円形の堅穴住居跡である。中央部北面には地床炉と思われる焼土の広がりがあり、北側には土器埋設が検出されている。覆度中には微細な炭化物が混じる。ここでは、サンプルNo.12が住居跡南西覆土中の炭化物から採取された。

土坑1974は、調査地北部の直径0.9mの円形土坑である。検出面からの深さは約40cmである。覆土は5層に分かれ、下層に炭化物粒が多い。本土坑は貯藏窓の一種と考えられている。ここでは、種火遺体であるサンプルNo.9・13が覆土下層IV層から採取された。サンプルNo.13は覆土中から抽出した種火遺体単体であるが、サンプルNo.9は種実遺体の状態が悪く、種実遺体片と土壤が混在するものである。

2 分析方法

(1) 放射性炭素年代測定

測定は、学習院大学放射性炭素年代測定室の協力を得た。なお、放射性炭素の半減期として、LIBBYの半減期5,570年を使用した。また、付記した誤差は β 線の計測値の標準偏差 σ に基づいて算出した年代で、標準偏差に相当する年代（真の値が66.7%の割合でこの範囲内にあるということ）である。

同位体比は標準値からのずれをパーミルで表した年代である。 $\delta^{13}\text{C}$ の値は、試料炭素の $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 原子比を質量分析器で測定し、標準にPDBを用いて算出した値である。今回の炭化物試料の測定年代は、この値に基づいて補正をした年代である。

(2) 樹種同定

木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組成の特徴を観察し、種類を同定する。

（3）種実遺体同定

肉眼および双眼実体顕微鏡を用いて、試料の外観を観察し、その特徴から種類を同定する。

3 結果

（1）放射性炭素年代測定

結果を表1に示す。測定年代値は、第103号住居出土炭化材2点（サンプルNo.3・11）が約4600年前、第112号住居出土炭化材（サンプルNo.5）が約4100年前、土坑1974出土種実遺体片と土壤の混合物（サンプルNo.9）が約2700年前、第119号住居出土炭化材（サンプルNo.12）が約5000年前、土坑1974出土種実遺体（サンプルNo.13）が約4800年前を示す。

表1 放射性炭素年代測定および樹種・種実遺体同定結果

サンプル No.	遺構・サンプル名	試料の質	樹種	測定年代 BP	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	Code No.
3	103住 フク上	炭化材	クリ	4610±140	-27.7	Gak-20732
5	112住 NW フク上	炭化材	オニグルミ	4140±110	-26.9	Gak-20733
9	上 1974	種実遺体片+土壤	オニグルミ(核)	2710±100	-28.7	Gak-20734
11	103住 岸2	炭化材	-	4590±120	-27.2	Gak-20768
12	119住 SW 炭化物	炭化材	クリ	5040±210	-29.5	Gak-20769
13	上 1974 植物遺存体	種実遺体	オニグルミ(核)	4750±100	-27.4	Gak-20770

（2）樹種・種実遺体同定

同定結果を表1に示す。炭化材は、落葉広葉樹2種類（オニグルミ・クリ）、種実遺体はオニグルミに同定された。主な解剖学的特徴を以下に記す。なお、サンプルNo.11に関しては土壤が多いため、同定可能な程度の炭化材を得られなかった。

・オニグルミ (*Juglans mandshurica* Maxim. subsp. *sieboldiana* (Maxim.) Kitamura) クルミ科クルミ属<炭化材>

散孔材で、道管径は比較的大径、単独または2～4個が放射方向に複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減、年輪界付近でやや急に管径を減少させる。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性～異性III型、1～4細胞幅、1～40細胞高。

<種実遺体>

核が検出された。褐色。大きさは2.5cm程度。側面の両側に縫合線が発達する。広卵形で、基部は丸くなっているが先端部は尖る。表面は荒いしわ状となり、縦方向に溝が走っている。内部は子葉が入る2つの大きなくぼみがある。検出された個体には齧歯類の食痕がついたものや、核頂部が人為的に割られたような跡のある試料もみられた。

・クリ (*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

環孔材で、孔間部は1～4列、孔間外で急激～やや緩やかに管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～15細胞高。

4 考察

今回の測定では、異なる遺構から出土した測定試料6点中3点（サンプルNo.3・11・13）の年代値が、約4600

年～4800 年前に集中する。この値は、キーリ・武藤（1982）によれば、縄文時代中期初頭に相当する値である。この内、第 103 号住居出土炭化材は床直と床上から採取されており、特に遺構との関連性が高いと思われる。よって、これら 3 点の測定試料の年代値は集落が営まれていた時期を示す可能性があり、縄文時代中期初頭の集落とする発掘調査所見と一致する。

これに対して、土坑 1974 出土種実遺体片と土壤の混合物は約 2700 年前（サンプル No.9）を示す。測定試料が種実遺体片と土壤が混在するものであることと、同一土坑出土種実遺体（サンプル No.13）が縄文時代中期初頭に相当する年代値を示すことから、測定年代値は土壤の影響を受けていると思われる。土壤中の炭素は移動する場合があり、上位の堆積物中に含まれる新しい年代の炭素が混入する可能性がある。また、第 112 号住居出土炭化材（サンプル No.5）の年代値は約 4100 年前であり、発掘調査所見より若干新しい。試料は覆土中に滲むように混じる炭化材であるため、サンプル No.9 と同様に覆土の影響を受けていると考えられる。一方、第 119 号住居出土炭化材（サンプル No.12）は約 5000 年前と、発掘調査所見よりやや古い値である。試料は覆土中から採取した炭化材であるため、遺構埋積時に遺構外から古材が混入した可能性がある。また、遺構からは炉跡や焼上りが検出されるため、燃料材として古材等が利用されていた場合、それらの炭化材が遺構埋積時に混入したものと考えられる。

引用文献

キーリ C. T.・武藤康弘（1982）縄文時代の年代、「縄文文化の研究 1 縄文人とその環境」、p. 246-275。雄山閣。

V 調査のまとめ

1 集落址

(1) 壺穴住居址

30 軒検出された壺穴住居址群は、出土土器の分析から、縄文時代中期初頭と中葉に属するものに二分される。他の時期の土器がほとんど出土していない点からみて、時期を決定する土器が出ていない住居址もいずれかの時期に属するものと推定して間違はない。

時期別の住居址の分布（第 65 図）を見ると、中期初頭のものが大型住居の第 106 号住居址を中心に調査地の北部にまとまっているのに対し、中期中葉のものは調査地全体に広がって、中期初頭と重複している。一般に縄文中期集落は環状を呈することが多いが、今回の調査例ではその傾向は看取できない。地形的な制約や流路に沿った展開などを想定する必要があろう。

最大の住居址である第 106 号住居址は長径 10.32m もあり、いわゆる大型住居と呼ばれるものに分類される。焼上に相当する焼上面は 10 か所もあり、床面積は 57.3 m²で単純に計算すると約 35 叠敷の広さとなる。縄文中期初頭の集落の中核的存在の家であったと考える。柱穴の重複から建て替えや拡張があったことも検討しなければならない。

(2) 土坑

3B 区の 614 基、4A 区の 684 基、計 1298 基が確実な縄文時代の土坑で、壺穴住居址群に伴うことは問題ないと考えるが、住居址群が 2 時期に分かれため、当然、土坑群も二分されるであろう。しかし、土器を出土したわずかな土坑において時期特定が可能なだけで、他は困難である。遺物を出土した土坑としては、土 880、土 900、土 1127、土 1585、土 1597、土 1627、土 2155 などがあるが、単体で完形品に近い土器が納められていたもの、複数個体の破片が集められていたもの等の出土状況の違いが認められる。土坑の用途とし

では祭祀址、墓址、貯蔵穴などが想定できるが、具体的に証明できる資料はない。

(3) 屋外の焼土址

縄紋時代の遺構面と包含層は上層を堆積土によってパックされており、当時の地表面にかなり近い層位を把握したと考えているので、屋外の焼土址も表層を捉えられた可能性は高い。純粋な屋外炉の他に簡易な平地式爐物等の炉址も想定してみたい。

(4) 遺跡の堆積層と縄紋時代集落

本書の第一分冊である『古代・中世編』の「遺跡の地形・地質」の項で述べたとおり、本遺跡は鍋川、三間沢川による氾濫と安定した堆積の繰り返しにより複雑な土層が形成されている。第2検出面である縄紋面は黒褐色の粘質土上で遺構が検出され、その上部を覆う包含層及び遺構覆土の方がむしろ淡い褐色砂質土であるという、通例の遺跡とは逆転したような状況であった。縄紋集落形成のかなり以前に粘質土の堆積があり、しかも腐食が進行する環境があったことが窺える。

縄紋面の上部には洪積台地のローム層起源の砂質・粘質土が50cm近く堆積して、第1検出面である古代・中世面が載っていたことは第一分冊（古代・中世編）で触れたとおりであるが、同様なことが本調査地から東方に200m以上はなれた第1次調査地点の発掘（平成7年実施）でもみられたことは注目に値しよう。ここでも、上層に古代の集落があり、その下部50cm、現地表から1m弱の深部に縄紋時代中期後半の遺物集中、埋甕とみられる施設が確認された。同期の集落址が一帯に大規模に展開している可能性が高いと考えている。すなわち、川西側山遺跡のかなりな部分の下層には縄紋時代中期の前半期と後半期の集落が西と東に地点を変えて存在しており、松本盆地南西部での通例のローム層上の縄紋時代遺跡とは異なった、沖積地での縄紋集落あり方を示していると言えよう。今回の調査地は庄楽団地造成という深部にわたる開発のため発掘が行われたが、他の部分では良好な形で縄紋遺構が残存していると期待している。

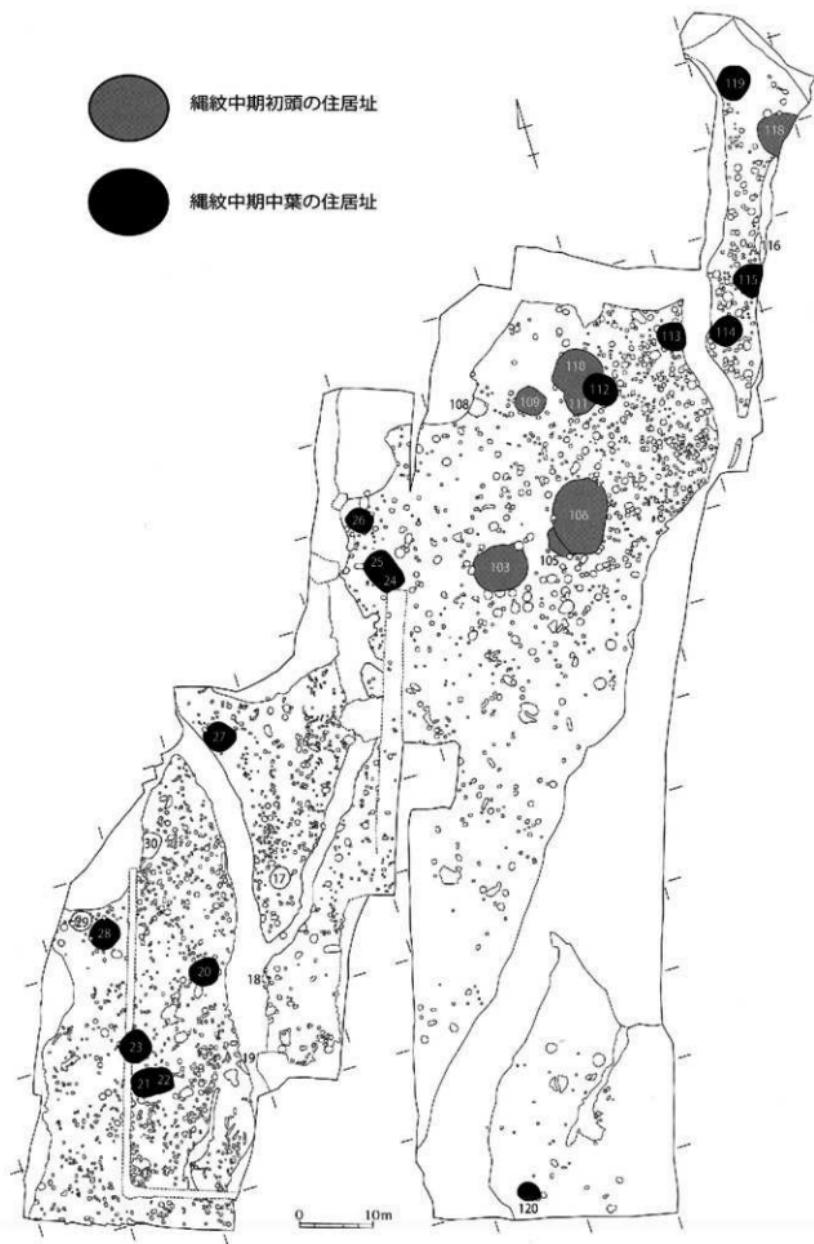
2 出土遺物

石器の報告、分析内容については編者の評するところではない。しかしながら、本文中でも触れたとおり、縄紋時代の遺跡の載る土壤には基本的に礫を含んでおらず、したがって遺跡一帯に存在する礫はすべて当該集落の構成員等によって持ち込まれたものと判断できる。このため定型、不定形の石器は元より加工痕跡、使用痕跡のない礫についても広義の石器として、すべてを回収した。この資料群については、今回の分析以外にも様々な切り口による分析が可能と考えている。該期集落の石器組成等についての諸学の検討を期待するものである。

巻頭カラー図版に掲載したヒスイの垂飾未成品は長径4cmを測り、大珠の一種と分類することが可能であろう。ただし、形態は涙滴形を呈し、片面に残る未完の穿孔痕も、中火部ではなく上端部近くに存する異例なものである。中期初頭の大型住居である第106号住居址出土品で、垂飾の類例としてはかなり初期的な位置が与えられるのではないかと考えている。

土器については縄紋中期初頭から中葉への松本平南部での良好な資料を提供できたものと確信している。本文中では中期初頭、中葉のそれぞれが各2時期、計4時期に細分されているが、はたして本遺跡での土器型式が中期初頭から中葉へと確固とした連続性を有するものか、若干の間隙が存在するのか、報告者の意図は前者にあるが、今後の諸学のご指摘を頂戴したいものと考える。

遺物の年代測定は2本の分析を掲載した。特にAMS法による¹⁴C年代測定の分析結果は小林謙一氏のご好意によって掲載できたものである。記して感謝します。



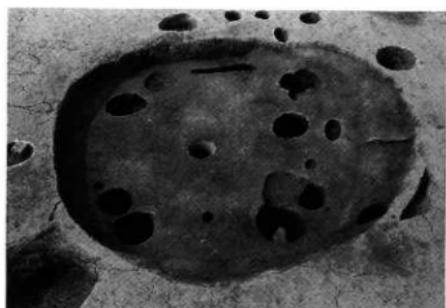
第65図 住居址時期別分布



調査地周辺の航空写真 (S54 撮影)



第 17 号住居址



第 20 号住居址



第 20 号住居址 埋甕炉



第 20 号住居址 炉址半剖



第 21 号住居址



第 21 号住居址 石圈炉



第 21 号住居址 P₂ 遗物出土



第 22 号住居址



第 23 号住居址



第 23 号住居址 石圓爐



第 23 号住居址 埋設土器



第 23 号住居址 埋設土器半剖



第 23 号住居址 P₁ 遺物出土



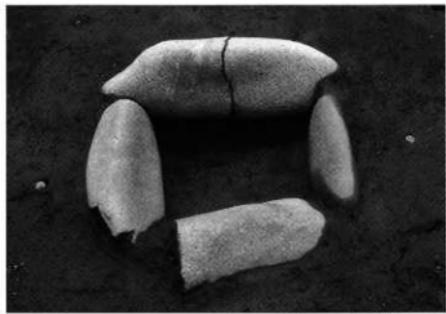
第 24・25 号住居址



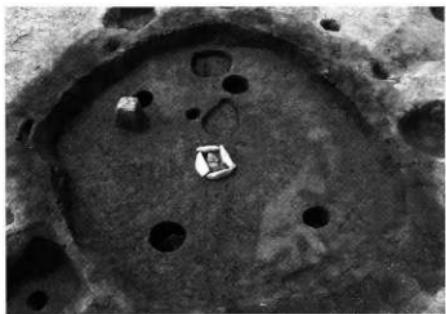
第 24 号住居址 遺物出土 1



第 24 号住居址 遺物出土 2



第 25 号住居址 石圈炉



第 26 号住居址



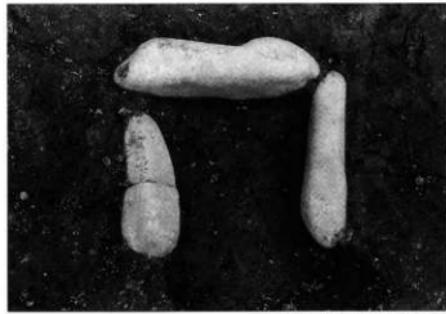
第 26 号住居址 石圈炉



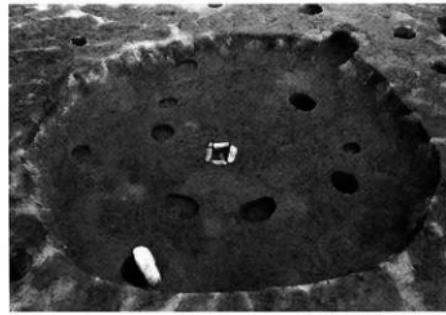
第 26 号住居址 埋甕炉



第 28 号住居址 (旧)



第 28 号住居址 (旧) 石圈炉



第 28 号住居址 (新)



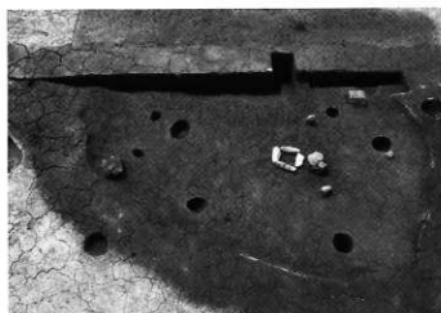
第 28 号住居址 (新) 石圈炉



第 29 号住居址



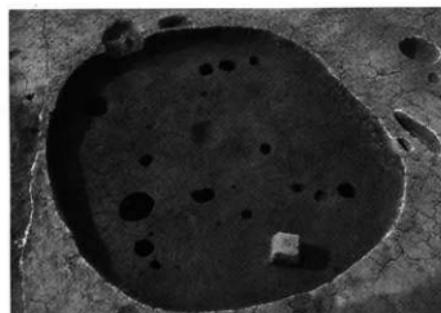
第 29 号住居址 石圈炉



第 30 号住居址



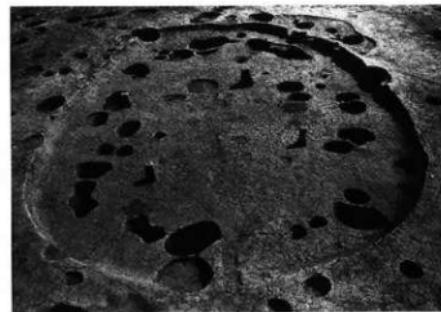
第 30 号住居址 石圈炉



第 27 号住居址



第 103 号住居址



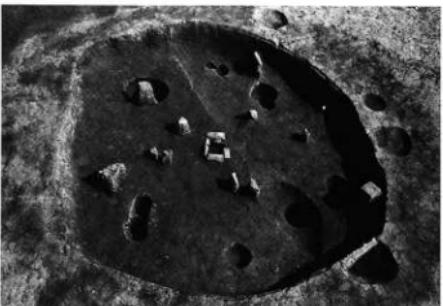
第 106·105 号住居址



第 106 号住居址 遗物出土



第108号住居址



第109号住居址



第109号住居址 石囲炉



第110・111号住居址（北から）



第110・111号住居址（南から）



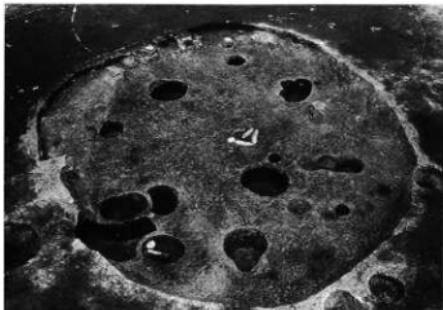
第110・111号住居址 遺物出土



第111号住居址 遺物出土1



第111号住居址 遺物出土2



第 112 号住居址



第 112 号住居址 石圆炉



第 113 号住居址



第 113 号住居址 石圆炉



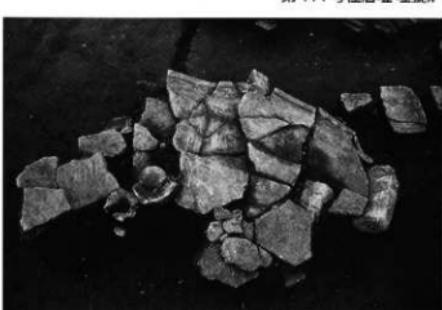
第 114 号住居址



第 114 号住居址 埋葬炉



第 115 号住居址



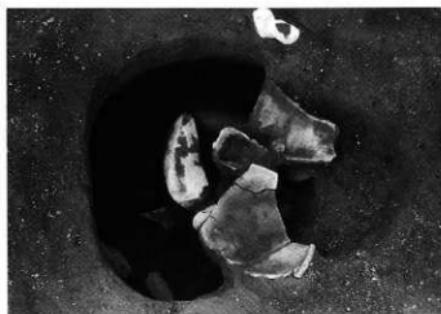
第 118 号住居址 遗物出土



第 115 号住居址 遗物出土



第 115 号住居址 石圆炉



第 115 号住居址 石圆炉遗物出土



第 117 号住居址



第 119 号住居址



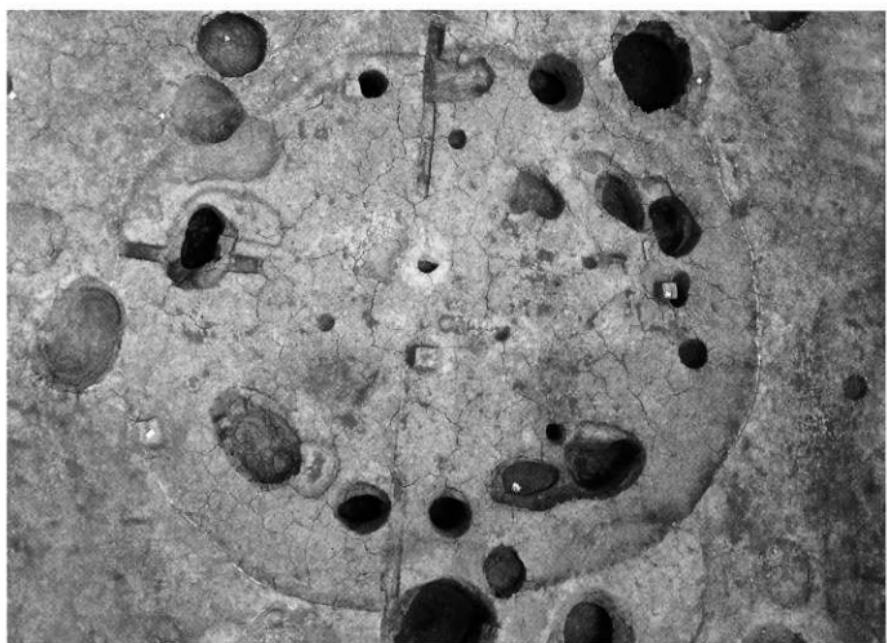
第 119 号住居址 埋甕炉



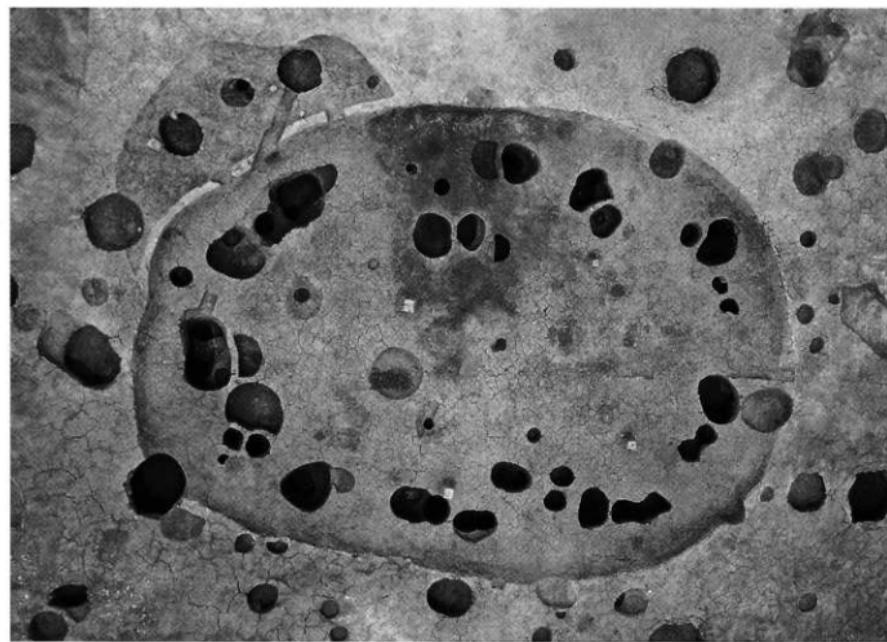
第 119 号住居址 埋甕炉半剖



第 120 号住居址



第 103 号住居址 航空撮影



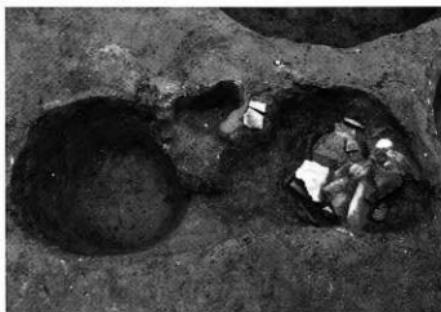
第 106・105 号住居址 航空撮影



土坑 646 遺物出土



土坑 693 遺物出土



土坑 716 遺物出土



土坑 739 遺物出土



土坑 880 遺物出土



土坑 900 遺物出土



土坑 980 遺物出土



土坑 1127 遺物出土



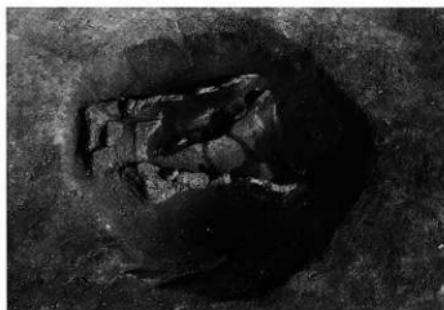
土坑 1145 遺物出土



土坑 1584 遺物出土



土坑 1585 遺物出土



土坑 1597 遺物出土



土坑 1627 遺物出土



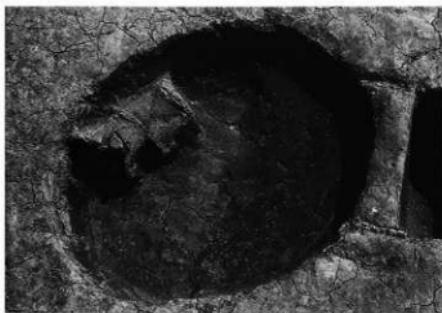
土坑 1641 遺物出土



土坑 1657 遺物出土



土坑 1694 遺物出土



土坑 1747 遺物出土



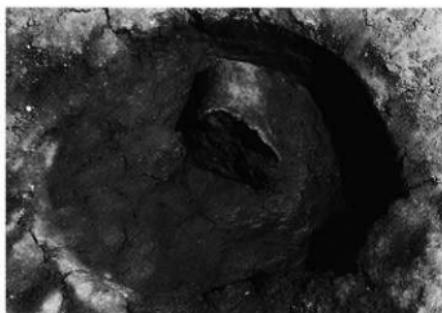
土坑 1761 遺物出土



土坑 1782 遺物出土



土坑 1785 遺物出土



土坑 1909 遺物出土



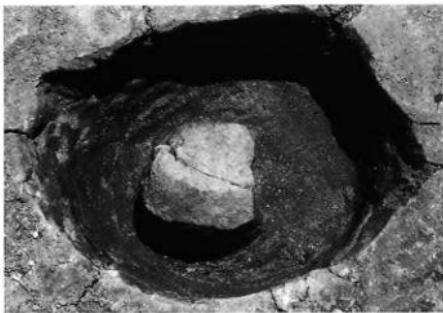
土坑 1939 遺物出土



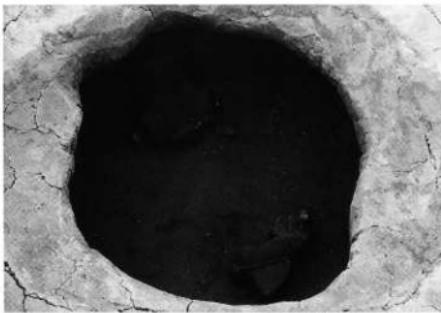
土坑 1994 遺物出土



土坑 2025 遺物出土



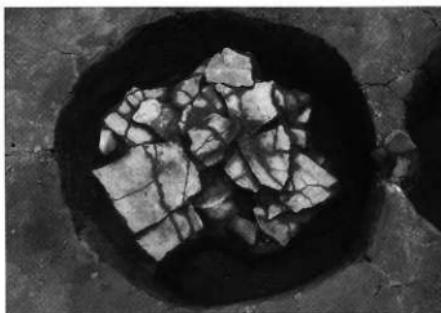
土坑 2043 遺物出土



土坑 2058 遺物出土



土坑 2155 遺物出土



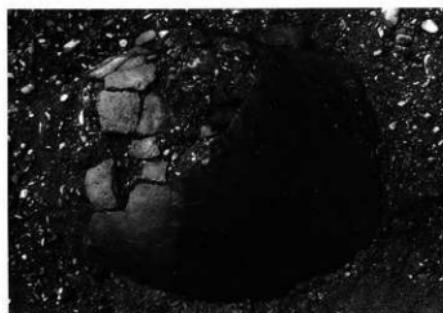
焼土 7 遺物出土



埋甕 1 出土状況



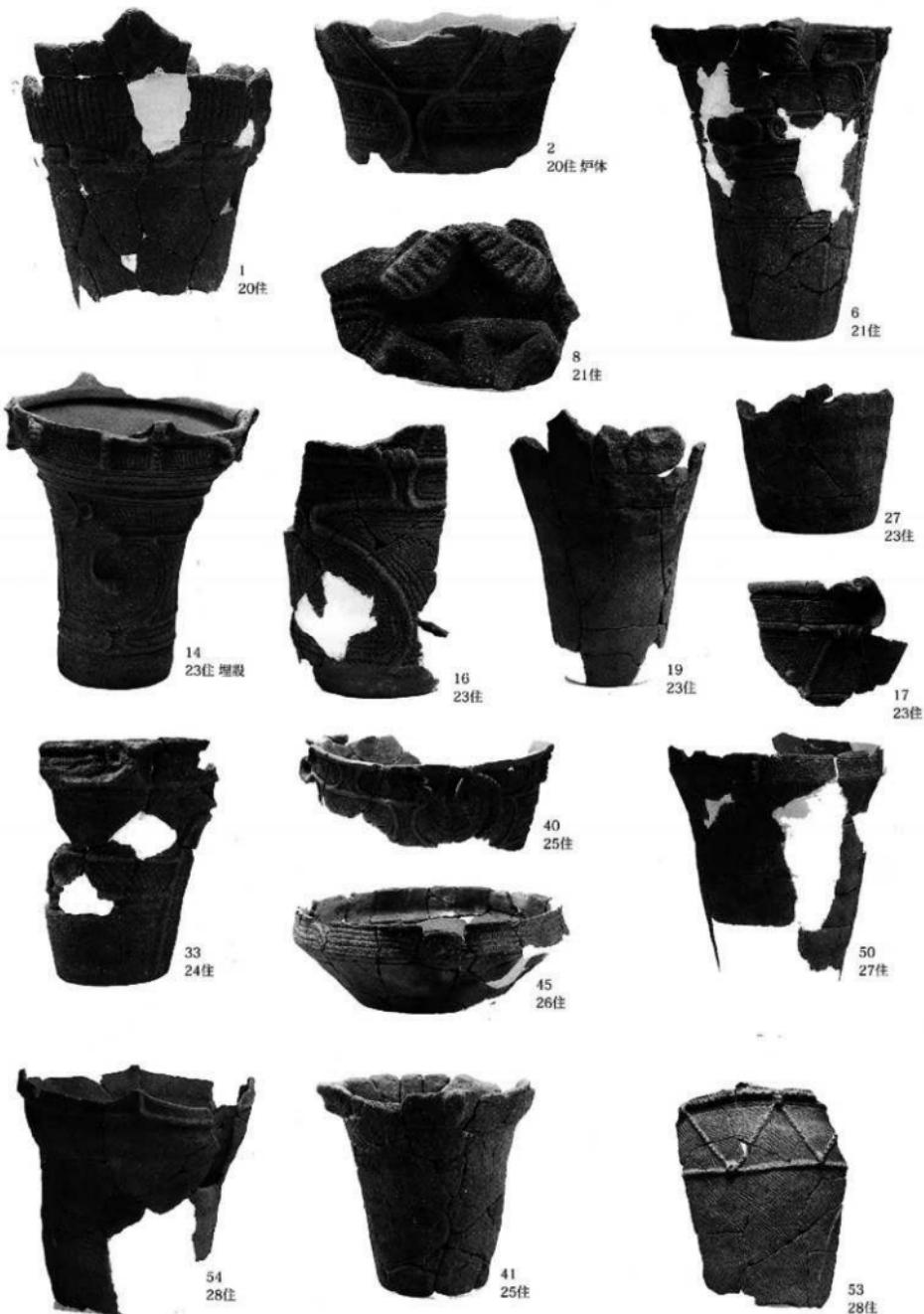
埋甕 2 出土状況



埋甕 3 出土状況



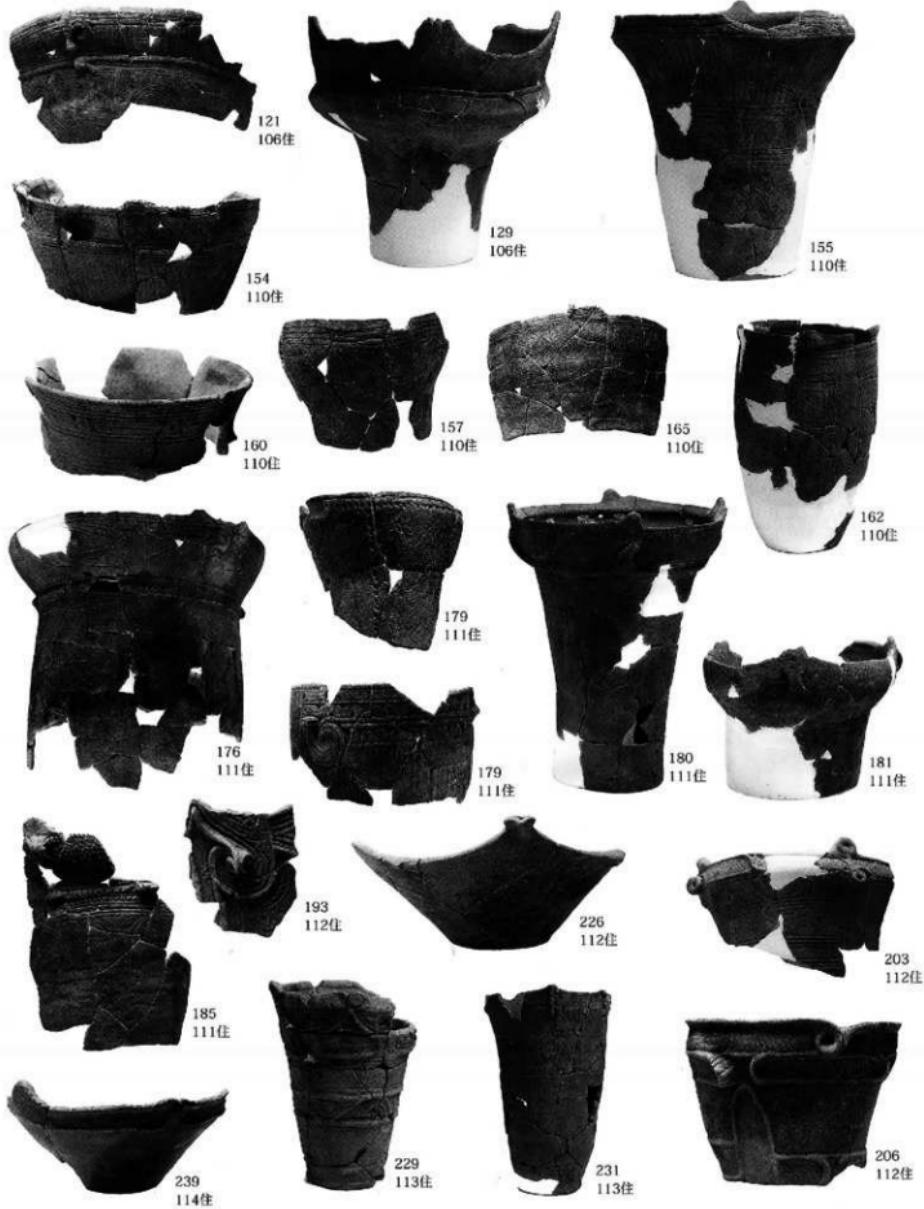
埋甕 5 出土状況



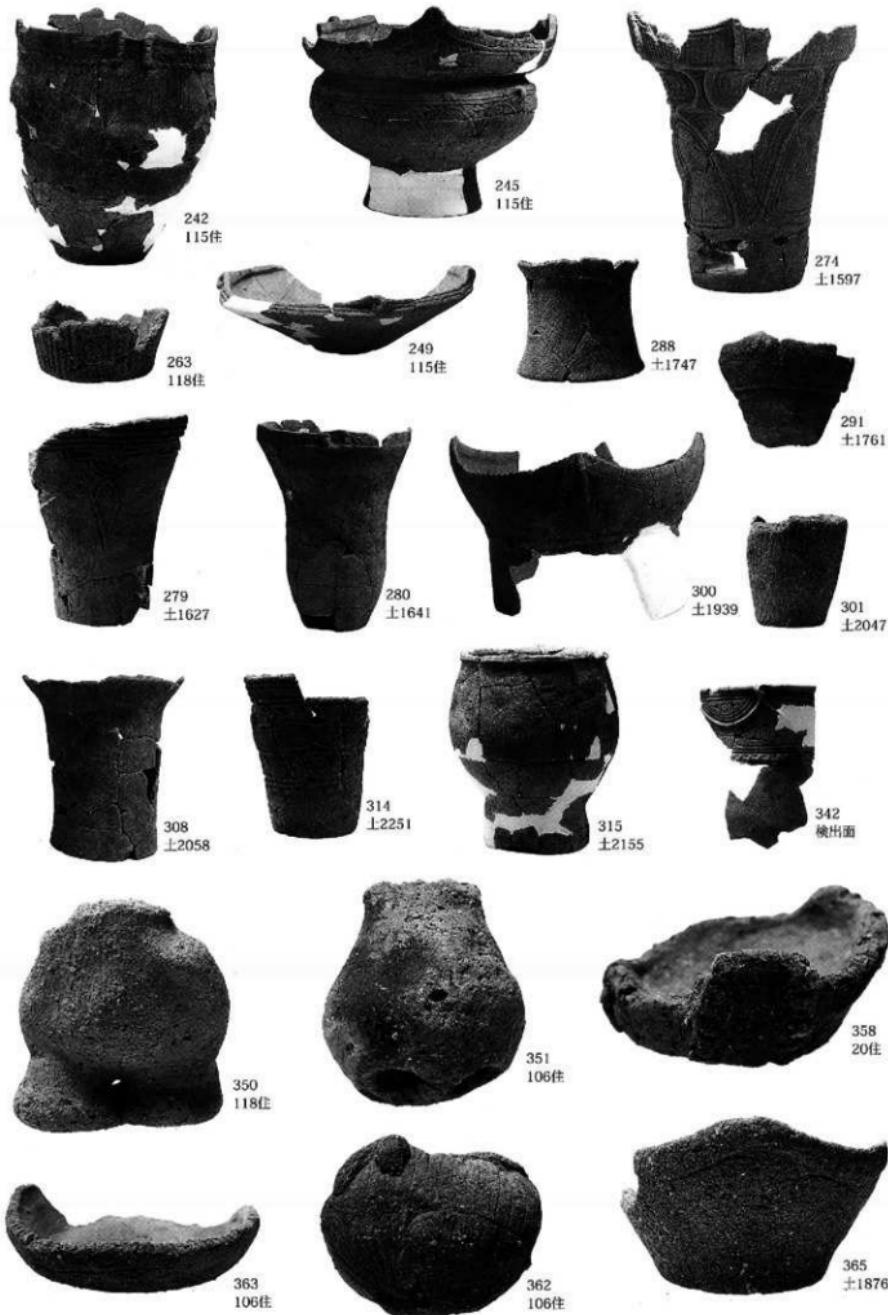
写真図版 14 出土土器 (1)



写真図版 15 出土土器 (2)



写真図版 16 出土土器 (3)



写真図版 17 出土土器 (4)・土製品

長野県松本市 川西開田遺跡 発掘調査報告書抄録

ふりがな	ながのけんまつもとし かわにしきいでんいせき 3・4 まつもとししんりんくうさんぎょううだんちぞうせいにともなう きんきゅうはくつちょうさほうこくしょ							
書名	長野県松本市 川西開田遺跡Ⅲ・Ⅳ 松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書							
副書名	縄紋編							
巻次								
シリーズ名	松本市文化財調査報告							
シリーズ番号	No.167							
著者名	太田泰郎、小林謙一、小山貴広、眞井雅樹、マリノサーヴェイ							
編集機関	松本市教育委員会							
所在地	〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号 TEL.0263-34-3000(代) (記録・資料保管:松本市立考古博物館 〒390-8623 松本市中山3738-1 TEL.0263-86-4710)							
発行年月日	2003(平成15)年3月24日 (平成14年度)							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 東経	測量期間	測量面積	調査原因		
川西開田遺跡	長野県松本市神林 宇竹山道6172-1番外	20202	313	36度 10分 52秒	137度 54分 10秒	3A:19980420~ 19980606	15,300 m ² 3,960 m ² 5,250 m ²	
						3B:19980610~ 19980831		
						4A:19990405~ 19980619		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
川西開田遺跡	集落址	縄 紋	堅穴住居址 30軒 屋外埋甕等 5基 土坑 1730(1298)基 焼土址 21基 溝址 4本 谷状地形、流路	縄紋土器、土製品 石器、石製品 炭化物			縄紋時代中期 初頭から中葉の 集落址を調査。	
契約	平成10年度から11年度にかけて2年次にわたって行われた、川西開田遺跡の第3・4次発掘調査のうち、縄紋時代の遺構と遺物を扱っている。縄紋時代中期初頭から中葉の集落址を調査し、30軒の堅穴住居址と1000基以上の土坑等を検出、多量の遺物出土をみた。							

松本市文化財調査報告 No.167 長野県松本市 川西開田遺跡Ⅲ・Ⅳ -松本市新臨空産業団地造成に伴う緊急発掘調査報告書-
発行日 平成15年3月25日
発行者 松本市教育委員会 〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号
印刷 初川越印刷株式会社

